

平成 27 年度

事業管理報告書

【様式 1】

平成 28 年 7 月

東 大 阪 市

目次

危機管理室	1
花園ラグビーWC2019 推進室	5
新市民会館建設室	7
市長公室	8
経営企画部	11
財務部	14
人権文化部	17
協働のまちづくり部	26
市民生活部	39
経済部	42
福祉部	71
子どもすこやか部	88
健康部	98
環境部	115
都市整備部	131
土木部	146
建築部	169
消防局	176
経営企画室	185
水道施設部	187
下水道部	188
総合病院	190
人権教育室	191
教育総務部	193
学校教育部	201
社会教育部	220
議会事務局	233

◎様式の見方

実施計画事業名	後期基本計画 第3次実施計画事業名を記載しています。
事業概要	事業全体の大まかな内容について記載しています。
平成27年度 目標達成度	指標①、②の達成度に対して得点化（A：4点、B：3点、C：2点、D：1点）し、合計が8～7点=A、6～5点=B、4～3点=C、2点=Dとして表しています。なお指標が①しかない場合、①の達成度としています。 平成27年度に実施しなかった事業については、「-」を記載しています。
第3次実施計画体系	第3次実施計画体系に該当する箇所の部・節・取り組みのあらまし番号を記載しています。
指標	第3次実施計画に記載した指標とその説明・計算式を記載しています。
目標	上記の指標について、第3次実施計画に記載した目標を記載しています。
実績	上記の目標についての実績（平成28年5月末現在）を記載しています。
H27達成度	平成27年度目標に対する達成度を記載しています。 平成27年度目標に対する達成度（目標／実績）につき、100%=A、80～100%未満=B、50～80%未満=C、50%未満=Dとして記載しています。 平成27年度に実施しなかった事業については、「-」を記載しています。
事業実績(平成27年度)	平成27年度の取り組み内容を記載しています。
改善すべき点	平成27年度に取り組んだ事業に関する課題や問題点を記載しています。
平成28年度に向けた改善策	上記の課題や問題点を具体的にどのように改善していくのかを記載しています。

平成27年度 事業管理報告書

重点事業

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	2

所属	危機管理室
----	-------

実施計画事業名		防災力向上事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		自衛隊・警察・消防など関係機関と防災訓練を実施し、万が一の災害に備えて防災力の向上を図る。また、市民も参加できる実践訓練を行い、災害に対する意識を高める。							
指標①	防災訓練の参加人数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	2,000人	2,000人	2,000人	A	目標②				
実績①	2,000人	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 自衛隊や警察や消防、その他国・府の関係機関、関西電力や大阪ガスなどのライフライン関係機関、イオンやLPガス協会などの災害協定を締結している企業及び自主防災組織と総合防災訓練・防災フェアを開催した。 また、自主防災組織としては、4自主防災会が避難誘導・簡易担架訓練、避難所設営訓練、炊き出し訓練を実施した。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災会が行った訓練は消防や他の機関と合同で実施したため、それぞれ連携をとるのが難しく、具体的な活動も見えにくいという弊害があった。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 地域の自主防災を担う自主防災組織が発災時には重要な役割を担うことから、自主防災組織の訓練内容を一つ一つ独立させ、見る側にも分かりやすく組み立てる。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	2

所属	危機管理室
----	-------

実施計画事業名		自主防災組織活動補助事業				平成27年度 目標達成度		C	
事業概要		地域の防災力を一層向上させるため、自主防災組織の地域防災活動の活性化を図る。							
指標①	防災訓練(DIG:簡易型図上訓練、HUG:避難所運営ゲーム)や防災講演会などの自主防災組織の活動団体数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	45団体	45団体	45団体	C	目標②				
実績①	30団体	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・自主防災組織としての活動団体は30団体だが、延べ活動団体数は42団体で、図上訓練としてDIGやHUGを、その他防災訓練や防災講演会を実施した。								
改善すべき点	・最終的には45校区において自主防災活動を実施できるよう、各種訓練の提案・支援を行う。								
平成28年度に向けた改善策	・自主防災組織に地域版ハザードマップの作成を順次広め、訓練参加団体数を増やし、自主防災組織の活動を活性化させる。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	4

所属	危機管理室
----	-------

実施計画事業名		備蓄物資整備事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		被災した市民に避難所での安全・安心な環境を提供するため、災害用の備蓄物資や資機材を更新・拡充する。							
指標①	新たな備蓄物資等を充実した避難所数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	26箇所	27箇所	27箇所	A	目標②				
実績①	80箇所	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・段ボール製の簡易トイレ及び凝固剤、収容袋を避難所に5台ずつ整備した。								
改善すべき点	・過去の大規模災害より、災害発生時にはトイレの問題が必ず発生するため、下水道が復旧するまでの間、簡易トイレは必須となり、避難所にある備蓄倉庫の容積との兼ね合いもあるが多数必要となる。								
平成28年度に向けた改善策	・簡易トイレの個数については、想定避難所生活者数を基に、計画的に整備していく。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	5

所属	危機管理室
----	-------

実施計画事業名		地域版ハザードマップ作成事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		地域ごとの災害特性に応じた地域版ハザードマップを作成することにより、浸水被害などの危険個所を把握し避難する際に役立てる。							
指標①	地域版ハザードマップの作成校区数(校区自治連合会)				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	15校区	15校区	15校区	A	目標②				
実績①	15校区	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<p>・大阪府八尾土木事務所や大阪府寝屋川水系改修工管所などと連携して、土砂災害や浸水害、地震に伴う火災などに関する座学を実施したのち、地域の避難経路や災害危険ポイントなどを地図上に落とししていく作業を実施し、まち歩きを通じてその確認を行った地域版ハザードマップを15校区で作成した。</p>								
改善すべき点	<p>・現在使用している地域版ハザードマップの作成機能では、ハザードを正確に地図に落とすことができない。また、校区版又は自治会版のハザードマップのエリア作りに手間を要する。</p>								
平成28年度に向けた改善策	<p>・地図の完成度をさらに高めるため、地域版ハザードマップのシステム構築を行い、各種ハザードをGISでレイヤとして確保できるよう設定を行う。また同時に、作業効率の向上を図るため、校区版・自治会版のエリアをあらかじめデータとして保有し、ハザードマップの新規作成又は更新時にすぐに変更できるよう開発する。</p>								

平成27年度 事業管理報告書

重点事業

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	12	3

所属	花園ラグビーワールドカップ2019推進室
----	----------------------

実施計画事業名		花園ラグビー場整備事業				平成27年度 目標達成度		B	
事業概要		花園ラグビー場を、「ラグビーワールドカップ2019」開催会場にふさわしい施設として、開催後も市民がスポーツを通じて充実したプライベートライフを楽しめる施設として整備する。また、災害時の避難場所、大阪の新しい観光スポットとして活用できる施設に整備する。							
指標①	花園ラグビー場整備の進捗状況				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	基本・実施設計	改修工事	改修工事	B	目標②				
実績①	未達成	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・平成28年度に継続。								
改善すべき点	・基本設計業務については、完了済。実施設計については、平成28年度にワールドラグビーの視察により、変更が生じる可能性があるため、平成28年度に実施設計は継続した。								
平成28年度に向けた改善策	・平成28年4月16日・17日に、ワールドラグビーが東大阪市花園ラグビー場を視察した際に改修について指摘を受けた。 については、指摘を受けた内容を踏まえ再度設計を見直し、今年度中に改修に着手する。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	12	3

所属	花園ラグビーワールドカップ2019推進室
----	----------------------

実施計画事業名		ふるさとづくり推進事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		全国高等学校ラグビーフットボール大会の開催支援およびラグビーの振興を通して、市民が愛着と誇りを高めるとともに、「ラグビーのまち東大阪」を全国に発信することで、人々が住みたい、訪れたいまちづくりを推進する。							
指標①	全国高等学校ラグビーフットボール大会来場者数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	110,000人	110,000人	110,000人	A	目標②				
実績①	127,123人	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<p>・昨年のラグビーワールドカップでの日本代表の活躍により、ラグビー人気が高まり、昨年度の高校大会では過去最高の入場者数を記録した。 全国からの訪れる多くの来場者を歓迎し、気分よく高校ラグビーを楽しんでもらえるような趣向や本市が進めているラグビーワールドカップ2019花園開催のPRイベントを実施。さらには、平成26年度に引き続き、ボランティアサポーターが花園中央公園内の美化活動などを行った。</p>								
改善すべき点	<p>・ラグビーに関心のない方々も含めて高校ラグビーを楽しんでもらえるような工夫を関係団体と連携を図り構築していく。</p>								
平成28年度に向けた改善策	<p>・過去最高の入場者数を記録した。この盛り上がりを継続、さらに盛り上げることができるよう、ラグビーの普及活動および大会PRを実施していく。</p>								

平成27年度 事業管理報告書

重点事業

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	6	3

所属	新市民会館建設室
----	----------

実施計画事業名	新市民会館整備事業	平成27年度 目標達成度	A
事業概要	老朽化が進む市民会館及び文化会館の機能を集約し、中核市・東大阪市のシンボルとしてふさわしい、魅力ある文化芸術の創造と発信の拠点として新市民会館を整備する。		

指標①	新市民会館整備の進捗状況				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	事業手法検討	事業者選定・契約	設計・工事	A	目標②	/	/	/	/
実績①	事業手法決定	-	-		実績②	/	/	/	/

事業実績 (平成27年度)	・新市民会館整備運営における事業手法の検討を行い、PFI手法により行うことを決定した。
------------------	---

改善すべき点	・特になし
--------	-------

平成28年度に向けた改善策	・平成31年12月の新市民会館開館に向け、鋭意進めて行く。
---------------	-------------------------------

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	5	2

所属	市長公室 広報広聴室 広報課
----	----------------

実施計画事業名		市政情報番組提供事業				平成27年度 目標達成度		C	
事業概要		ジェイコムウエストのコミュニティチャンネルで広報番組「虹色ねっとわーく」を放映し、市民に市政情報を提供することにより、市政への関心と興味を深めてもらう。							
指標①	週に数回以上視聴している市民の割合				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	10%	10%	10%	C	目標②				
実績①	6%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<p>・市政情報やまちの話題、市民の市政への関心と参加意識の高揚を促す啓発事業などを取り上げて放映している。</p> <p>市民にとって、より身近で役立つ広報番組になるように、子育て支援新制度や国勢調査についての疑問を解消できるような番組の他、熱中症予防など日々の暮らしに役立つ内容を放映した。また、ラグビーワールドカップ2015イングランド大会のパブリックビューイングの様子などを放映し、ラグビーの普及の一助になるような番組づくりをして、視聴者にとって親しみのある番組になるように心掛けた。</p>								
改善すべき点	<p>・市民がより興味や関心を持ってより多くの方に視聴してもらえるような番組作りに努める。</p>								
平成28年度に向けた改善策	<p>・来年2月に市制50周年を迎えるにあたり市の歴史や魅力を市民の皆さんに知ってもらえるような番組作りや、ラグビーワールドカップ2019開催に向けて市民・市内企業がともに盛り上げられるような番組作りを積極的に行っていく。</p>								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	5	2

所属	市長公室 広報広聴室 広報課
----	----------------

実施計画事業名		市政だより発行事業				平成27年度 目標達成度		B	
事業概要		市政の現状や施策、予算、まちづくりの計画など、市政に関わるさまざまな情報を掲載した市政だよりを月2回(1月のみ1回)発行するとともに、視覚障害のある方を対象に、点字版・録音版市政だよりを発行する。また、小学生のための子ども市政だよりを年2回発行する。							
指標①	市政だよりを読んでいる市民の割合				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	88%	89%	90%	B	目標②				
実績①	78%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<p>・市政だよりは、市政情報やまちの話題、市民の市政に対する関心と参加意識の高揚を促す啓発記事などを掲載している。手に取って読んでいただくため、写真やイラストを随所に取り入れ、見やすい紙面づくりに取り組んでいる。各課からの掲載依頼が多く、紙面が圧迫される状態が続いているが、平成27年度は市を盛り上げるような重要なものは写真などを多用し重点的に掲載した。ラグビーワールドカップ2019花園開催への機運を高めるためにラグビーコラムをコーナー化し、またラグビー関連イベントや基金の設置などは大きく取り上げるなど、市民がラグビーに親しみをもてるような情報発信に努めた。さらに、子育て支援や高齢者福祉など市民に身近な内容を特集化し、表紙には印象的な写真を用いるなど、目を惹く紙面構成を心がけた。子ども市政だより「すくらむ」では、盛り上がりを見せるラグビーのこと、身近にあるみどりのことを取り上げ、自分たちのまちをもっと知ってもらえるような内容にした。また、子どもたちが楽しめるようカラフルな紙面とした。</p>								
改善すべき点	<p>・市政だよりについては、文字ばかりの読みづらい紙面にならないよう写真やイラストを多く使用するなどさらに工夫をし、市民に手にとって読んでいただけるようにする。 「すくらむ」でも、子どもたちが東大阪市や社会にさらに関心をもてるような特集として取り上げる。</p>								
平成28年度に向けた改善策	<p>・写真やイラストを多く使用するなどさらに工夫をし、文字ばかりの読みづらい紙面にならないようにする。また市民が知りたい情報をタイムリーにわかりやすく伝えられるような特集を組むなど、引き続き手にとってもらえる紙面づくりに努める。 「すくらむ」でも、子どもたちが東大阪市のことに興味を持ち関心をもてるような紙面を作成し、大人も子どもも楽しく読みながら学べるように努める。</p>								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	5	2

所属	市長公室 広報広聴室 広報課
----	----------------

実施計画事業名		ウェブサイト整備事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		市政への理解と関心を深めていただくため、市政情報を分かりやすく発信する市ウェブサイトの充実を図る。							
指標①	市ウェブサイトアクセス件数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	145万件	145万件	145万件	A	目標②				
実績①	150万件	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<p>・平成26年度にトップページのリニューアルを行ったが、引き続き閲覧者に利用しやすいサイトになるよう市ウェブサイト推進委員会を平成27年度に2回開催し改善点などを話し合い、より良いサイト作りに努めた。また、平成28年4月に施行される障害者差別解消法にあわせたアクセシビリティに考慮しながらサイト作りを行った。</p>								
改善すべき点	<p>・閲覧者が利用しやすく、興味をもってもらえるようなサイトにするともに、今後は市外の方にも市の魅力を発信するトップページ構成なども必要。また、スマホやタブレット端末などの閲覧機器でみられている割合が年々増加しており、それらの端末機器にあわせた表示をすることが求められている。</p>								
平成28年度に向けた改善策	<p>・平成29年3月のシステム更新にあわせ、さらに閲覧者が利用しやすく、興味を持ってもらえるようなサイトになるよう市ウェブサイト推進委員会を重ね、必要に応じた追加機能の検討を行う。 また、市外の方が閲覧した時に市の魅力が伝わるようなサイト作りを心がける。</p>								

平成27年度 事業管理報告書

重点事業

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	8	5

所属	経営企画部 企画室
----	-----------

実施計画事業名		新たな観光まちづくり推進事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		「ラグビーのまち」「モノづくりのまち」等の地域資源を有効に活用して、都市ブランドを高め、「訪れてよし、住んでよし」東大阪市の実現をめざす。							
指標①	事業の進捗状況				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	仕組みづくり	事業の実施	事業の実施	A	目標②				
実績①	振興計画の策定	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 観光関連事業者や金融機関、地元商工業者や学識経験者等を集めた有識者会議を開催して検討していく中で、観光を産業化していくことによる経済効果、活気の創出、郷土愛の醸成、市民活動の活発化など、創出期待効果を明確にすることができた。 その内容は、東大阪市観光振興計画の策定に反映させることができた。 また、ラグビー観戦、モノづくり観光、下町観光に関する着地型観光プログラムを試行的に実施した。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 地域関係者と議論を進める中で、地域で観光振興を推進する人材が不足していること、本格的な観光推進組織が必要であること、そのための人材確保や観光需要を本市で獲得していくための顧客目線での取り組み推進等に取り組んでいくことが不可欠であること、また、運営組織の安定財源確保等の課題が浮き彫りとなった。 これらの検討結果を反映すべく、具体的な観光推進組織を立ち上げて取り組みを進めていく予定である。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 取り組みの推進にあたっては、地方創生に関する国の新型交付金制度の活用を図っていく。 地域の観光推進を図る新たな組織を立ち上げ、モノづくり観光の推進・ラグビーを活かした観光の推進・文化下町を活かした観光の推進を重点に据えて、取り組みを進めていく予定である。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	4

所属	経営企画部 企画室
----	-----------

実施計画事業名		市内企業経営者が語る創業と会社運営				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		学生が企業経営者の経営に関する講座を受講することで、創業や市内企業への就職の意欲を喚起する。							
指標①	大学での講座実施回数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
					H27	H28	H29	H27達成度	
目標①	6回	15回	20回	A	目標②	/			
実績①	8回	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 市内の大学の授業の中において、市内企業の経営者等が中小企業経営の魅力や、業務内容、人材育成方針等についての講義をしていただく場を設けていただいた。その場に市内企業の経営者を招き、学生に対して地域企業の特徴を話していただいたり、中小企業でどのようなことができるのか、学生時代にどのようなことに取り組むべきかなどについて、幅広く講演をしていただいた。 実施回数 合計8回 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 取り組みを拡大していくためには、就職活動に向けて学生が聞きたい話と企業が講演する内容等について、大学を含めてすり合わせていく必要や仕組みが必要である。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 大学の設置学科などにより話してもらいたいニーズは変わるものであり、どのように実施回数を増やしたり、実施大学を増やしていくのを検討していく必要がある。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	1	1

所属	経営企画部資産経営室
----	------------

実施計画事業名		公共施設再編整備事業(市民会館、荒川庁舎跡地活用)								平成27年度 目標達成度	A
事業概要		「東大阪市公共施設再編整備計画」に基づき、市民会館、荒川庁舎跡地の有効活用をはかるため新永和図書館を整備するとともに、民間施設等を誘致し、周辺のにぎわいを創出する。									
指標①	整備の進捗状況				指標②	/					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	手法検討	提案募集	設計・工事	A	目標②	/	/	/	/	/	
実績①	跡地活用方針(案)を決定 新永和図書館基本計画を策定	-	-		実績②						
事業実績 (平成27年度)	・市民会館跡地及び荒川庁舎敷地に係る跡地活用方針(案)を策定した。また、同時に新永和図書館基本計画を策定した。										
改善すべき点	・跡地活用(案)により、市民会館跡地は新永和図書館を整備していく予定としており、図書館の機能性や利便性の図れる施設整備を検討していく。荒川庁舎敷地は今後のJRおおさか東線の延伸や駅前広場の整備状況を見極めながら、民間施設の誘致を検討していく。										
平成28年度に向けた改善策	・民間施設が建物を整備するにあたり、新永和図書館に必要な機能を要求水準書として作成、契約条件等に対する課題整理を行っていく。										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	4

所属	財務部 管財室
----	---------

実施計画事業名		公共施設再編整備事業(新旭町庁舎整備)				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		「東大阪市公共施設再編整備計画」に基づき、耐震性や老朽化に課題のある旭町庁舎を民間活力を活用して建替え整備する。							
指標①	整備の進捗状況				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	事業手法決定	事業者決定	設計・工事	A	目標②				
実績①	事業手法決定	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	新旭町庁舎整備民間活力導入可能性調査業務を実施し、新旭町庁舎はPFI-BTO方式で整備していくことを決定した。								
改善すべき点	新旭町庁舎の整備条件や民間事業者の事業参画条件等の整理を行っていく必要がある。								
平成28年度に向けた改善策	新旭町庁舎整備の要求水準書の作成を行い、PFI事業者選定を平成28年度中に行っていく。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	4

所属	財務部 管財室
----	---------

実施計画事業名		公共施設再編整備事業(東部地域仮設庁舎整備)				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		「東大阪市公共施設再編整備計画」に基づき、四条の家・東診療所跡を旭町庁舎建替えのための仮設庁舎として整備する。							
指標①	整備の進捗状況				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	工事完了	-	-	A	目標②				
実績①	工事完了	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	平成28年2月末に工事を完了した。その後、東福祉事務所、東保健センター等においては旭町庁舎から東部地域仮設庁舎への移転を行い、平成28年3月22日からは東部地域仮設庁舎で業務を開始している。								
改善すべき点	特になし								
平成28年度に向けた改善策	特になし								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	5

所属	財務部 管財室
----	---------

実施計画事業名		土砂災害防止対策事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		土砂災害防止法における土砂災害警戒区域として6箇所が指定された日下地区の市有地について、年次的に土砂災害危険防止対策工事を実施する。							
指標①	対策進捗率				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	-	66%	83%	A	目標②				
実績①	100%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	土砂災害警戒区域の変更もあり、工事実施予定を見直した。								
改善すべき点	特になし。								
平成28年度に向けた改善策	特になし。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	6	1

所属	人権文化部 文化国際課
----	-------------

実施計画事業名	文化推進事業				平成27年度 目標達成度	B		
事業概要	東大阪市のさまざまな文化的資源を生かし、市民が潤いや安らぎ、まちへの愛着を感じるよう、東大阪市文化芸術振興条例や東大阪市文化政策ビジョンに基づき、有識者などにより構成される文化芸術審議会などとも連携して、総合的に文化施策を推進する。							
指標①	文化政策ビジョンの進捗状況			指標②	/			
指標の 説明・計算式	/			指標の 説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H27達成度	H27	H28	H29	H27達成度
目標①	90件	95件	100件	B	目標②	/		
実績①	88件	-	-		実績②	/		
事業実績 (平成27年度)	<p>・「東大阪市文化芸術振興条例」に基づき、東大阪市文化芸術審議会を開催し、本市の文化政策の基本方針である「東大阪市文化政策ビジョン」に基づく文化振興について意見を収集するとともに、政策の推進を図った。</p> <p>平成27年度は、特に市内の文化施設をイラストマップで紹介した“きて、みて、感じて 文化の薫り 東大阪みどころマップ”を作成し市内外に広く配布。マップには、AR技術を活用し、新たに作成した司馬遼太郎記念館と市民美術センターのPR動画を搭載することで、紙面だけでは伝わらない魅力を映像を用いて発信した。さらに、実際に文化施設を訪れて楽しんでもらえるよう、市民美術センターにてARを使用した遊び(ぬりえAR)を実施し、子どもやその保護者などに向け、楽しんでもらいながら文化施設の魅力発信も行った。</p>							
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い年齢層(特に若年層)への文化発信。 ・地域固有の文化資源を通して東大阪市の文化の魅力を総合的にPRするため、他施設や他機関との連携の強化。 							
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、本市の文化政策の基本方針である「東大阪市文化政策ビジョン」に基づき文化政策を推進するとともに、文化資源の総合的な発信方法や連携について新たな取り組みを検討し、実施する。 							

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	8	1

所属	人権文化部 文化国際課
----	-------------

実施計画事業名		国際情報プラザ事業				平成27年度 目標達成度		C	
事業概要		英語、韓国・朝鮮語、中国語での相談案内や翻訳、情報発信とともに、休日総合相談会や多文化理解講座、語学ボランティア派遣、人材育成のための研修会、交流会などの各種事業の他、国際理解、国際協力に関する情報提供や支援を行い、多文化共生社会を推進する。							
指標①	国際情報プラザの多言語相談件数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	1,200件	1,200件	1,200件	C	目標②				
実績①	792件	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 英語、韓国・朝鮮語、中国語、日本語による情報提供・収集及び相談業務 792件 語学ボランティア派遣(各部局の依頼に基づき登録ボランティアを派遣する制度) 210件 語学ボランティア研修会(入門編・応用編)の実施。参加者 26人 外国人のための1日相談サービス 相談件数 59件 多文化理解講座「世界のパパ&ママおしゃべり広場」参加者 27人 機構業務名等翻訳・筆耕(各部局の依頼に基づき、行政文書やパンフレット等を翻訳する制度) 等 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズに対応可能な言語数、行政スキルを持ったボランティアの確保。 国際情報プラザの事業内容、活動の周知。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、対応可能言語、分野の拡充などに向け、語学ボランティア登録者数を増やすとともに、行政通訳者としてのスキルアップへの支援を行う。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	8	2

所属	人権文化部 文化国際課
----	-------------

実施計画事業名		国際化推進事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		外国籍住民への生活支援やその社会参加を推進するために、日本語教室の開催、窓口対応用多言語対訳集の改訂、外国籍住民施策懇話会などを実施するとともに、外国籍の方だけではなくすべての住民が集えるいわゆる国際交流センターなどの拠点の検討や、市民や団体などが行う多文化共生推進事業を支援するなど、交流の機会の充実に努める。							
指標①	国際交流及び多文化共生推進事業の参加者数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	26,000人	26,500人	27,000人	A	目標②				
実績①	26,021人	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・東大阪国際交流フェスティバル参加者 7,000人 ・盾津ふれあいフェスティバル参加者 2,000人 ・国際交流協会事業会員 101人 ・日本語教室参加者数(学習者、ボランティア数合計) 16,920人 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人住民の多様化するニーズに併せた、きめ細やかな対応。 ・多文化理解の推進に向け、より多くの住民が交流を深めることができるような啓発。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・特に、日本語教室の運営を担うボランティアの確保に努めながら、引き続き、市民が行う多文化共生推進事業への支援を行う。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	7	4

所属	人権文化部 市史史料室
----	-------------

実施計画事業名		市史編さん事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		市史を編さんすることにより市民の郷土愛と歴史への関心を高める。							
指標①	古文書のマイクロフィルム化進捗率				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	85%	86%	87%	A	目標②				
実績①	85%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・当室が所蔵・寄贈・寄託を受けている古文書等について、マイクロフィルム撮影を進めるなど、整理や保存に努め、分散して保管していた刊行物や古文書等の集約化を進めた。								
改善すべき点	・旭町庁舎に集約化を行ったが、未だに古文書等が分散して保管している状況にあること。								
平成28年度に向けた改善策	・引続き、当室の古文書等を集約するよう努めていくとともに、整理や保存にあたっては、大学など専門機関との連携を検討するなど、適正な管理をすすめる。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	3	1

所属	人権文化部 男女共同参画課
----	---------------

実施計画事業名		男女共同参画推進事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		社会のあらゆる分野で男女共同参画を推進するため、第三次男女共同参画推進計画を改定し、本計画に基づき、各種啓発等により学習の機会を提供するとともに、市民・事業者・教育関係者との協働で男女共同参画社会の実現をめざす。また、DV被害防止への取り組みを強める。							
指標①	審議会などにおける女性委員の割合				指標②	新たにDV カードを設置した箇所数			
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	34%	35%	36%	B	目標②	5箇所	5箇所	5箇所	A
実績①	28.4%	-	-		実績②	5箇所	-	-	
事業実績 (平成27年度)	・審議会等への女性の参画比率については、年2回(4月1日・10月1日現在)の調査を実施。女性委員参画比率は平成26年度の27.9%より改善したものの、目標達成には至らなかった。各審議会における女性の参画促進の意識をより一層高めてもらうため、委員の改選前に提出される計画書により、参画率が低い場合は所管課と協議し少しずつでも女性委員の増員を進めらるるよう働きかけた。 DV被害防止への取り組みとしては、市政だよりに啓発記事を掲載、またDVの相談窓口等を記載したカードを作成し広く配布した。また、多様化するケースに迅速に対応できるようDV対策連絡会議を開催し関係機関との連携強化を図った。さらに民間シェルター等に対する補助事業を実施した。								
改善すべき点	・それぞれの審議会で定める委員の要件が関連団体における充職や推薦となっていることが多く、これらに携わる女性の母数自体が少ない。								
平成28年度に向けた改善策	・引き続き、審議会等を所管している所属課について、女性委員の参画率に留意して委員を選出するよう働きかける。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	2	2

所属	人権文化部 人権室 人権啓発課
----	-----------------

実施計画事業名	人権啓発促進事業				平成27年度 目標達成度	B			
事業概要	憲法週間事業、人権週間事業等の人権啓発事業を展開し、誰もがもっている基本的人権を守り、あらゆる差別の解消をめざし、人権意識の高揚を図るため、啓発活動を実施する。								
指標①	イベント参加者のアンケート満足度				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	93%	93%	93%	B	目標②				
実績①	89%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	5月の憲法週間事業(来場者177人)、7月の人権尊重のまちづくり強化月間事業(来場者123人)、12月の人権週間事業(来場者315人)において、講演会等の人権啓発活動を実施。市民人権講座(参加者合計104人)や北朝鮮人権侵害問題啓発活動(来場者350人)やパネル展などを催し、市民が参加しやすい人権啓発・人権教育に取り組んだ。								
改善すべき点	これまでに行ったテーマ以外にまだ取り組めていない人権課題について、人権啓発事業を行い、様々な人権課題について周知、啓発する必要がある。								
平成28年度に向けた改善策	引き続き、あらゆる人権課題について、市民に関心を向けてもらうような人権啓発事業を実施し、市民が人権問題を自らの問題としてとらえ、理解ができるような啓発事業を行っていく。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	4	1

所属	人権文化部 人権室 人権啓発課
----	-----------------

実施計画事業名		平和のまちづくりの推進事業								平成27年度 目標達成度	A
事業概要		「平和都市宣言」の趣旨に基づき、核兵器廃絶、平和推進のため、広く市民が参加できる啓発事業を実施するとともに、平和のつどいをはじめ、平和に関する事業により平和への意識を高める。									
指標①	イベント参加者のアンケート満足度				指標②	/					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
					H27	H28	H29	H27達成度		H27	
目標①	87%	87%	87%	A	目標②	/					
実績①	88%	-	-		実績②						
事業実績 (平成27年度)	7月に平和アニメフェスティバルを行い、アニメ映画「おかあちゃん ごめんね」、「ヒックとドラゴン」を上映(来場者760人)。7月下旬から8月上旬にかけて、ピースウィーク「平和資料展」、「原爆体験のおはなし」、「疎開体験のおはなし」、「被爆ピアノコンサート」、「バイマーヤンジンさん トーク&コンサート」を開催。平和の大切さを訴えとともに、平和のために自分たちに何ができるのかを考えていただくきっかけとしての平和イベントを行った。 また、本市の非核「平和都市宣言」の趣旨のもと、平和の尊さを伝えるため設置をしていた平和モニュメントを市民会館前から市役所前の春宮公園内に移設をした。										
改善すべき点	戦後70年を迎え、戦争体験者の高齢化が進み、平和の尊さを身をもって知る人たちの声を聴く機会の減少が懸念される。										
平成28年度に向けた改善策	引き続き、市民に関心を向けてもらうような平和事業を計画し、平和と命の尊さを次代に語り継ぐために若い世代に対し、アピールを行っていく。										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	2	2

所属	人権文化部長瀬人権文化センター 人権文化部長瀬人権文化センター
----	------------------------------------

実施計画事業名	人権文化センター人権啓発交流事業								平成27年度 目標達成度	B
事業概要	人権問題の理解を深め早期解決を図るため、啓発、情報提供に努めるとともに、教養・文化事業として各種講座の開催や人権講演会・コンサートなどイベントの実施により市民相互の交流を積極的に推進する。									
指標①	イベント・講座などへの参加率(長瀬人権文化センター)				指標②	イベント・講座などへの参加率(荒本人権文化センター)				
指標の説明・計算式	(イベント参加者/収容人員+イベント参加者/収容人員+講座参加者/講座受講定数)/3				指標の説明・計算式					
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度	
目標①	100%	100%	100%	B	目標②	100%	100%	100%	B	
実績①	97%	-	-		実績②	95%	-	-		
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・【長瀬人権文化センター】 ・イベント参加者150人(定数150人) 親子手作り教室20人(定数20人) ・講座参加者1,575人(定数1,748人) ・【荒本人権文化センター】 ・イベント人権講演会(あらもと愛ふれあい21) 参加人数374人(定数400人) ・ふれあい講座(通年各20回) 参加人数 125人(定数131人) 									
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・【長瀬人権文化センター】 当館での講座利用者は高齢層が多く若年層が少ない。 ・【荒本人権文化センター】 講座への参加者の大半が地域外からであり、相互交流の意味合いが薄れて来ていることから、新規講座の開拓も含め企画運営の見直しを検討をすべき。 									
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・【長瀬人権文化センター】 実施する講座の時間帯・内容等をさらに充実させていきたい。 ・【荒本人権文化センター】 より多くの市民が参加いただける様な、魅力ある講座・イベントの企画運営に努める。 									

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	2	3

所属	人権文化部長瀬人権文化センター 人権文化部長瀬人権文化センター
----	------------------------------------

実施計画事業名	人権文化センター総合相談事業								平成27年度 目標達成度	B
事業概要	人権侵害を受ける恐れのある市民が、主体的判断で問題を解決することができるよう、事案に応じた適切な助言や情報提供などにより支援するとともに、日常生活上のさまざまな課題を有する市民ニーズを的確に把握し、福祉の向上と自立のための支援をする。									
指標①	相談件数(長瀬人権文化センター)				指標②	相談件数(荒本人権文化センター)				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式					
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度	
目標①	350件	350件	350件	C	目標②	500件	500件	500件	B	
実績①	234件	-	-		実績②	460件	-	-		
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・【長瀬人権文化センター】 人権相談 21件 総合生活相談 208件 進路選択支援相談 5件 ・【荒本人権文化センター】 人権相談 17件 総合生活相談 424件 進路選択支援相談 19件 									
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・【長瀬人権文化センター】 市政だより・当館のコミュニティ紙「長瀬だより」・ホームページ等でPRを務めたが、昨年度と比べて相談件数がやや減少した。 ・【荒本人権文化センター】 人権文化センター(隣保館)としてどのように関係機関と連携していくのかを検討し、具体化していく必要がある。 									
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・【長瀬人権文化センター】 さらなる周知に努めたい。 ・【荒本人権文化センター】 関係機関との連携をより一層強化する。 人権文化センター総合相談事業の周知を図る為、市政だより、ホームページやセンターだより等による更なるPRに努める。 									

平成27年度 事業管理報告書

重点事業

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	1	1

所属	協働のまちづくり部 市民協働室
----	-----------------

実施計画事業名		東大阪市版地域分権制度検討事業								平成27年度 目標達成度	-
事業概要		地方創生をはじめとし、地方独自の取り組みの重要性が増している中、東大阪市においても、各地域の特色に応じたまちづくりが求められている。そこで東大阪市にふさわしい地域分権制度について、各地域の意見を聞きながら諮問会議において検討する。									
指標①	諮問会議の開催回数				指標②	/					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
					H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28
目標①	-	3回	3回	-	目標②	/					
実績①	-	-	-	-	実績②						
事業実績 (平成27年度)	・未実施										
改善すべき点	・特になし										
平成28年度に向けた改善策	・東大阪市協働のまちづくり推進審議会の設置										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	1	1

所属	協働のまちづくり部 市民協働室
----	-----------------

実施計画事業名		まちづくり意見交換会開催事業				平成27年度 目標達成度		D	
事業概要		「まちづくり意見交換会」を定期的を開催し、市民や市民活動団体の情報交換、地域の魅力や課題の共有により、「自分たちのまちは自分たちでつくる」という機運の醸成を図る。							
指標①	意見交換会の参加人数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	2,220人	2,340人	2,340人	D	目標②	/	/	/	/
実績①	435人	-	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成27年度)	<p>・7つのリージョンセンターで計14回のまちづくり意見交換会を開催することで市民や市民活動団体の情報交換の場となった。また、ワークショップを参加者に行ってもらった中で、市民の自治意識の醸成を促進した。意見交換会を通して、新たな市民活動事業が行われてきている。</p>								
改善すべき点	<p>・市内7か所での開催では範囲が広すぎて話がまとまりにくいといった声もある。今後は地域が主導のまちづくり制度を検討していくにあたって、もう少し小さな範囲で開催していく必要がある。</p>								
平成28年度に向けた改善策	<p>・まちづくり意見交換会を通じて、地域課題を地域自らが解決していく活動が行われはじめてきた。地域が主導となってまちづくりを進めていくための制度設計に向けて、リージョンセンターよりも小さな範囲で開催していく。</p>								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	1	1

所属	協働のまちづくり部 市民協働室
----	-----------------

実施計画事業名		地域サポート職員配置事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		地域と行政との連携を進める職員（地域サポート職員）を配置する。地域団体、企業へのインタビューや、まちづくり意見交換会から生まれた事業化検討会議のサポートを行い、協働のまちづくりを推進する。							
指標①	地域サポート職員の活動日数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	2,400日	2,560日	2,560日	A	目標②				
実績①	2,662日	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 再任用職員7名と地域雇用の非常勤嘱託14名の計21名の地域サポート職員を地域別計画地域ごとに配置し、地域訪問を行い、まちづくり意見交換会から生まれた市民発意の協働事業の支援を行うことで、協働のまちづくりを推進した。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 地域訪問を行うことで得た地域情報を活かし、地域と行政の連携を進めていくことで、より一層協働のまちづくりを推進していくことが課題。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 地域訪問を増やして地域との顔の見える関係をより強固なものとし、より一層協働のまちづくりを推進していく。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	1	2

所属	協働のまちづくり部 市民協働室
----	-----------------

実施計画事業名	地域まちづくり活動助成事業				平成27年度 目標達成度	A
事業概要	魅力ある地域づくりを推進するため、市内を活動拠点とする団体が自ら企画・提案し、地域資源の活用や地域課題の解決に向けて実施する事業に対して助成を行う。					
指標①	平成16年度から現在までの助成金を交付した団体の累積数				指標②	
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式	
	H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	185団体	200団体	215団体	A	目標②	
実績①	195団体	-	-		実績②	
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度は、29件の申請があり、うち22件を採択した。採択件数の内訳は、スタートアップ助成事業(たまご助成金)が15件、ステップアップ助成事業(ひよこ助成金)が6件、まちづくりファンド(トライ助成金)が1件であった。 また、資金的なサポートだけでなく、助成金活用講座などを開催し、市民活動団体に対して技術的なサポートを行った。 					
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 助成金交付団体に対して、資金面だけでなく、団体のニーズにあった講座の開催や運営相談など、より多角的な支援を行っていく必要がある。 					
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 助成金交付団体にアンケートやヒアリングを行うことで、団体の現状や課題などを把握し、多角的な支援を行っていく。 					

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	1	4

所属	協働のまちづくり部 市民協働室
----	-----------------

実施計画事業名		まちづくりコーディネーター養成事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		まちづくり活動に関心のある人を対象に、活動に必要な知識や技術を学べる講座を開催し、市民活動の核となる「まちづくりコーディネーター」を育成する。							
指標①	コーディネーター養成人数(累計)				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	66人	96人	126人	A	目標②				
実績①	75人	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年10月から3月にかけて「まちづくり担い手養成講座」を実施。計10回の講座を通して、まちづくり活動に必要な意見を交換する「場の運営」や「想いの共有」、「事業計画」のノウハウや他市のまちづくり事例や地域分権制度についての講座を行った。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 講座受講生が修了後にどのような活動に取り組んでいるか現状を把握し、実際の活動に必要な講座となるよう検討し、よりまちづくり活動が活性化する講座にしていくことが課題である。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 過去の修了生にアンケートを行い、平成28年度の講座内容に生かしていく。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	1	2

所属	協働のまちづくり部 地域コミュニティ支援室
----	-----------------------

実施計画事業名		自治会集会所整備補助事業				平成27年度 目標達成度		B	
事業概要		地域コミュニティの醸成や活動の広がりをめざし、自治会活動の拠点となる自治会集会所の整備を支援する。							
指標①	集会所設置自治会数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	191自治会数	193自治会数	195自治会数	B	目標②				
実績①	190自治会数	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・平成27年度は、新たな自治会・集会所を設置した実績は無し。								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・特になし								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	2

所属	協働のまちづくり部 地域コミュニティ支援室
----	-----------------------

実施計画事業名					街頭犯罪防止啓発事業					平成27年度 目標達成度	A
事業概要					ひったくりをはじめとした街頭犯罪の発生を抑止するため、地域で行う街頭犯罪防止キャンペーンなどを通じて啓発を行う。						
指標①	ひったくり防止キャンペーン回数の累計				指標②	/					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	30回	60回	90回	A	目標②	/					
実績①	86回	-	-		実績②						
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ひったくり防止キャンペーンを86回実施した。 布施署管内 45回 河内署管内 23回 枚岡署管内 18回 										
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 										
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ひったくり防止などのキャンペーンを行っても、来る人は限られているので、広く周知する必要がある。 										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	2

所属	協働のまちづくり部 地域コミュニティ支援室
----	-----------------------

実施計画事業名					防犯カメラ設置費補助事業					平成27年度 目標達成度	B
事業概要					街頭犯罪の発生を抑止するため、自治会が設置する防犯カメラに対し設置費用を補助する。						
指標①	防犯カメラ設置台数				指標②						
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式						
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	225台	295台	365台	B	目標②						
実績①	214台	-	-		実績②						
事業実績 (平成27年度)	・19自治会 59台 10,490,000円										
改善すべき点	・特になし										
平成28年度に向けた改善策	・特になし										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	2

所属	協働のまちづくり部 地域コミュニティ支援室
----	-----------------------

実施計画事業名					防犯灯設置費補助事業					平成27年度 目標達成度	B
事業概要					まちを明るくし、夜間における街頭犯罪の発生を抑止するため、自治会が設置する防犯灯に対し設置費用を補助する。						
指標①	防犯灯LED化率				指標②	/					
指標の説明・計算式	LED 防犯灯設置補助灯数 / 防犯灯維持管理費補助灯数 × 100				指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	20%	25%	30%	B	目標②	/					
実績①	19%	-	-		実績②						
事業実績 (平成27年度)	・LED防犯灯1,354灯、その他1灯 24,831,000円										
改善すべき点	・蛍光灯や白熱灯から今後LED化が促進されていくことが予想されるため、LED付け替えのため、予算の大幅な増額を検討していく。										
平成28年度に向けた改善策	・補助金額を見直し、幅広く多くの自治会に補助金が行きわたるよう支援する。										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	2

所属	協働のまちづくり部 地域コミュニティ支援室
----	-----------------------

実施計画事業名		青色防犯パトロール活動支援事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		街頭犯罪の発生を抑止するため、ボランティアによる青色防犯パトロール活動を支援し、活動の活性化を図る。							
指標①	小学校区に対する青色防犯パトロール団体設立数の割合				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	42%	55%	64%	A	目標②	/			
実績①	43%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<p>・平成27年度は東大阪市自治協議会がメインとなって青色防犯パトロール活動に取り組むようになった。また、より犯罪抑止効果の高い警察車両と同じ白黒のツートンカラーの専用車を整備した団体が1団体増え、専用車が合計13台となり、より多くのパトロール活動に従事してもらえるように配慮した。</p>								
改善すべき点	<p>・自治会や防犯委員会など単独で青パト活動を行っている団体が多く、今後は校区連合として連携を図っていく。</p>								
平成28年度に向けた改善策	<p>・各小学校区に青色防犯パトロール活動が拡がるように、引き続き呼びかけていく。</p>								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	1	1

所属	市民協働室 NPO・市民活動支援課
----	-------------------

実施計画事業名	リージョンセンター公民協働事業				平成27年度 目標達成度	C
事業概要	地域の特性を生かした個性的なまちづくりを推進するため、市民プラザを拠点とした、各リージョンセンター企画運営委員会が実施する公民協働事業に対して助成を行う。					
指標①	リージョンセンター企画運営委員会が実施する各種事業の延べ参加者数				指標②	
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式	
	H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	35,000人	35,000人	35,000人	C	目標②	
実績①	27,781人	-	-		実績②	
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 各リージョンセンター企画運営委員会においては、地域の特性を活かしたまちづくりに取り組んだ。 各種教室事業やイベントの開催によるリージョンセンターの活性化はもとより、地域資源を活用した個性ある取り組みも行われた。また、ふれあい祭りに参加し、リージョンセンター事業のPRに努めた。 					
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> リージョンセンターの企画運営委員会で、毎年様々な事業を企画・実施しているが、リージョンセンターの知名度が依然として低く、地域の十分な活性化までには至っていない。 					
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、リージョンセンターの知名度の向上を図るとともに、各種実施事業をより積極的にPRし、地域に根差したまちづくりに取り組む。 リージョンセンター連絡会の開催により、組織運営手法や課題を共有化し、リージョンセンターの活性化に積極的に取り組む。 					

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	1	2

所属	市民協働室 NPO・市民活動支援課
----	-------------------

実施計画事業名	NPO等活動基盤強化事業				平成27年度 目標達成度	A
事業概要	NPO や市民活動団体に対し、NPO アドバイザーが相談・助言などの支援を行い、活動基盤の強化を推進する。					
指標①	NPO等からの相談件数				指標②	
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式	
	H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	150件	200件	300件	A	目標②	
実績①	224件	-	-		実績②	
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口及び訪問による相談実績224件。 ・NPOアドバイザーによるNPO法人への個別訪問により、NPO等に関する運営上の相談や活動内容の把握を積極的に行った。 ・法人の活動を把握する事により抽出された多様なニーズを集約し、それらに合致した講座や交流会を実施した。 					
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人が約140あり、訪問件数が多いことから計画的な訪問が出来なかった。前年度の経験を活かした効率的・効果的な訪問計画を立てる必要がある。 					
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的・効果的な訪問計画に基づくNPOアドバイザーによる訪問を継続し、より細やかなニーズ把握に努めるとともに、法人等が求めるニーズに対応した講座や交流会による支援により、法人の基盤強化を行う。 					

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	1	3

所属	市民協働室 NPO・市民活動支援課
----	-------------------

実施計画事業名					市民活動情報サイト運営事業					平成27年度 目標達成度	B
事業概要					市民活動への参加の機会を広げるため、市民活動支援ポータルサイトを運営し、活動団体の情報発信を支援する。						
指標①	ポータルサイトへのアクセス数				指標②	/					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	28,000回	29,000回	30,000回	B	目標②	/					
実績①	27,077回	-	-		実績②						
事業実績 (平成27年度)	・市民活動情報のポータルサイトである「東大阪市民活動情報サイト(通称:スクラムは〜と)」を、平成23年12月に開設し、市民活動団体等の情報の集約や発信を実施。										
改善すべき点	・「スクラムは〜と」の認知度の向上と登録団体の整備										
平成28年度に向けた改善策	・「スクラムは〜と」を利活用してもらえるよう、市民に対する広報を充実させ、連絡が取れない登録団体や更新が行われていない団体等については確認作業をおこない、団体の整理に努める。										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	26	1

所属	市民生活部 消費生活センター
----	----------------

実施計画事業名		消費生活相談事業				平成27年度 目標達成度		B	
事業概要		消費生活にかかる相談及び苦情に関して、専門相談員による助言や斡旋により解決を図る。							
指標①	消費生活相談を受けた内、解決した割合				指標②	/			
指標の説明・計算式	斡旋で解決した件数/斡旋件数 × 100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	100%	100%	100%	B	目標②	/			
実績①	91%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<p>・商品やサービスに関する苦情、問合せ等を受け付け、トラブル解決のための助言、あっせん、情報提供等を実施した。</p> <p>受付 月曜日～金曜日 時間 午前9時30分～午後4時(ただし祝日及び年末年始を除く)</p>								
改善すべき点	<p>・相談件数は高水準で推移し、相談内容が複雑多様化するとともに、1件の相談に要する時間が増加している。</p>								
平成28年度に向けた改善策	<p>・複雑多様化する相談内容に対応する相談員のスキルアップを図るとともに、センターの周知を図り利用を促進する。</p>								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	26	2

所属	市民生活部 消費生活センター
----	----------------

実施計画事業名		消費生活啓発事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		消費者被害を未然に防止し、消費者の安全・安心を確保するため、消費者教育や啓発を実施する。							
指標①	くらしの緊急情報の市政だよりへの掲載回数				指標②	/			
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	11回	11回	11回	A	目標②	/			
実績①	11回	-	-		実績②	/			
事業実績 (平成27年度)	<p>・消費生活出張講座の開催 6回 延べ327名参加 くらしの情報セミナーの開催 4回 延べ172名参加 消費者教育推進講座 11回開催 参加者 延べ665名 子ども消費生活体験講座 2回開催 参加者 延べ28名 消費者問題講演会の開催 1回 35名参加 消費者月間街頭啓発 3回 暮らしのスクラム全戸回覧 4回 悪質商法、振り込め詐欺防止等街頭啓発(布施警察と合同 5回 河内警察と合同 5回 枚岡警察と合同 1回) 消費生活展の開催 1回 くらしの緊急情報の市政だよりへの掲載 11回 主要駅での啓発ポスター掲示 3回 啓発懸垂幕の掲示 2回 ヴェルノール・ビジョンで相談事例等を放映 総合庁舎、市外部施設、地域包括支援センター等に啓発グッズ及び啓発ポスターを掲示 みれあい祭りなどでの啓発 その他ホームページ等を通して 情報の提供に努めた</p>								
改善すべき点	<p>・消費生活センターの存在をより広く市民に知ってもらい、活用していただくため、引き続き啓発に努める。 ・消費者教育推進法の施行に伴い、消費者のライフステージにあった消費者教育の推進を検討していく必要がある。</p>								
平成28年度に向けた改善策	<p>・消費生活センターの存在をより広く市民に知ってもらい、活用していただくため、関係機関等とも連携を図りながら、引き続き啓発に努めるとともに、消費者教育の総合的、一体的な推進に向けて引き続き検討を行う。</p>								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	13	3

所属	市民生活部 医療保険室 保険管理課
----	----------------------

実施計画事業名		医療費適正化事業				平成27年度 目標達成度		C	
事業概要		特定健康診査・特定保健指導の推進などにより生活習慣病を未然に防ぎ、生活の質の維持及び向上を図るとともに、医療機関への重複・頻回受診者に対する保健師による訪問指導や、国保データベース(KDB)システムを活用し市の特性に合った保健事業を実施することにより、医療費の適正化を図る。							
指標①	特定健康診査実施率				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	36.10%	36.90%	37.70%	C	目標②				
実績①	22.40%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<p>・医師会等の各機関にポスターの掲示依頼や、保健センター等のイベントや市政だより・CATV等で啓発を実施。未受診者に対しては職員による電話・ハガキでの再案内を実施、平成27年度は再案内ハガキの送付数を増やし受診率向上を図った。また、受診率の低い若年層(就労年齢)の受診を促進すべく、休日に集団健診を2回実施。協力が得られた7医療機関にて休日健診を延べ9回実施。休日健診受診者数は平成26年度と比べて倍増となった。市政だより11月15日号保存版にて曜日別医療機関を掲載した。また、通院中・治療中の方への特定健診受診勧奨としてチラシを作成し、各医療機関に配布、設置を依頼した。雇用保健師による重複・頻回受診者への訪問指導を実施。対象者24名全員に健康相談及び適正受診の指導ができた。国保データベース(KDB)システムを活用し、データヘルス計画を策定。</p>								
改善すべき点	<p>・本市の特定健診受診率は、平成26年度は2.4%増加しているものの、未だに大阪府平均を下回っており、受診率向上が課題である。引き続き、より効果的な受診勧奨・対象者選定を行う必要がある。</p>								
平成28年度に向けた改善策	<p>・生活習慣病で現在通院・治療中の方への受診勧奨を医療機関と連携し、特定健診受診率の向上を図るとともに、受診結果から必要な対象者への受診勧奨・保健指導等を行い、重症化予防へとつなげていく。また、受診勧奨ハガキを送付後対象者に電話をかけ再度勧奨する、コール・リコール制度の導入を予定している。</p>								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	24	2

所属	経済部 経済総務課
----	-----------

実施計画事業名	中小企業融資事業								平成27年度 目標達成度	A
事業概要	中小企業の円滑な資金繰りや、安定した経営を支援するため、公的融資を実施する。また、クリエイション・コア東大阪において、総合的な融資相談を行う。									
指標①	「東大阪市小規模企業融資制度」による融資を受けた中小企業者の満足度				指標②	/				
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式					/
					H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	80%	80%	80%	A	目標②	/				
実績①	94%	-	-		実績②					
事業実績 (平成27年度)	・大阪府市町村連携型融資である「小規模企業融資制度」について、昨年度に引き続き取扱金融機関へ預託を行い、大阪府下において最も低利である0.8%の貸付利率を引き続き実現した。									
改善すべき点	・本制度は、大阪府制度融資の小規模企業サポート資金における市町村連携型として実施するものであり、制度の実施は府の動向に左右される。									
平成28年度に向けた改善策	・平成27年度に引き続き、融資制度のチラシを作成し関係機関への設置を依頼するとともに、市の施策説明会等において広報を行い、広く周知を図る。									

平成27年度 事業管理報告書

重点事業

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	24	1

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

実施計画事業名		住工共生のまちづくり事業				平成27年度 目標達成度		C	
事業概要		本市にとって重要な存立基盤の一つである製造業の集積維持や継承に向けた環境づくりを積極的に推進しつつ、良好な住環境を確保することで、活力あふれる経済活動と快適な生活環境の両立をめざす。							
指標①	相隣環境対策支援補助金の活用件数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	5件	7件	10件	C	目標②				
実績①	3件	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 住工共生のまちづくり条例に基づき認定された住工共生まちづくり協議会が実施する事業に対して補助金を交付する「住工共生まちづくり活動支援補助金」を新規実施。 住工共生のまちづくり条例に基づき特にモノづくり企業の集積を維持し、促進することが必要であると認める地区について、水走地区、高井田地区を選定し、都市計画制度の活用について検討実施。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 住工共生にかかる補助金施策について、活用件数が少ないものがある。 条例に基づき、施策等の実施状況を公表し、広く市民、モノづくり企業等の意見を求めるものとなっているが、本条例に関する意見が少ない。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 住工共生のまちづくりの取り組みに関するPRを積極的に行う。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	8	5

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

実施計画事業名		モノづくりのまちイメージアップ事業				平成27年度 目標達成度		-	
事業概要		市内モノづくり企業の優秀性を学生・女性等に向けてわかりやすく発信することにより、モノづくりのまちのイメージを高める。							
指標①	市内大学生への媒体配布数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	-	10,000枚	-	-	目標②				
実績①	-	-	-	-	実績②				
事業実績 (平成27年度)	特になし。								
改善すべき点	特になし。								
平成28年度に向けた改善策	特になし。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	1

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

実施計画事業名		知的財産支援事業				平成27年度 目標達成度		D	
事業概要		市内製造業が知的財産を創造・活用することを推進し、製品の高付加価値化への転換を図ることを支援する。							
指標①	産業財産権活用事業補助金の活用				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	10件	10件	10件	D	目標②	/			
実績①	1件	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	補助金の利用条件が緩和されたこともあり、問い合わせ件数は増加している。								
改善すべき点	補助金の概要を理解していただけていないことが多く、申請にまで至らないケースがほとんどである。もっと認知度を上げていく必要がある。また、産業財産権活用事業補助金と銘打っているものの、現状では特許権のみが対象である。今後、対象となる権利を拡大するののかも検討課題である。								
平成28年度に向けた改善策	平成28年度から当該補助金を(公財)東大阪市産業創造勤労者支援機構で行うことになっており、研究開発事業等と関連し、周知をはかる。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	1

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

実施計画事業名		東大阪デザインプロジェクト事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		世界で高く評価されているデザインという資源に着目し、本市製造業の高い技術力と融合させていくことで、付加価値の高いオリジナル製品を創出する。							
指標①	本プロジェクトを通じて誕生・改良した製品数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	3製品	3製品	3製品	A	目標②				
実績①	3製品	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	①デザイン製品を志向する市内中小企業に対し、「リノベーション市場に必要とされるモノづくり」を開発テーマと設定して、リノベーション市場をターゲットに新製品開発を実施。(3社)②諸外国でのデザインに関する動向や製品開発におけるデザインに必要な視点、デザイン性を高めることによる効果などの解説と併せて製品アドバイスを実施。(2回開催)③10月に、東大阪デザインプロジェクト製品発表の場として国際見本市「LIVING & DESIGN2015」へ出展し、本事業の成果を発信した。(来場者数:7,332人)								
改善すべき点	デザイン資源への重要性を啓発していくとともに、デザイン製品開発に参入できる環境を整えていく必要がある。本プロジェクトに参加した企業の成果を把握していく必要がある。								
平成28年度に向けた改善策	引き続き、デザイン思考を取り入れた製品開発の取り組みを進めるとともに、市内中小企業による商品価値を高めたり、感性価値を創出した成果事例を産みだしていく。併せて、本プロジェクト参加企業の成果把握のため、フォローアップ調査を行っていく。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	1

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

実施計画事業名		産業技術支援センター機器整備事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		製品の精度を精密に測定する機器などの整備を行い、市内製造業の技術力などの向上につなげる。							
指標①	測定機器等の利用件数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	2,300件	2,300件	2,300件	A	目標②				
実績①	2,379件	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	平成27年度は年間を通して万遍なく利用され、件数も増加した。								
改善すべき点	一部の既存機器が経年劣化し、機器が使用できなくなりつつあるため、利用者のニーズを踏まえ、予算の範囲内で、随時、既存機器を更新する必要がある。								
平成28年度に向けた改善策	利用者のニーズ、機器整備の必要性等を見極めながら、機器の導入・更新を行なっていく予定。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	1

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

実施計画事業名		高付加価値化支援事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		市内中小製造業者が単独又は2社以上の共同で行う、新たな産業技術の研究や新製品の開発に向けた活動等に対して補助金を交付し、付加価値の高い製品の製造や技術研究を促進する。							
指標①	高付加価値化促進事業助成金の活用件数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	10件	10件	10件	A	目標②	/			
実績①	10件	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	13件の提案に対して10件を採択し、助成金を交付した。いずれの事業も製品化に向けた試作品や新たな技術開発等の成果がみられる。								
改善すべき点	コーディネーターが本事業について広報に努めていただいたこともあり、5月の一次公募において採択予定件数以上の応募があり、一次募集において募集を締め切った。今後は事業実施中における技術系コーディネーターのフォローから開発後の販路コーディネーターによるアドバイス等一連の流れが必要。								
平成28年度に向けた改善策	上記改善点を解決すべく、技術コーディネーター及び販路系コーディネーターとの連携をはかり、当該事業での製品・技術開発の加速に取り組む。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	2

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

実施計画事業名		次世代モノづくり啓発事業								平成27年度 目標達成度	A
事業概要		小学校でのモノづくり体験教室の実施や少年少女発明クラブの支援により、次代を担う子どもたちのモノづくりに対する興味や関心を高め、将来の産業を担う人材を育成する。									
指標①	モノづくり体験教室参加児童数				指標②	発明クラブ活動への参加率					
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式						
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	5,000人	5,000人	5,000人	A	目標②	85%	85%	85%	B		
実績①	5,146人	-	-		実績②	80%	-	-			
事業実績 (平成27年度)	<p>【モノづくり教育支援事業】 のべ68校、184クラス、5,873人の応募中、のべ63校、162クラス、5,146人が当事業に参加した。</p> <p>【少年少女発明クラブ】 開催回数29回、のべ674人が参加した。</p>										
改善すべき点	<p>【モノづくり教育支援事業】 参加者の増加を図りたいが、その分企業への負担が増えてしまう。体験メニューを増やすことで、負担を分散させる必要がある。</p> <p>【少年少女発明クラブ】 年度後半になると参加率が低下してしまう。年度を通して高い参加率を維持して参りたい。</p>										
平成28年度に向けた改善策	<p>【モノづくり教育支援事業】 体験教室を広く周知し、参加企業を増やすことで参加者の増加を図って参りたい。</p> <p>【少年少女発明クラブ】 年度途中での退会者が出ないよう、1年間を通じて興味を持ってもらえるようなメニュー作りなどに配慮する。</p>										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	3

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

実施計画事業名		東大阪ブランド推進機構補助事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		東大阪市から誕生した製品の魅力を都市ブランドとして発信することにより、認定製品の販路開拓につなげるとともに、「モノづくりのまち東大阪」の都市イメージの向上を図る。							
指標①	ブランド認定製品数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	140製品	145製品	150製品	A	目標②				
実績①	143製品	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 東大阪ブランド推進機構の理事を中心に、会員定例会などを実施。 2. 新規に3社13製品を東大阪ブランド製品に認定。 3. テクノメッセ東大阪、新価値創造展などで東大阪ブランドのPRを実施。 4. 大阪芸術大学、近畿大学との産学連携事業を実施。 5. 地域向けのイベントとして「モノづくりひろばHIGASHIOSAKA」を開催。 6. 「大切なだれかのために考えた発明品アイデアプロジェクト」を実施。 (本プロジェクトについては、市長より感謝状をいただいた。) 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 東大阪ブランド推進機構の今後のあり方について、検討しており、会員企業の意味統一及び団体運営のための収入源の確保が課題である。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度中に、東大阪ブランド推進機構の今後のあり方、体制等を定める。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	3

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

実施計画事業名		国内外販路拡大事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		市内製造業の国内外へのさらなる販路拡大を図るため、見本市などへの出展の支援を行う。							
指標①	見本市等出展支援事業助成金の活用件数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	25件	25件	25件	A	目標②				
実績①	47件	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・国内販路拡大事業について、国の補正予算を使い4次公募行い、計42件助成した。また、海外販路拡大事業については、1次公募を行い5件助成した。								
改善すべき点	・国内販路拡大事業の出展先地域が偏っている傾向がある。								
平成28年度に向けた改善策	・平成28年度事業も国庫補助金を使い事業を実施するが、上記の対策のため、日本全国での展示会情報等を周知し国内の販路拡大をはかる。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	3

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

実施計画事業名	東大阪市技術交流プラザ事業									平成27年度 目標達成度	A
事業概要	市内製造業の情報発信・販路開拓を支援するため、企業検索などができるサイト「東大阪市技術交流プラザ」を運営する。										
指標①	サイト全体のページビュー数				指標②	技術交流プラザ登録企業数					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	740,000件	760,000件	780,000件	B	目標②	1,180件	1,220件	1,260件	A		
実績①	651,668件	-	-		実績②	1,197件	-	-			
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・未登録企業に対し積極的に登録の呼びかけを行った結果、132社から新規申し込みがあった。 ・平成25年度は未開催、平成26年度は1回の開催であった「市内企業向けの技術交流プラザ登録セミナー」を3回開催し22社に参加いただいた。 ・1件でも多くの発注案件を呼び込むため、展示会への出展やインターネットを活用した広告を実施。主にgoogleでの検索連動型広告を実施した結果、広告掲載期間中は通常月に比べ、問い合わせ件数が2倍になった。 										
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・132社から新規申し込みがあったが、登録に至った件数は58社であり、登録率が低い。 ・アクセス数が減少傾向にある。 ・直帰率が74%と高く、ホームページにたどり着いても十分に見られていない可能性がある。 										
平成28年度に向けた改善策	技術交流プラザの更新を通じて、以下の3点の改善を目指す。 <ul style="list-style-type: none"> ・掲載情報の量と質の充実 ・ウェブサイトの利用者数増加 ・利用者が求める情報のみつけやすさ、探しやすさの向上 										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	24	3

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

実施計画事業名		モノづくりワンストップ推進事業				平成27年度 目標達成度		B	
事業概要		販路系コーディネーターがモノづくりの現場へ赴き、販路開拓支援を行うとともに、市等の施策情報を提供する。また、技術系コーディネーターが発注案件を市内モノづくり企業へつなぎ、受注拡大を図る。							
指標①	相談対応・企業訪問件数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	5,550件	5,550件	5,550件	B	目標②				
実績①	5,147件	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 各コーディネーターが市内企業を訪問し、市・府・国の施策を紹介、申請サポートをするとともに企業の抱える課題・ニーズの掘り起こしを行い、適切な支援機関へつなぐ等のサービスを実施。また、さまざまな発注案件に対応した企業を紹介した。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 市内企業の強みとなる技術を把握すべく、さまざまな企業情報の入手。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 市内企業の強みとなる技術を把握すべく、さまざまな企業情報の入手するため、これまで相談のなかった企業や小規模企業に対して積極的にアプローチをかける。 コーディネーターの今後の活動の指標となるよう、訪問企業にアンケートをとり、改善をはかる。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	8	5

所属	経済部 商業課
----	---------

実施計画事業名		観光振興事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		観光客の誘致、本市のイメージアップなどを図るため、東大阪観光協会などの関係団体と連携し、本市の新たな観光資源の発掘やPRに取り組む。また、東大阪物産観光まちづくりセンターなどと協力して積極的に市の魅力情報を発信する。							
指標①	観光振興補助金への応募件数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	2件	2件	2件	A	目標②				
実績①	2件	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 市内飲食店を中心とした観光関連団体を実施する「バル」イベント(布施えびすバル、小阪・八戸ノ里なのはなバル)に対し、観光振興補助金交付により支援した。 また、東大阪観光協会への業務委託により、主に以下のことを実施し、本市の観光振興と魅力向上に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> 東大阪観光ガイド(日本語・英語版)等の刊行物の作成・配布 ホームページによる情報発信および、観光協会ウェブサイトへ設置したGoogle analyticsを用いた、閲覧者の観光嗜好等の分析 外国人観光客の観光嗜好調査を目的とした、市内在住外国人を対象とした市内観光名所を巡るバスツアーの開催 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 今後の観光振興においては、既存観光資源の活用に留まらず、様々な側面から「東大阪ならではの観光」を洗い出し、活用を図ることが求められている。 観光振興にかかる推進体制の強化が喫緊の課題である。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 観光振興事業補助金交付により、観光振興事業を引き続き支援していく。 ラグビーワールドカップ2019花園開催に向けて、多様な観光関連団体や庁内の関係部局とも情報共有と連携を図りながら観光振興に努めていく。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	1

所属	経済部 商業課
----	---------

実施計画事業名		空き店舗活用促進事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		商店街が空き店舗などを活用して来客の増加やまちの活力・にぎわい回復事業を行う際、補助金の交付やアドバイザーの派遣を行う。							
指標①	空き店舗活用促進事業の実施件数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	3件	4件	4件	A	目標②				
実績①	3件	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗活用促進事業として商店街へ補助金を交付するとともに新規店舗についてはアドバイザー派遣も実施した。 ・商店街の魅力を高める店舗：イナリ前商店街振興組合(継続・飲食店) ・商店街の魅力を高める店舗：布施駅北部四番街商店街振興組合(新規・飲食店) ・商店街の魅力を高める店舗：八戸ノ里商店会(新規・物販) 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金を活用する団体が偏重している。また、アドバイザー派遣による店舗運営のアドバイスを店主が実践できているかどうか、フォローアップが必要がある。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的空き店舗の多い商店街に本補助金を活用してもらえるよう、一層の働きかけを行う。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	1

所属	経済部 商業課
----	---------

実施計画事業名		商店街コンシェルジュ事業				平成27年度 目標達成度		D	
事業概要		モデル商店街においてお店の案内、買い物支援等を行うコンシェルジュを配置し、高齢者や障害のある人に優しい商店街づくりを進める。							
指標①	コンシェルジュの案内件数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	3,000件	3,000件	3,000件	D	目標②				
実績①	621件	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の高齢社会に対応した商店街づくりを推進し、地域の生活拠点、身近な買物場所としての商店街の存在を改めて確立、訴求することで商業振興ビジョンの推進とともに商店街活性化及び近隣住民(消費者)の暮らし向きを向上することを目的に、石切参道商店街振興組合をモデル地区とし、主に下記の取り組みを支援した。 来街者の多い土曜・日曜に案内所を開設するとともに、コンシェルジュを配置。 来街者(観光客含む)に対し、商店街や店舗の案内及び地域情報の提供。 来街者(観光客含む)のニーズに応じ、手荷物の一時預かりサービスを実施。 荷物の運搬サービスを実施。 来街者(観光客含む)及び案内業務利用者に対しアンケート調査を実施。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・来街者に対する案内業務以外に、買い物を終えた帰宅者への支援や御用聞きの施行実施、情報発信など、一層のサービス機能強化が求められる。 ・案内件数については実施団体の立地や事業期間などの条件によって異なるため、案内件数による評価だけでなく事業実施による効果についても捕捉、確認していく必要がある。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル地区商店街と協議しながら来街者への案内業務に留まらない総合的な支援のしくみを検討する。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	1

所属	経済部 商業課
----	---------

実施計画事業名		地域密着型支援事業				平成27年度 目標達成度		B	
事業概要		商店街や小売市場等の小売商業団体が実施する魅力あふれる商店街づくりや、大学・地域などと連携して行う事業など、地域密着型の取り組みに対し補助金を交付することで、商業の活性化を図る。							
指標①	にぎわいづくり事業実施団体数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	25団体	25団体	25団体	B	目標②				
実績①	20団体	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 市内商店街、小売市場などの団体が盆踊りや夜市などのイベントを行う場合、にぎわいづくり事業補助金を交付する。 東大阪市金岡商店会など20団体へ交付 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 実施団体の数を増やすとともに、事業実施にあたってはより効果的な手法等について検討してもらえよう周知したい。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 商店街事業の魅力を発信し、来客を呼び込むツールとして広く周知し、商店街への一層の支援を図りたい。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	1

所属	経済部 商業課
----	---------

実施計画事業名					高齢者に優しい商店街づくり事業					平成27年度 目標達成度	C
事業概要					商店街とまちづくり団体が協働で実施するまちづくり活動（高齢者または障害者支援にかかわる活動）を公募により実施し、高齢者や障害のある人に優しい商店街づくりを進める。						
指標①	企画提案型事業への申請団体数				指標②	/					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
					H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28
目標①	3団体	3団体	3団体	C	目標②	/					
実績①	2団体	-	-		実績②						
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・近大前商店会と花園商店会をモデル地区指定し、高齢者が集える居場所づくりや高齢者が商店街に来街するきっかけづくりを創出するとともに、高齢者が安心して商店街で買物や飲食ができる環境整備も図った。 ・近大前商店会 商店街のコミュニティ施設「いどばた広場」を拠点にした高齢者向け娯楽事業や介護予防体操の企画・実施 近畿大学学生と高齢者との交流会 など ・花園商店会 高齢者に優しいお店づくり講習会 ボランティアポイント還元事業 など 										
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街での合意形成が必要な事業であり、申請するまでに至りにくい。 										
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業が市内商店街へ周知されるよう努める。 ・平成27年度に引き続き、申請団体数目標値達成のために、さらに事業PRを図っていく。 										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	1

所属	経済部 商業課
----	---------

実施計画事業名		商業振興コーディネート事業				平成27年度 目標達成度		C	
事業概要		特色ある商業集積地づくりのため、商業振興に意欲的な商業集積地を選定し、商業振興に関する事業提案を支援するとともに、取り組み成果を普及させる。							
指標①	コーディネート希望する商店街からの応募件数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	2団体	2団体	2団体	C	目標②				
実績①	1団体	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<p>・モデル地区として岩田本通商店街を採択し、商業振興ビジョンの基本方針・基本方向の実現に向けた具体的な取組を推進し、その成果を普及することを目的にコーディネート業務を委託した。地域ニーズの掘り起こしや課題をふまえた勉強会等を行い、新たな活動仲間やサポートメンバーを得ることができた。</p>								
改善すべき点	<p>・ネットワークづくりにかかわる課題も多く、新たなメンバーもふくめて事業展開が行えるよう次年度に向けたサポートが必要である。</p>								
平成28年度に向けた改善策	<p>・これまでの成功事例や成果情報を共有するなどにより若手事業者や意欲のある商店主グループが連携し、具体的な事業実施につなげることができるようサポートを行い、地域商店街の活性化につなげたい。</p>								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	2

所属	経済部 商業課
----	---------

実施計画事業名		個店経営者育成セミナー事業				平成27年度 目標達成度		B	
事業概要		事業者や創業予定者を対象に「東大阪あきんど塾」を開講する。商店経営のあり方や個店の魅力向上をテーマにしたセミナーを実施するとともに、専門家(アドバイザー)を店舗に派遣し、売上向上の為のアドバイスを行う。							
指標①	あきんど塾受講者満足度				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	90%	90%	90%	B	目標②	/			
実績①	73%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・平成26年度に引き続き中小企業診断士を講師に招いて全10回の講義を実施した。商店経営の概略やマーケティング、マーチャンダイジング、経営分析等の研修実施により、経営者のスキルアップを図った。カリキュラム内容と参加人数は次の通り①商店経営概論(10名)②環境把握と分析(10名)③ストアコンセプトの確立(11名)④戦略策定事例演習(8名)⑤マーチャンダイジング・品揃え(7名)⑥マーチャンダイジング・価格・店舗運営編(6名)⑦来店促進策(6名)⑧購買促進策(7名)⑨経理と決算書(6名)⑩経営分析(8名)合計10回の講義に加え、臨店指導(アドバイザー派遣)を実施し座学と現場の両面から個店支援を図った。								
改善すべき点	・受講生が定員に満たなかったことから、より効果的な広報手段を検討し、受講生の確保に努める。これまで論理中心の講義内容であったので、店舗経営の実践に活用できる内容も盛り込む。								
平成28年度に向けた改善策	・平成27年度受講生アンケートを踏まえ、受けて良かった講義として挙がっているカリキュラムに盛り込むとともに、店舗経営で役立つ実践編のテーマも加える。経営改善や創業に意欲的な受講生確保の為、より効果的な広報手段を検討し、事業の委託に努める。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	2

所属	経済部 商業課
----	---------

実施計画事業名		元気グループ推進支援事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		商店街組織を構成する商業者が、他地域の商業者やモノづくり企業、農業者などと連携して、地域商業を活性化させる取り組みに対し、コーディネーター派遣により地域商業の経済的機能強化を図る。							
指標①	コーディネートを希望する意欲的な商業者グループからの応募件数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	1件	1件	1件	A	目標②	/	/	/	/
実績①	1件	-	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成27年度)	<p>・商業振興ビジョンの基本方針・基本方向の実現に向けた具体的な取組を推進しその成果を普及することを目的に、布施駅北部三番街・四番街商店街の若手を中心とした商業者グループの抱える課題に対し、コーディネーターの派遣を行うことを審査、決定した。座学研修やワークショップをかさねることで地域において必要と考えられる一定のテーマが浮かび上がってきた。</p>								
改善すべき点	<p>・特になし</p>								
平成28年度に向けた改善策	<p>・平成27年度に行った先進事例研究やコンセンサス形成をふまえ、テーマに沿った具体的な事業展開ができるよう一層のコーディネートおよびアドバイスを実施していく。</p>								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	4

所属	経済部 商業課
----	---------

実施計画事業名					共同施設設置助成事業					平成27年度 目標達成度	A
事業概要					買い物しやすいまちづくり、安全・安心な買い物環境づくり、商店街の魅力づくりのため、商店街などの小売業者で組織する団体が実施するアーケードや街路灯・防犯カメラなどの整備に対し、補助金を交付する。						
指標①	小売商業団体への補助金交付件数				指標②						
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	5件	5件	5件	A	目標②						
実績①	9件	-	-		実績②						
事業実績 (平成27年度)	・市内小売商業団体9団体に対し、防犯カメラの設置や街路灯・アーケード照明のLED化などの事業へ補助金交付を実施した。(永和駅前商店会等)										
改善すべき点	・特になし										
平成28年度に向けた改善策	・平成28年度については、引き続き商店街等の「安心安全づくり」と環境整備推進のため、本事業の周知と有効活用を図りたい。										

平成27年度 事業管理報告書

重点事業

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	25	2

所属	経済部 労働雇用政策室
----	-------------

実施計画事業名		市内企業と学生、女性の就職マッチング事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		市内企業の採用状況や雇用ニーズをきめ細かに把握し、新たな雇用ニーズの掘り起こしを図るとともに、学生や子育て世代の女性の就職ニーズとのマッチング事業を行う。							
指標①	就職をサポートした学生や女性の人数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標① (ニーズ調査)	100人	100人		A	目標②				
実績①	102社	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<p>・平成27年度は、製造業を中心に102社の企業訪問と郵送アンケートによる雇用ニーズ調査を行った。調査結果より、製造業においては、人材不足感があり、毎年定期的に採用が行われていた。また、正社員の率が比較的高く、定着するように企業側も努力しているため、定着率も高い傾向にあることがわかった。</p> <p>採用に関しては、近年の売り手市場を反映して、どこの事業所も採用に苦慮しており、学歴や資格より、人物を重視する傾向が多く見受けられた。</p>								
改善すべき点	<p>・特になし</p>								
平成28年度に向けた改善策	<p>・雇用ニーズ調査の結果を受け、平成28年度より、モノづくり企業を中心とした市内企業と、大学生を始めとする若者を結び付ける「若者就活応援事業」に取り組む。(女性の就業支援については、平成29年度に開設予定の就労支援ワンストップ窓口において取り組む予定である。)</p>								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	25	2

所属	経済部 労働雇用政策室
----	-------------

実施計画事業名		ワークサポート事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		勤労者の処遇や労働条件について、相談業務を行うとともに、働く意欲がありながら就労できない障害者やひとり親家庭の母親、中高年齢者などの就職困難者を対象として雇用・就労の支援を行う。							
指標①	労働相談件数				指標②	就労支援相談件数			
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	240件	250件	250件	B	目標②	240件	250件	250件	A
実績①	235件	-	-		実績②	240件	-	-	
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 労働相談件数(市役所12階での専門員による労働相談)235件 就労支援相談件数(市内3か所の就労支援センターでの就労相談)240件 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 特になし 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 労働相談事業については、昨年より相談件数が80件増加したものの目標件数には届かなかったため、労政ニュース等の広報を通じてより一層の周知に努めていく。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	25	3

所属	経済部 労働雇用政策室
----	-------------

実施計画事業名					若年者等就業支援事業					平成27年度 目標達成度	D
事業概要					情報誌の発刊や研修、就職面接会の開催等により、若年者等の早期就職、常用雇用の実現、雇用機会の創出を支援する。						
指標①		就労支援によって就職した人数			指標②		/				
指標の説明・計算式		/			指標の説明・計算式		/				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	80人	80人	80人	D	目標②	/	/	/	/		
実績①	39人	-	-		実績②	/	/	/	/		
事業実績 (平成27年度)		<ul style="list-style-type: none"> ・「モノづくり人材育成塾」を開講(10/16～11/13) 受講者数 20人 就職者数 12人 ・「就職必勝セミナー」と「求人企業・事業所合同説明会」を同時開催(11/27) 参加者数 62人 就職者数 10人 ・「東大阪スタイル」を発行(9/1市政だよりで全戸配布) 210,000部 掲載企業数 15社 就職者数 10人 ・「モノづくり企業合同就職説明会」を開催(2/5) 参加者数 188名 就職者数 7名 									
改善すべき点		・就職した人数については、前年度の26人より13人増加したものの目標人数には届かなかった。									
平成28年度に向けた改善策		<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動を強化し、モノづくり企業の魅力をアピールすることで、モノづくり企業へ就職したい求職者を集められるよう、事業内容を精査しながら実効性のあるものに改善する。 ・昨年8月に大阪労働局及び東大阪商工会議所と締結した「モノづくりのまち東大阪雇用対策協定」に基づき、三者がより緊密に連携し、東大阪市の特色を有している「モノづくりのまち」と「若者が集うまち」を活かしながら、「モノづくり企業」の活性化を図り、雇用対策に取り組む。 									

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	25	4

所属	経済部 労働雇用政策室
----	-------------

実施計画事業名		就労困難者就労支援事業								平成27年度 目標達成度	B
事業概要		事業主に対する障害者雇用奨励金の支給や障害者就業啓発、若者の自立のために訪問相談や仕事体験などの取り組みにより、障害者、ニート、ひきこもり、就業意欲の低い若者等の雇用・就労に向けた支援を行う。									
指標①	障害者雇用奨励金支給件数				指標②	ニート・ひきこもりなど若者の進路決定件数					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	12件	12件	12件	A	目標②	200件	200件	200件	C		
実績①	17件	-	-		実績②	128件	-	-			
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者雇用奨励金を7事業所、のべ17件、1,650,000円を支給。 ・平成24年度に支給した対象労働者の定着率を平成27年8月に調査した。(91.7%) ・平成27年9月、平成28年3月に労政ニュースにより、平成27年4月モノづくり企業支援施策説明会により制度のPRを行った。 ・障害者就業啓発事業「はたらく・くらすフォーラム」を開催。(参加企業4社、来場者73人、採用者4人) ・若者の自立支援として、相談件数2262件、仕事体験・各種セミナー参加者438人、事業等級においては、最高ランクのS等級に認定された。 										
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者就業啓発事業については結果的に前年度の来場者が96人より20人減少した。 										
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者雇用奨励金については、労政ニュースやモノづくり企業支援施策説明会等を活用したり、大阪労働局助成金センターにちらしの配置依頼をすることで、引き続き周知に努めていく。 ・障害者就業啓発事業については、開催時期と周知時期の見直しを行う。 										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	25	4

所属	経済部 労働雇用政策室
----	-------------

実施計画事業名		若年者等トライアル雇用事業				平成27年度 目標達成度		D	
事業概要		若年者等を雇用し、国のトライアル雇用奨励金の支給を受けた事業主に対して、トライアル雇用支援金を支給することにより、雇用のミスマッチの解消及び企業の人材確保を図る。							
指標①	支援金支給件数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	50件	50件	50件	D	目標②				
実績①	4件	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・若年者等トライアル雇用支援金を3事業所、のべ4件、240,000円を支給。 ・平成24年度に支給した対象労働者の定着率を平成27年8月に調査した。(60.0%) ・平成27年9月、平成28年3月に労政ニュースにより、平成27年4月モノづくり企業支援施策説明会により制度のPRを行った。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年9月、平成28年3月に労政ニュースにより、平成27年4月モノづくり企業支援施策説明会により制度のPRを行ったが、結果的に前年度の10件より6件減少し、目標人数には届かなかった。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワークのトライアル雇用奨励金(月額最大4万円、最長3ヶ月間)に上乗せして、月額2万円を支給している。 ・一定期間試用することで、本人の適性や職務遂行能力を見極めることができることから、企業側にとってもメリットがある制度である。 ・今後も、労政ニュースやモノづくり企業支援施策説明会等を活用したり、大阪労働局助成金センターにチラシの配置依頼をすることで、引き続き周知に努めていく。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	23	1

所属	経済部 農政課
----	---------

実施計画事業名		農業啓発推進事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		安全・安心な農産物を消費者に提供するために、大阪エコ農産物の生産を促進するとともに、市民・消費者の地元農業と農産物に対する関心を高めることで、地産地消の推進や農業の担い手の育成を支援する。							
指標①	取組事業参加人数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	1,000人	1,000人	1,000人	A	目標②	/			
実績①	1,122人	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・ファームマイレージ運動の推進により、地場農産物に対する市民・消費者の購買行動に繋げ、大阪エコ農産物生産者数の増加をもたらしている。								
改善すべき点	・ファームマイレージ運動の推進により、実績が上がっていますので、今後も実績が上がるように継続していきます。								
平成28年度に向けた改善策	・より一層、市民・消費者の地元農業と農産物に対する関心と理解を広め・高めることで、農地を守り農業を支えることに繋げていきたい。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	23	3

所属	経済部 農政課
----	---------

実施計画事業名		都市農業活性化農地活用事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		農業団体や農家が行う農業者の振興・育成・活性化を図る事業、また、大阪エコ農産物の栽培を促進する取り組みに対して支援を行う。							
指標①	大阪エコ農産物栽培面積				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	1,300a	1,350a	1,400a	A	目標②				
実績①	1,924a	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 申請件数98件 補助金交付額29,265,000円 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> H27年度は目標を上回ったが、農家、耕作面積の減少が続いておりますので、H28、29年に向けても実績が維持できるようにしていきたい。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 農業の振興及び農地保全に繋がる様、補助金交付実施基準を見直し、改正する。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	23	4

所属	経済部 農政課
----	---------

実施計画事業名		ファーム花いっぱい咲かそう事業				平成27年度 目標達成度		B	
事業概要		休耕や耕作放棄となっている農地での花の栽培を促すとともに、エコ米生産者への堆肥活用による環境保全型栽培の取り組みを支援することにより、市内の農空間の環境と景観形成を進める。							
指標①	花の栽培面積				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	50,000㎡	50,000㎡	50,000㎡	B	目標②				
実績①	47,334㎡	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 申請件数24件 補助金交付額2,730,000円 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 目標達成に向けてより一層、本事業の農家への周知を継続して進める。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 農家へ向けた広報をより一層、行って本事業の農家への周知を継続して進める。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	9	2

所属	福祉部 福祉企画課
----	-----------

実施計画事業名		公共施設再編整備事業(総合福祉センター再整備)				平成27年度 目標達成度		B	
事業概要		「東大阪市公共施設再編整備計画」に基づき、総合福祉センターに新貸館施設、高井田老人センター及び社会福祉協議会が入居する複合施設を再整備する。							
指標①	基本設計は完了。実施設計の調整を行い、7月に工事積算を提出する予定。平成28年第3回定例会補正予算提出予定。				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	設計	工事	工事	B	目標②	/			
実績①	継続中	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・平成27年9月より、各関係者会議を行い、基本設計～実施設計策定(～H28)。問題点の洗い出しを行った。 市立総合福祉センター改修その他工事に係る設計業務委託料(900万前払いH27.9.24)								
改善すべき点	・スケジュールの再確認及び、関係者間での課題の把握。								
平成28年度に向けた改善策	・課題の洗い出しを行い最終解決をする。例えば室外機の設置場所による騒音問題、建物管理の所管、館の名称、近隣への説明など、実行していく処理の最終確認及び確定を明確に行い、オープンに備える。(越境については外環鉄道調整だが、進行管理は必要)平成29年4月本契約・着手。現場視察、部局間の会議を行い情報共有をおこなう。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	16	1

所属	福祉部 福祉企画課
----	-----------

実施計画事業名		避難行動要支援者助け合い事業				平成27年度 目標達成度		C	
事業概要		災害時に自ら避難することが困難な人について、あらかじめ必要な情報を登録した名簿を作成し、地域の福祉関係者や団体へ配布することにより、災害時の避難支援など、地域で支えあう仕組みづくりを進める。							
指標①	避難行動要支援者名簿(同意者版)新規登録者数(人)				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	1,300人	1,300人	1,300人	C	目標②				
実績①	987人	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者名簿 21,232人(平成28年4月1日現在) <ul style="list-style-type: none"> 障害者登録件数 3,934件 高齢者登録件数 17,764件 その他 2,831件 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き制度の周知を実施していくとともに、災害対策基本法の改正にともない、名簿登載への未同意者に対して同意の取得を行っていく必要がある。 また、平常時及び災害時の情報共有や名簿を活用した支援方法などについて、危機管理室、社会福祉協議会の災害ボランティアセンター等と連携して継続して検討していく必要がある。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者情報の共有及び活用について、危機管理室等の関係部署・機関と連携してあらためて整理する。 災害対策基本法の改正にともない、対象者に対し同意の取得を行う必要があることから、同意者版名簿への登載未同意者に対し、順次同意の取得を行っていく。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	16	2

所属	福祉部 福祉企画課
----	-----------

実施計画事業名		コミュニティソーシャルワーカー配置事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		支援の必要な高齢者、障害者、子育て中の親などやその家族からの相談に応じ、地域と関係機関、専門的な相談先との間に立って「つなぎ」の役割を果たす「コミュニティソーシャルワーカー」を地域に配置する。							
指標①	個別相談延べ件数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	32,000件	32,000件	32,000件	A	目標②				
実績①	55,289件	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 東大阪市内に2中学校区に1名の割合で、13名のコミュニティソーシャルワーカーを配置。 コミュニティソーシャルワーカー活動内容 相談件数(相談内容種別延べ件数) 55,289件、相談者数 1,263名、アウトリーチ 1,460件 リージョンセンター出張相談 毎月1回、連絡会、研究会を毎月1回実施 社会福祉協議会の地域担当職員と連携して東・中・西地域で地域福祉ネットワーク推進会議を開催 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 積極的なアウトリーチによる支援、ネットワークづくりをおこなう。また、社協地域担当職員との連携により、定期的にネットワーク推進会議を実施することにより、分野を超えた関係づくりを強化し、複合的な課題をもつ要援護者の支援につなげる。 生活困窮者自立支援法の施行や地域包括ケアシステムの構築に伴い、それぞれの実施主体との連携を深め、さらにきめの細かい対応をしていく必要がある。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 増加する複合多問題ケースへの対応として、社会福祉協議会地域担当職員との連携や、ネットワーク推進会議といった支援者間同士のネットワークづくりを強化し要援護者が抱える問題に迅速に対応していく必要や、子育て世帯への支援として学校関係者と連携して対応していく必要がある。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	16	3

所属	福祉部 福祉企画課
----	-----------

実施計画事業名		小地域ネットワーク活動推進事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		見守りや支援が必要な人に対して、地域住民と関係機関が協働で支え合う取り組みとして、声かけ・見守り活動などの個別援助活動や、ふれあい食事会、いきいきサロンなどのグループ援助活動を実施する。							
指標①	グループ援助活動延べ参加者数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	93,000人	93,000人	93,000人	A	目標②				
実績①	104,213人	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ援助活動回数: 2,983回 (実施校区数) いきいきサロン 42校区 ふれあい会食会 39校区 ミニデイサービス 0校区 地域リハビリ 0校区 世代間交流 29校区 子育て支援 11校区 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・既ね各リージョン単位で配置している社会福祉協議会の地域担当職員が積極的に各校区の活動に参加し、協力することにより信頼関係を構築し、地域福祉ネットワークの基盤を構築しているが、地域によっては活動に参加する人に偏りがある場合や、活動の継続性等が課題となっている。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域担当職員間での情報共有や、各地域で行われる取り組みに積極的に参加し他地域での取り組み紹介等を行う事で、地域での取り組みが活性化するような提案や仕掛けづくりを行う必要がある。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	20	1

所属	福祉部 生活福祉室
----	-----------

実施計画事業名		生活困窮者支援事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		生活保護に至る前の段階からの早期の支援を行う相談窓口を新たに設置する。 就労支援、緊急的な支援、家計再建支援などの事業を一体的に行うことで、生活困窮者の自立を促し、生活保護に至らないように支援する。							
指標①	自立相談支援事業の相談者数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	240件	280件	320件	A	目標②				
実績①	910件	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<p>・本制度は平成27年度から施行され、相談体制を直営とし本庁8階に窓口設置したことで、今まで、市の徴収部門や相談部門、社会福祉協議会、ハローワーク、地域包括支援センター等が個別の事案ごとに対応していたものを、コーディネートし包括的に相談対応することが可能となった。また、要保護世帯に対しても、福祉事務所保護課と協議し、繋ぐことで支援の継続性を担保できている。就労支援、弁護士による債務整理相談、家計相談、各種手続き支援によりスピード感をもって課題解決に取り組むことができた。</p>								
改善すべき点	<p>・当初想定していた件数と比較すると、大幅に上回ったものの、国が示す人口10万人あたり20件という目安との比較では75%程度にとどまっている。本事業を利用することで生活再建ができるような出口施策の充実と関係部局と連携し相談者を掘り起しする作業の両立できるような執行体制の構築が課題である。</p>								
平成28年度に向けた改善策	<p>・平成28年度は、出口施策の充実を図るべく弁護士相談事業と家計相談事業を拡大し、新たに就労準備支援事業を行うこととした。これにより早期に課題解決が可能となるような仕組みづくりに精力的に取り組む。</p>								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	20	2

所属	福祉部 生活福祉室
----	-----------

実施計画事業名		生活保護の適正実施				平成27年度 目標達成度		B	
事業概要		生活保護における不正受給・不正請求、医療扶助・介護扶助の適正化と、自立支援、就労支援の取り組みを更に推進する。特に就労支援について、生活保護法に明文化されたことを受け、今まで以上に支援を強化する。							
指標①	母子世帯・その他世帯の稼働率				指標②				
指標の説明・計算式	母子世帯・その他世帯に属する稼働年齢層で就労している受給者数/母子世帯・その他世帯に属する稼働年齢層の受給者数×100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	40%	40%	40%	B	目標②				
実績①	38%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 医療扶助適正化については、各福祉事務所に配置している医療扶助・介護扶助適正化推進員(嘱託職員)による医療扶助・介護扶助の点検も引き続き実施。また、医療機関等への個別指導などにより返還金を徴収した。また、後発医薬品の使用促進のため、各種取り組みを実施し、医療扶助費を削減した。 就労支援においては、平成28年4月から生活保護受給者等を対象としたハローワーク窓口を東福祉事務所に開設するため、ハローワーク布施および大阪労働局と協議をすすめ、協定書等を締結した。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 医療扶助については、他法の活用や重複・頻回受診、向精神薬の重複など、指導を強化する必要がある。 就労支援については、ケースワーカーは稼働能力の把握に努める必要があるものの、就労支援に関する知識・ノウハウが不足しており、多様な支援メニューを使いこなせていない。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> レセプトの分析データを基にした指導の強化と重複・頻回受診、向精神薬の重複については、より効果が上がるような運用を構築する必要がある。 就労支援については、生活困窮者自立支援制度における就労支援と一体的に実施することで効率的・効果的な事業展開を構築する必要がある。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	19	1

所属	福祉部 障害者支援室
----	------------

実施計画事業名		障害者理解啓発事業				平成27年度 目標達成度		C	
事業概要		障害のあるなしに関らず、すべての人が互いに尊重しあい 支え合うために、障害のある人に対する正しい理解を深め るための啓発を実施する。							
指標①	ふれあいのつどいの参加人数				指標②	/			
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	6,500人	6,500人	6,500人	C	目標②	/			
実績①	4,500人	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・平成27年11月14日に東大阪アリーナ・八戸ノ里公園において市内の障害者団体等を中心に構成する実行委員会方式で「ふれあいのつどい」を開催し、障害に対する理解啓発に取り組んだ。12月の障害者週間に駅頭で啓発グッズの配布等のキャンペーンを行った。								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・今度も啓発活動に取り組み、障害者理解啓発を行う。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	19	1

所属	福祉部 障害者支援室
----	------------

実施計画事業名		障害者虐待の防止				平成27年度 目標達成度		B	
事業概要		障害者虐待の未然防止と早期発見のため、各種啓発や、関係機関との連携を強化し、速やかな支援を行う。							
指標①	改善が見られたケースの割合				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	60%	65%	70%	B	目標②	/			
実績①	54%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・平成27年度に虐待通報のあった105件中、虐待認定したのは31件、そのうち年度中に改善が見られたのは17件であった。								
改善すべき点	・関係機関内の連携・情報共有を図り、それぞれの立場で虐待防止・早期発見に努めるために、障害者虐待防止ネットワーク会議を開催していく。								
平成28年度に向けた改善策	・虐待対応チームでフローチャートに沿った虐待対応をしていく。 ・虐待の予防・早期発見のため、市民及び関係機関へ啓発していく。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	19	2

所属	福祉部 障害者支援室
----	------------

実施計画事業名		在宅心身障害者(児)短期入所事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		障害者(児)短期入所事業を実施している施設の運営経費に対して補助金を交付し、施設の体制を確保することによって、利用者が利用しやすいサービス基盤を整備する。							
指標①	短期入所事業の年間利用者数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	16,500人	17,000人	17,500人	A	目標②				
実績①	18,582人	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・障害児・者の短期入所事業所の利用実績に応じて補助金を運営法人に交付。下期未確定につき、上期×2を実績とする。								
改善すべき点	・短期入所事業所での緊急時利用の困難な状況がある。								
平成28年度に向けた改善策	・緊急受け入れ困難なかたの受け入れ体制を整備する。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	19	2

所属	福祉部 障害者支援室
----	------------

実施計画事業名		障害者グループホーム運営安定化事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		障害者の日常生活の支援を行うグループホーム事業所の運営経費に対して補助金を交付し、障害者の地域移行を促進する。							
指標①	障害者グループホーム入居者数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	454人	473人	493人	A	目標②				
実績①	620人	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・共同生活援助(グループホーム)の利用実績に応じて補助金を運営法人に交付。下期未確定につき、上期×2を実績とする。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに応えるサービス供給を図るための整備が必要である。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームの基盤整備を進める。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	19	3

所属	福祉部 障害者支援室 子どもすこやか部子ども家庭課
----	------------------------------

実施計画事業名	新障害児者支援拠点施設整備事業				平成27年度 目標達成度	B			
事業概要	老朽化・狭あい化が進む療育センターと高井田障害者センターを一体化し、各々の機能を再編・強化することで、障害児者のライフステージに応じた専門的な支援サービスを提供する機能を備える新たな拠点施設を整備する。								
指標①	新障害児者支援拠点施設整備の進捗状況				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	施工	完成	—	B	目標②				
実績①	実施中	—	—		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・平成27年6月より建設工事に着手した。工事着手に時間を要したため、平成27年9月に設計変更を行い、工期延期(それに伴う工事請負費も増額)の変更契約を締結した。								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・平成29年2月末竣工、平成29年4月に施設オープンができるよう関係機関と連携を図りながら進めていく。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	18	1

所属	福祉部 高齢介護室 高齢介護課
----	-----------------

実施計画事業名		地域支え合い体制づくり事業				平成27年度 目標達成度		B	
事業概要		高齢者が住み慣れた地域や自宅での生活をできるだけ長く続けられるよう、公的サービスの枠を超えて、地域の住民や企業が協働して取り組む「互助」の仕組みづくりを推進する。							
指標①	ワンコインサポート事業における地域安心生活サポーター(援助会員)登録者数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	500人	550人	600人	B	目標②				
実績①	485人	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・H27実績 援助会員数485人 利用会員数1,024人 利用件数1,239回 利用回数3,092回 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・援助会員について、平成27年度は56人増加(前年対比約1.7倍)したが、更なる会員増が必要である。 ・地域によって、援助会員と利用会員の偏りがある。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブや街かどデイハウスなど元気な高齢者に同事業の担い手になってもらえるよう、アプローチを検討する。 ・地域での偏りについては、援助会員が少ない地域で重点的に講座を行うなど、工夫していきたい。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	18	3

所属	福祉部 高齢介護室 高齢介護課
----	-----------------

実施計画事業名		福祉農園設置事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		高齢者や障害者(児)の相互親睦と健康増進のため、福祉農園を設置し、貸付を行う。							
指標①	福祉農園設置区画数				指標②	/			
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	1,005区画	1,065区画	1,125区画	A	目標②	/	/	/	/
実績①	1,069区画	-	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・新規開設農園として、三島福祉農園32区画、友井福祉農園28区画、稲田本町福祉農園4区画、近江堂福祉農園17区画、藤戸新田34区画、西堤第四福祉農園29区画の合計144区画を新設。廃園は、鴻池福祉農園51区画。平成28年3月31日現在で1,069区画。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・区画数としては、目標を上回ることができたが、全市的に見て、適切に分布して設置できたか、必要とされている地域に設置できたか等の検討が必要。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・市が設置工事費等を負担する方法以外の方法を主とした事業を展開していければと考える。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	18	1

所属	福祉部 高齢介護室 地域包括ケア推進課
----	---------------------

実施計画事業名		地域包括支援センターの機能強化				平成27年度 目標達成度		B	
事業概要		地域包括ケアシステムの構築と、新たな介護予防・日常生活支援総合事業の創設に向けて、中核機関としての地域包括支援センターの機能をより一層強化していく。							
指標①	地域包括支援センターにおける相談件数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	36,700件	37,000件	37,300件	B	目標②				
実績①	35,980件	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター(市内19カ所)における相談件数 約35,980件(見込み) ・地域包括支援センター運営協議会 5回開催(学識経験者を含む委員が事業の実施状況の点検や運営改善に必要な点の提示などを行う) ・地域ケア会議(東大阪市包括的支援事業実施要綱第7条に基づき実施) ①個別支援策検討会議 728回開催(支援困難ケースについて、関係者が集まり支援策を検討するもの。担当の地域包括支援センターが開催、運営する。) ②地域別会議 7地域 計21回開催(地域ごとに活動している支援関係者の連携強化と支援の質の向上を図るもの。事務局はエリア内の地域包括支援センター。) ③企画運営会議 12回開催(地域ケア会議全体の運営を話し合うもの。事務局は基幹型地域包括支援センター。) ④機関等代表者会議 1回開催(機関等の代表者が地域ケア会議の活動状況を把握し、機関間の調整を図る。事務局は基幹型地域包括支援センター。) ・地域包括支援センターを新たに3センター選定(H28年4月1日より市内19カ所から22カ所へ) ・地域包括支援センターの担当区域変更(概ね中学校区を担当区域とする。) 								
改善すべき点	<p>・個別支援策検討会議が昨年度より増加していることから、支援困難ケースの支援のため今後も関係者の連携強化が必要となってくる。総合的・効果的に高齢者の生活を支えられるようなコーディネート役割の強化という地域包括支援センターの機能強化と地域ケア体制づくりの推進が引き続き求められる。また、単位地域ケア会議についてもまだ取り組めていないセンターもあるためさらに強化を図り、29年度の総合事業実施に向けて調整等行う必要がある。</p>								
平成28年度に向けた改善策	<p>・今後も、より多くの支援の必要な高齢者に信頼される相談窓口となるよう、迅速・確実な相談支援に繋げ、より一層の機能の充実に努める。また、地域の関係機関・団体とのネットワークを強め、地域ケア体制づくりの推進を引き続き行う。</p>								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	18	4

所属	福祉部 高齢介護室 地域包括ケア推進課
----	---------------------

実施計画事業名		高齢者虐待防止事業								平成27年度 目標達成度	A
事業概要		高齢者虐待について市民・関係機関への啓発、相談窓口の周知に努め、高齢者虐待の早期発見とすみやかな支援を行う。また、認知症高齢者が虐待を受けやすいことから、認知症についても理解を広める取り組みを進める。									
指標①	認知症サポーター数				指標②						
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	15,000人	18,000人	20,000人	A	目標②						
実績①	24,843人	-	-		実績②						
事業実績 (平成27年度)	<p>・虐待疑い事案については、速やかに個別支援策検討会議を実施することが定着し、会議実績回数は増加した。その中で今後の課題・計画・方針を関係機関で共有することによって、目標達成度が明確になり、支援最終の整理が可能となった。虐待防止業務ガイドラインの活用により、関係機関で対応の方法や流れを共有できた。</p> <p>緊急一時保護の居室を増加し対象者の安全確保を円滑に実施できた。</p> <p>認知症徘徊者対策としての徘徊模擬訓練を2か所で実施。</p> <p>認知症サポーター養成講座のフォローアップ研修を実施。</p> <p>SOSオレンジネットワーク登録者に早期身元確認のツールとなる見守りトライくんシールを配布。</p>										
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待事案に適切に対応できる体制の整備。 ・さらなる関係機関との連携。 ・認知症サポーター養成講座のフォローアップ研修の充実。 										
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待疑い事案については、速やかに情報を集約し、アセスメントを実施し高齢者虐待ネットワークにて関係機関と役割分担をし問題の解決にあたる。また、正確な現状把握に努め進行管理をする。 ・一時保護対象者を精査し入所後の処遇検討が円滑に実施できるよう調整する。 ・認知症徘徊者対策としての徘徊模擬訓練のさらなる実施を目指す。 ・認知症サポーター養成講座のフォローアップ研修を実施し、サポーターの活動支援を行う。 ・SOSオレンジネットワークシステムの搜索実績の評価と見直し。 										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	18	2

所属	福祉部 高齢介護室 地域包括ケア推進課
----	---------------------

実施計画事業名		介護予防・日常生活支援総合事業				平成27年度 目標達成度		B	
事業概要		平成27年4月の介護保険制度改正による新たな「介護予防・日常生活支援総合事業」がスタートすることを踏まえ、これまでよりも多様な、きめ細かい介護予防サービスを提供し、高齢者の健康増進と充実した在宅生活を支えていく。							
指標①	地域介護予防活動支援・介護予防普及啓発事業参加者数				指標②	/			
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	32,500人	35,000人	37,500人	B	目標②	/			
実績①	31,448人	-	-		実績②	/			
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年4月の「介護予防・日常生活支援総合事業」開始に向け、要支援者にかかるニーズ調査や、様々な主体にたいしてアンケート調査、意見交換を実施。 一般介護予防事業としては、介護予防事業口腔機能向上プログラムとして延べ360人、介護予防活動ボランティアリーダー養成講座として延べ664人、元気にトライ！ステップアップ教室として延べ196人が参加。 地域包括支援センター・保健センター・老人センター・老人クラブにおいても介護予防教室やボランティア養成講座(延べ30,228人)を開催。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 実施中の事業については、要支援者自身の能力を最大限活かしつつ、住民等が参画するような多様なサービスを総合的に提供可能な仕組みにしていくよう見直しいく必要がある。また、より多くの高齢者に向けて一般介護予防事業への参加を推奨し、生活機能改善に向けた支援についても考慮していく必要がある。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 現行の介護予防教室を継続しながら、さらなる事業への推奨を行う。 また、元気高齢者が参加できる体操や集いの場の創設の為、地域包括支援センターや地域活動組織と共に地域での自主グループの立上げを進める。支援される側であった高齢者が、今後は支え手に回ってもらう事も念頭に置きながら介護予防への取り組みを進める。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	18	5

所属	福祉部 高齢介護室 給付管理課
----	-----------------

実施計画事業名		介護給付適正化事業				平成27年度 目標達成度		B	
事業概要		「第3期東大阪市介護給付適正化計画重要事業実施計画」に基づき、介護保険のサービスが適切に給付されるよう取り組む。							
指標①	「第3期東大阪市介護給付適正化計画重要事業実施計画」の計画目標達成率				指標②	/			
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	100%	100%	100%	B	目標②	/	/	/	/
実績①	94%	-	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成27年度)	・重要8事業である、要介護認定の適正化、ケアプランの点検、住宅改修の適正化、福祉用具購入・貸与調査、医療情報との突合、縦覧点検、給付費通知、給付実績の活用の事業のうち、要介護認定の適正化が達成率80%、住宅改修の適正化が達成率70%であった。それ以外は計画目標を達成した。								
改善すべき点	・適正化事業については専門的知識を有する職員の配置及び育成が必要であるが、職員体制が取れていない。								
平成28年度に向けた改善策	・介護給付適正化事業の実施には専門的知識を有する職員の配置及び育成が必要であるが、平成28年度の人員体制上は難しいので、計画目標を達成するよう、業務の効率化を図りたい。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	4

所属	子どもすこやか部 子ども家庭課
----	-----------------

実施計画事業名		母子施設機能確保事業				平成27年度 目標達成度		-	
事業概要		廃止が決定している母子生活支援施設「高井田ホーム」の代替機能を確保する。							
指標①	事業の進捗状況				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	-	-	開設	-	目標②				
実績①	-	-	-	-	実績②				
事業実績 (平成27年度)	・廃止が決定している母子生活支援施設「高井田ホーム」の代替機能を確保するため、それに必要な予算を設けた。								
改善すべき点	・母子生活支援施設「高井田ホーム」の代替機能として必要なものを精査する必要がある。								
平成28年度に向けた改善策	・母子生活支援施設「高井田ホーム」の代替機能の確保には時間がかかることが想定されることから、手続きを早急に進める必要がある。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	2

所属	子どもすこやか部 子ども見守り課
----	------------------

実施計画事業名		児童虐待防止事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		児童虐待防止のため、市民に対し講演会などを通じて啓発を行う。また、家庭児童相談室の体制強化により、虐待通告時のすみやかな安全確認と、要支援家庭への早期支援に努める。							
指標①	虐待通告がなされた際の24時間以内に安全確認を行う件数割合				指標②	虐待通告がなされた際の48時間以内に安全確認を行う件数割合			
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	50%	70%	80%	A	目標②	100%	100%	100%	B
実績①	67%	-	-		実績②	86%	-	-	
事業実績 (平成27年度)	<p>・虐待通告が子どもや保護者への支援に繋がることについて、広く周知するために啓発活動を行った。特に11月の児童虐待防止推進月間においてオレンジリボンキャンペーン等集中的な啓発活動を実施した。その中では例年行っている活動(街頭キャンペーン、講演会、関係機関や近鉄主要駅へのポスター掲示、懸垂幕、のぼりの設置、児童虐待通告ダイヤルの周知、その他)に加え、子育て応援メールマガジン登録者に児童虐待防止月間についてのPRを行う等新たな取り組みも行った。</p> <p>・虐待通告時のすみやかな安全確認と、要支援家庭への早期支援に努め、通告があつてからの迅速な対応を確保する観点から「48時間以内」の安全確認を目指し、夜間対応も積極的に行い、86%の実績となった。要支援家庭においては家庭訪問や電話・面談などで虐待に移行しないために細やかな支援を行った。</p>								
改善すべき点	<p>・児童虐待通告ダイヤル、通告義務のより一層の周知</p> <p>・48時間以内の安全確認を100%に近づける(24時間以内の確認を目指す)</p>								
平成28年度に向けた改善策	<p>・より早い段階での安全確認のためには夜間訪問が欠かせない。複数の職員での訪問が必要になってくるため、組織内の援助体制の見直しを行う。</p>								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	2

所属	子どもすこやか部 子ども見守り課
----	------------------

実施計画事業名					親子支援プログラム事業					平成27年度 目標達成度	A
事業概要					就学前(4~5歳)の子どもを対象に、子どもの情緒的、社会的な発達を促すとともに、問題を解決する力を育て、自己肯定感を高めるプログラム(ファンフレンズプログラム)を実施する。						
指標①	プログラム受講児童数				指標②	/					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
					H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28
目標①	350人	400人	400人	A	目標②	/					
実績①	357人	-	-		実績②						
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所10園において、ファンフレンズプログラムを実施(4歳児:164人、5歳児:193人)。 ・プログラムを実施するファシリテーターを12名養成。 ・スキルアップ研修として、保育所10園において、各2回巡回フォローを実施。 										
改善すべき点	・特になし										
平成28年度に向けた改善策	・引き続きプログラムを実施していく。										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	3

所属	子どもすこやか部 子ども子育て室 施設指導課
----	---------------------------

実施計画事業名	民間教育・保育施設整備事業								平成27年度 目標達成度	A
事業概要	子ども子育て支援新制度の開始に伴い、民間の幼保連携型認定こども園と、小規模保育事業の施設を整備し、併せて既存の保育所の増改築を推進することで、教育・保育の必要見込み量を確保し、待機児童を解消する。									
指標①	保育を必要とする児童(0歳児)の受入れ数				指標②	保育を必要とする児童(1・2歳児)の受入れ数				
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度	
目標①	33人	78人	60人	A	目標②	142人	202人	185人	B	
実績①	37人	-	-		実績②	138人	-	-		
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度からスタートした子ども子育て支援新制度の開始に伴い、教育・保育の必要見込み量の確保策として民間幼稚園からの移行による幼保連携型認定こども園および小規模保育事業の施設整備により175名の受け皿拡大を図った。 									
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 受け皿拡大のための施設整備を希望する法人の確保 									
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 民間幼稚園に対し幼保連携型認定こども園への移行を促すとともに小規模保育事業については公募時期を早めることにより応募法人確保に努める。 									

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	1

所属	子どもすこやか部 子ども子育て室 子育て支援課 保育室
----	-----------------------------------

実施計画事業名		地域子育て支援センター事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		子育て支援センターを拠点として、子育て中の親子がいつでも気軽に遊べる自由来館や、親子教室、育児相談、子育て情報の発信等を実施することにより、地域の子育てネットワークを充実し、市内のどこでも子育て支援サービスが受けられる子育てしやすい環境づくりを促進する。							
指標①	子育て支援センターの延べ利用者数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	100,000人	100,000人	100,000人	A	目標②	/			
実績①	103,607人	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所併設型の子育て支援センターでは、いつでも気軽に参加できる自由来館の開設日が週3日(火・木・土)としていたが、自由来館日以外で実施していた育児講座の内容の見直しや、時間の工夫を行い、自由来館を増やした。地域の中で、就園前の子どもたちが集える場が増えているため、利用者のバラつきはあるが、赤ちゃん向けの育児講座の利用者が増えている。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の子どもの年齢が低くなり、ニーズに合うよう、年度ごとに検討していくことが必要。また、心理士による子どもの発達に関する相談に対して月1回半日のみ配置しているが、十分な対応ができていない。より早い時期からの支援や相談に対応するために心理士の配置について、相談回数の増加が必要と考える。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズにあった支援を展開していく。 ・心理士の配置について、担当課へ要望していく。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	1

所属	子どもすこやか部 子ども子育て室 子育て支援課 保育室
----	-----------------------------------

実施計画事業名		児童育成地域活動事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		子育て中の親子が身近な場所で気軽に自由につどえる「つどいの広場」を提供する。							
指標①	つどいの広場延べ利用組数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	38,000組	39,000組	40,000組	A	目標②				
実績①	40,405組	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・平成27年11月にB地域につどいの広場「ピッコロ」を開設し、17か所となった。小さい子どもを連れてベビーカーで行ける身近なつどいの広場では、0、1歳など低年齢の子どもたちの利用が増えている。また、地域ボランティアとの育児講座や地域商店街とのコラボで特別講座を開くなど地域密着型の取り組みが広がってきた。								
改善すべき点	・つどいの広場にも、育児不安や育児困難を抱える人たちも増えており、より保健センターや子育てサポーターとの連携が求められる。								
平成28年度に向けた改善策	・利用者支援事業 基本型(子育てサポーター)の活用を積極的に実施していく。								

平成27年度 事業管理報告書

重点事業

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	1

所属	子どもすこやか部 保育室
----	--------------

実施計画事業名		地域子育て支援センター整備事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		子育て支援センター未整備の地域において、新たな支援センターを整備し、地域の子育てネットワークの中核として子育て支援機能を充実させる。							
指標①	子育て支援センター整備事業の進捗状況				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	-	(F地域)整備	(F地域)開設	A	目標②				
実績①	整備場所の決定	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・F地域(仮称)布施子育て支援センターの整備場所をヴェルノール布施4階に決定。								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・平成29年5月開設予定であり、早い時期に開館日、開館時間、事業内容等、一定の方向性を決定する必要がある。								

平成27年度 事業管理報告書

重点事業

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	3

所属	子どもすこやか部 子ども子育て室 子育て支援課 保育室
----	-----------------------------------

実施計画事業名		地域子育て支援事業の充実								平成27年度 目標達成度	A
事業概要		子ども・子育てに関するニーズ調査に基づき、特に市民ニーズの高いとされる一時預かり事業・病児病後児保育事業・利用者支援事業 基本型（子育てサポーター）を拡充する。									
指標①	子育てサポーター配置数				指標②	一時預かり施設設置数					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	6人	8人	10人	A	目標②	46施設	54施設	61施設	B		
実績①	6人	-	-		実績②	40施設	-	-			
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 【子育てサポーター配置数】平成27年度は各福祉事務所に2名ずつ子育てサポーターを配置し、窓口で相談支援や情報提供を行った。また、各関係機関と連携を図り、地域に出向いて適切な専門機関等へつなぐ寄り添い型の子育て支援を開始した。 【一時預かり施設設置数】既存の公民保育施設に加え、新たに岩田保育所及び石切幼稚園で一時預かりを開始した。また、公民保育施設に、受入状況のアンケートを実施し実態把握を行った。 										
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 【子育てサポーター配置数】配置数は目標数に達しているが、窓口での相談支援や情報提供が中心となったため、今後は地域に出向いて寄り添い型の子育て支援の充実を図る必要がある。 【一時預かり施設設置数】リフレッシュ型のニーズが高く、受入施設の充実が必要である。 										
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 【子育てサポーター配置数】乳幼児健診時や子育て支援センター、つどいの広場等の親子が集う場所に出向き相談支援や情報提供を拡充していく。 親子のニーズに合ったきめ細やかな支援を行うため、サポーターのスキルアップを図る。 保健センターと連携し、来所相談が困難な家庭に対し、個別訪問を行い相談支援や適切な専門機関等へのつなぎを行う。 【一時預かり施設設置数】主にリフレッシュ型の受入先としてつどいの広場での受入を見据え、アンケート調査等を行い状況把握を行う。 （仮称）布施子育て支援センターでの実施に向けて調整を行う。 										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	1	1

所属	子どもすこやか部 保育室
----	--------------

実施計画事業名		大蓮東小学校跡地整備事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		学校規模適正化基本方針で統合となる大蓮東小学校跡地を整備する。							
指標①	整備の進捗状況				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	基本計画	設計	工事	A	目標②	/	/	/	/
実績①	基本計画	-	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成27年度)	・経営企画部資産経営室予算にて(仮称)大蓮東幼保連携型認定こども園基本計画を策定。								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・(仮称)大蓮東幼保連携型認定こども園の基本設計及び実施設計を行い、複合施設として整備していく。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	3

所属	子どもすこやか部 保育室
----	--------------

実施計画事業名		公立教育・保育施設整備事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		公立の教育・保育施設を適切に配置し、公立施設の役割である「地域子育て支援事業」を積極的に実施していく。							
指標①	幼保連携型認定こども園の整備状況				指標②	幼稚園型認定こども園の整備状況			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	基本設計2園	施設整備2園	開設2園、基本設計1園	A	目標②	—	施設整備1園	開設1園	
実績①	基本設計2園	—	—		実績②	—	—	—	
事業実績 (平成27年度)	<p>・「公立の就学前教育・保育施設再編整備計画」の中で、平成29年度に整備予定である幼保連携型認定こども園については縄手南、小阪両幼稚園内で施設の基本設計及び実施設計を行った。</p> <p>・教育・保育内容、行事内容等については、幼稚園側と保育所側の意見交換も含め、継続した議論を続け一定の素案がでたところである。</p>								
改善すべき点	<p>・平成29年度オープンに向け、多数の課題項目をかかえており、その整理を早急に行う必要がある。</p>								
平成28年度に向けた改善策	<p>・平成28年度は、実施設計に基づき特に教育・保育内容に関しては、園ごとに新たなメンバーでプロジェクトチームを作り、園ごとの地域性等を取り入れた、より具体的な教育・保育内容、行事内容を検討し、行政内では職員体制、給与体系の見直し等の検討を引き続き関係部局と協議する予定である。</p>								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	13	1

所属	健康部 地域健康企画課
----	-------------

実施計画事業名		健康危機管理対策事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		医薬品、食中毒、感染症、飲料水などにより市民の生命、健康の安全を脅かす事態(健康危機)に対して、健康被害の発生予防に努め、万が一、健康危機被害が発生した場合には被害の拡大防止、復旧に取り組む。そのため、いつでも迅速・適切に対処できるよう設備などを整備するとともに、訓練などにより職員の資質を向上させる。							
指標①	健康危機に備えた訓練等の実施回数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	2回	2回	2回	A	目標②				
実績①	2回	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・(1回目)健康危機管理研修として、5月18日(月)午後2時30分から5時20分にかけて、保健所大会議室にて実施した。新規配属職員を含む延べ14名の保健所職員に対し、健康危機管理事業の概要説明、防護服の着脱訓練を実施した。 ・(2回目)隣国におけるMERS患者の発生を受け、市民がMERSに感染または感染疑いであることが発覚した際の対応について、患者役等を設定し、各対応班の行動確認や問題点の洗い出すための机上訓練を行った。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・防護服の着脱訓練等の実技訓練では一度に参加できる職員数が限られてしまうため、受講者数を思うように増やすことができない。 ・健康危機事象発生時のマニュアルや地域防災計画が改訂されたが、それらについて研修を実施することができていない。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・新マニュアルについての研修会を実施し、周知を図っていき、健康危機事象発生時には迅速に対応できる体制を整えていく。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	14	1

所属	健康部 地域健康企画課
----	-------------

実施計画事業名	小児初期救急広域運営事業								平成27年度 目標達成度	A
事業概要	夜間における子どもの急病時などに、安心できる医療を提供するため、中河内医療圏の3市（東大阪市・八尾市・柏原市）が協力し、圏内の協力病院にて輪番制による夜間の小児初期救急（入院を必要としない軽症者が対象）の医療体制を維持する。									
指標①	小児初期救急診療の実施日数				指標②	/				
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度	
目標①	366日	365日	365日	A	目標②	/	/	/	/	
実績①	366日	-	-		実績②	/	/	/	/	
事業実績 （平成27年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・中河内医療圏（東大阪市、八尾市、柏原市）において、各協力医療機関と八尾市及び東大阪市の休日急病診療所が輪番で診察を行い、全日・夜間の小児救急医療体制を確保した。 									
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・協力医療機関の追加確保等により、体制の充実が求められる。 									
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・体制の充実を図れるよう医療機関及び八尾市、柏原市に対して継続した働きかけを行う。 									

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	14	1

所属	健康部 地域健康企画課
----	-------------

実施計画事業名		休日夜間二次救急診療体制運営事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		市民に安心できる医療を提供するため、中河内医療圏の3市で協力し、休日や夜間における二次救急(初期救急の医療機関で入院や手術を必要とすると判断された救急患者や重傷者が対象)の医療体制を維持する。							
指標①	二次救急診療の実施日数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	366日	365日	365日	A	目標②	/			
実績①	366日	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・中河内医療圏(東大阪市、八尾市、柏原市)において、内科・外科等を標榜する全15医療機関(市内所在は10)により、366日の休日・夜間における二次救急診療体制を確立した。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・協力医療機関の追加確保等により、体制の充実が求められる。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・体制の充実を図れるよう医療機関及び八尾市、柏原市に対して継続した働きかけを行う。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	15	1

所属	健康部 食品衛生課
----	-----------

実施計画事業名		食品表示周知・取締り強化事業				平成27年度 目標達成度		B	
事業概要		「食品表示法」が制定され、栄養成分表示が義務化されることを受け、適切な食品表示が行われるよう、監視指導体制の整備を行うとともに制度の変更内容を市内の食品等事業者へ周知する。							
指標①	栄養成分表示義務化周知及び相談延べ件数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	1,500件	7,000件	12,000件	B	目標②	/			
実績①	1,289件	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 本市に本社を置き、全国に流通する食品メーカーである「ハウス食品」も昨年度に数回相談に来所しており、大手メーカーより食品表示法による新表示に変更していく動きが出てきている。 市民が、健康的な食生活を確保するためには、購入時において適切に判断できなければならない。そのために食品関係事業者に対して、リーフレットを作成し監視指導を実施した。また、講習会も実施し法改正の普及啓発に努めた。 栄養成分表示の義務化に向けて、二元化している窓口の一元化に向け、関係課と調整を継続している。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 想定していた以上に、表示に係る事業者からの相談も多くあり、監視指導・収去(販売店から無償で検査のために摂取し、検査結果と表示が一致しているかを確認する事業)・相談等を二元的に執行することは、市民や市内にある事業所に少なからずサービスの低下を招いている。 栄養成分表示の義務化が平成32年度から実施されるが(現在は経過措置期間)、早い時期に一元化への体制を整備する必要がある。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 当課では、旧食品衛生法部分の食品表示について、監視指導・収去・相談等を執行しているが、旧健康増進法部分の食品表示の相談等は、健康づくり課で執行している。 健康づくり課で、執行する必要がある監視指導・収去を食品衛生課で引き継ぎ一元化するためには、食品衛生課へ栄養士を配置することが必要で、体制整備に向けて関係課と調整を図っていく。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	15	5

所属	健康部 食品衛生課
----	-----------

実施計画事業名		狂犬病再上陸対応事業								平成27年度 目標達成度		B
事業概要		市民の健康及び安全を保持するため、狂犬病検査による予防体制並びに再上陸時の体制整備に努める。										
指標①	狂犬病予防体制整備の進捗状況							指標②	/			
指標の説明・計算式								指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度			
目標①	事業計画の策定	狂犬病再上陸 対応 マニュアル策定	迅速検査 体制 の構築	B	目標②	/	/	/	/			
実績①	事業計画は未策定	-	-		実績②	/	/	/	/			
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・狂犬病予防注射では、市民の利便性を考慮し休日を含めた集合注射会場の設定や委託動物病院による個別注射を行い、狂犬病予防注射接種率向上のため未注射犬の飼い主に対しはがきによる督促通知を実施した。浮浪犬の捕獲方法については、見直しを行い、新たに2種類の捕獲器具を購入し、捕獲困難な状況の犬にも対応できるようになった。狂犬病診断のため解剖器具や解剖用術衣等の整備を行った。 											
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・平常時における狂犬病予防注射接種率が横ばいになっており、市民への正しい知識と情報提供、感染予防対策の啓発が必要である。 また、狂犬病の診断に必要な解剖器具、解剖術衣等の整備は進んだが、さらに解剖室及び診断体制の整備が必要である。 ・狂犬病発生時の対策についてはオール大阪での対応が不可欠である。現時点では大阪府は検討段階であり、マニュアルの策定に至っておらず、本市においても計画及びマニュアル策定が出来ていない。 											
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・平常時における狂犬病予防注射のさらなる普及啓発を行う。 ・狂犬病感染疑い犬の解剖室の整備のための予算要求を行うとともに、大阪府と情報を密にとりながら診断体制の確立及び本市における計画、マニュアルの策定を行う。 											

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	14	6

所属	健康部 環境薬務課
----	-----------

実施計画事業名		危険ドラッグ等啓発事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		危険ドラッグなどの乱用防止について、啓発を行う。特に市内大学生を中心とする若年層に対して、一斉メール送信等による啓発を実施する。							
指標①	大学での実施校数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	調査	3校	5校	A	目標②				
実績①	実施	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・大阪商業大学、近畿大学、東大阪大学、大阪樟蔭女子大学、大阪産業大学あてに、学内LANシステムについてアンケートを実施し、メールによる薬物乱用防止啓発が可能かどうかについて調査を実施した。								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・5大学のうち、3大学で実施が可能である旨の回答を得た。 3大学に対し、メールによる啓発を実施する。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	1

所属	健康部 環境薬務課
----	-----------

実施計画事業名		浸水地消毒対策事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		ゲリラ豪雨などによる浸水地の消毒を迅速に実施できるよう、消毒薬の備蓄と消毒器の確保に努める。また、市民が自ら浸水した家屋内の消毒対応を行えるよう、消毒等に関する講習会を実施する。							
指標①	選定を行った場所における講習会の実施率				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	10%	50%	100%	A	目標②	/			
実績①	14%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<p>・東大阪市洪水ハザードマップ及び過去の浸水消毒作業実施状況に基づき、浸水しやすい場所として147自治会の地域を選定した。そのうち、21の地域に対して自治会役員会や保健センターが実施している地域の講習会等の場で実施した。</p>								
改善すべき点	<p>・講習会の内容について、市民にもっと興味を持ってもらえるように検討が必要である。</p>								
平成28年度に向けた改善策	<p>・保健センターが実施している講習会等、他部局が開催している地元での集まりの場に参加させていただき、講習会実施の効率化を図る。</p>								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	13	2

所属	健康部 健康づくり課
----	------------

実施計画事業名		食育推進事業								平成27年度 目標達成度	A
事業概要		食育推進ネットワーク会議で培われた食育に関するデータを「食育ツール・バンク」として構築し、データ活用を通じ、各ネットワーク関係団体での食育事業の領域を広げ、各団体と協働して、市民が食育を体験し、実践する機会を提供する。									
指標①	食育イベント回数				指標②	食育イベント参加者数					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	1,290回	1,300回	1,310回	A	目標②	63,500人	64,000人	64,500人	A		
実績①	1,716回	-	-		実績②	74,061人	-	-			
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・食育推進ネットワーク会議の実施 2回 15団体 ・食育関係担当者連絡会議 3回 12課 ・食育推進イベント 107回 7,904人 ・食育関係担当課推進事業 1,401回 59,239人 ・食育推進団体事業 203回 6,852人（集計途中） ・食育連携ツールバンクの立ち上げと連携窓口の設置 										
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・担当課と各団体の連携事業が増えたものの、次世代に対する取り組みをさらに検討する。 										
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次食育推進計画の評価にむけ、保育園や幼稚園、小中学校の子どもをはじめ、保護者や家族に対して、栄養教諭など食育関係者と連携して事業を行い、次世代の食育実践者の増加を図る。 										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	13	2

所属	健康部 健康づくり課
----	------------

実施計画事業名		健康トライ21推進事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		第2次東大阪市健康増進計画「健康トライ21(第2次)」に基づき、市民グループ連絡会と協働での「健康トライくらぶ」の開催や、各種健康増進イベントを通して、市民の健康に対する意識を高め、健康のまちづくりに取り組む。							
指標①	健康トライ21の普及活動に取り組む健康トライ21市民連絡会への参加者数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	1,300人	1,400人	1,500人	A	目標②	/			
実績①	1,392人	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 健康トライ21啓発市民グループの育成及び活動支援。 (市民グループ数:20団体、そのうち新たに加入した賛助グループ:2団体150人) 健康トライ21市民連絡会(上記市民グループの集まり)と協働で、健康増進事業「健康トライくらぶ」を実施。 (参加者:572人) 東大阪市民ふれあい祭り(5月)、希来里ファミリーまつり(8月)、健康フェスタ(11月)、めっちゃ元気まつり(12月)、各種 イベントにおいて、市民グループと協働で健康づくり啓発活動を実施。 各種強化月間・週間(禁煙週間(5月)、肝臓週間(7月)、健康増進普及月間(9月)、がん制圧月間(10月)、女性の健康週間(3月))に啓発活動の強化及び関連健康教室等を実施。 生活習慣病の重症化予防事業を対象者を拡大して実施。 既存の保健所保健センター事業の中で啓発を実施。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 健康トライくらぶの参加者は、第1回の487人から572人と増加してきているが、働く世代の参加が少ないのが課題である。就労していても取り組みやすい事業内容の工夫や、周知方法の改善が必要である。 健康トライ21市民連絡会に加入する団体の拡大に取り組み、2団体150人が増加した。健康トライ21の目的や活動内容を知り、口コミ等で普及活動に取り組む市民が増えるよう、さらなる周知が必要である。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 健康トライくらぶについては、大阪府市町村健康づくり推進事業補助金を活用し、健康マイレージ事業として新たに実施する。働く世代や新たな対象者が取組める事業となるよう、個人で取組むこととし、応募や特典付与は郵送で行う。本事業を契機として検診受診や保健所事業等につながることをめざし、保健所事業につながることで科学的根拠のある健康情報を知るとともに、健康づくりを継続する場・相談先として活用できるようにすることを目的とする。 平成29年度の健康トライ21(第2次)の中間評価に向けて、評価項目について市政世論調査等による生活習慣の実態把握や健康指標についてデータ収集を行う。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	13	3

所属	健康部 健康づくり課
----	------------

実施計画事業名		健康増進事業(がん検診)								平成27年度 目標達成度	A
事業概要		がんの早期発見・早期治療につなげるため、概ね40歳以上の市民を対象に各種がん検診を実施する。									
指標①	乳がん検診率				指標②	大腸がん検診率					
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/					
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	19.0%	20.0%	21.0%	A	目標②	16.0%	17.0%	18.0%	B		
実績①	23.1%	-	-		実績②	15.0%	-	-			
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診受診率(見込み) 胃がん検診10.0% 子宮がん検診26.7% 肺がん検診13.1% 乳がん(マンモグラフィ)検診23.1% 大腸がん検診15.0% ・健康教育におけるがん検診の啓発 200回 6,490人 ・特定健診とがん検診のセット検診(休日):2回 休日の乳がん検診(集団):2回 										
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・胃がん検診、大腸がん検診の受診率が26年度と比較し、横ばいであり、受診率の向上に向けて、啓発や個別勧奨がさらに必要である。 ・関係機関と連携し、特定健診とがん検診の同時受診の機会を増やすと共に、保健センター事業やイベント等の機会を利用して引き続き啓発を行っていく必要がある。 ・より効果的な個別勧奨の工夫を検討する。 ・胃がん検診については、がん検診実施のための指針にある内視鏡検査の導入に関する検討や関係団体との調整が必要である。 										
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診とがん検診をあわせた啓発活動を保健センター事業やふれあいまつり、校区フェスタなど地域のイベント等で行う。 ・新たなステージに入ったがん検診の総合支援推進事業で無料クーポン券(子宮がん:20歳女性、乳がん:40歳女性)を送付する。クーポン券送付後、未受診者へ個別受診勧奨を行なう。また、大腸がん検診未受診の方の内、罹患率の上昇する年齢層(55、60、65歳)に個別受診勧奨を行ない、受診率向上を図る。 ・がん検診の対象者初年度となる20歳女性に対しては、無料クーポン券(子宮がん)送付時にメッセージ性の高いカードを同封して、がん検診の継続的な受診の大切さを強く働きかける。 ・協会けんぽと連携して特定健診とがん検診のセット検診を新たに設け、受診拡大と啓発活動の機会を増やす。 ・要精検者の受診率の向上に努める。 ・胃がん検診について、内視鏡を用いた検診導入に向けての検討および関係団体との調整を行なう。 										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	13	3

所属	健康部 健康づくり課
----	------------

実施計画事業名		アルコール健康障害対策事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		不適切な飲酒によるアルコール健康障害の発生、進行、再発の防止対策を実施し、アルコール健康障害を有する人とその家族が日常生活や社会生活を円滑に営むことができるよう支援する。							
指標①	東大阪断酒会における例会等参加者数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	2,000人	2,000人	2,000人	A	目標②				
実績①	5,215人	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・アルコール依存症者への調査結果に基づき、参加しやすい断酒会例会のあり方を検討し、実際の断酒会運営に反映させた。 ・看護学生対象に、断酒会員及び専門医療機関ケースワーカーによる出前講座の実施。内科医へのアルコール問題の啓発と、断酒会員自身が講師を勤めることによって再発予防につなげる。 ・アルコール健康障害啓発紙「ひあかもか通信」第17号の配布及び18号の作成。「未成年者へのお酒の影響」をテーマに、医療機関を中心とした地域関係機関のほか、市内全小学校(5・6年生及び教員)を対象に配布。アルコール健康障害やアルコール依存症の発生、進行、再発の防止に繋がることを目指す。 ・アルコール関連問題に関する小学校へへの出前講座の実施による、アルコール健康障害の発生予防のための0次教育 ・近畿大学文芸学部前田益尚准教授による講義を地域関係機関で聞き、今後の対策に反映させる。 ・東大阪市ふれあい祭りでの断酒会参加や市民健康フェスタでのアルコール関連問題コーナーの設置による、アルコール問題についての普及啓発 ・アルコール関連問題啓発週間における啓発 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・アルコール依存症者の調査結果に基づく検証にあまり時間が割けなかったため、断酒会をはじめとする自助グループの現状と課題について深く検討が出来なかった。 ・アルコール健康障害の1次予防のみならず、断酒会自体の活性化や活動強化につながる取組みを深める必要がある。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・国及び府のアルコール健康障害対策推進基本計画を踏まえて、東大阪市アルコール問題予防部会での協議 ・市民へのアルコール健康障害対策(1次予防)として有効な出前講座実施の拡大 ・飲酒による問題を抱えた方への重症化予防及び再発防止に有効な方法の検討 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	13	6

所属	健康部 健康づくり課
----	------------

実施計画事業名		自殺予防対策事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		自殺危機にある人に気づき、適切な支援機関などへつなぐ「ゲートキーパー」の養成や、自殺未遂者や自死遺族への相談支援、自殺対策のための地域ネットワークの構築などを通して、総合的な自殺対策を推進し、生きやすいまちづくりを推進する。							
指標①	自殺予防ゲートキーパー養成研修の累計修了者数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	1,250人	1,400人	1,500人	A	目標②				
実績①	1,371人	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺予防の人材養成研修(①初期介入ワークショップ計2回24名②ゲートキーパー講座計3回86名)及びフォローアップ講座(1回9名) ・自殺予防週間・自殺対策強化月間における啓発 ・若年者への自殺予防教育(小学6年生を対象にアルコール問題出前講座実施89名受講) ・高齢者に対する支援者への自殺予防講座(15名) ・働く人のメンタルヘルス研修の実施(計4回166名) ・自死遺族わかちあいの会の実施(年9回実施) ・自殺未遂者相談支援事業の実施(相談実人数20人・延べ117件) ・自殺対策庁内連絡会(1回)及び自殺予防対策部会(年4回) ・自殺予防対策部会での協議のもと、一般科と精神科との連携構築事業への取組み(①一般科から精神科へつなぐための紹介状つきリーフレット「ここ×からパス」の発行②一般科医対象精神科病院見学会の開催) ・保健センターにおける検診・教室及び市民グループや地区活動におけるうつ病等メンタルヘルス講座の実施(84回・1118名) 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・広く市民に自殺予防について啓発周知する講演会が開催できなかった。 ・自殺予防の人材養成研修や若年者への自殺予防教育を通じて、教育関係者の自殺予防やこころの健康づくりに関する関心の高さやニーズを把握することが出来たので、次年度に活かせるよう取組んでいく。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに養成してきた自殺予防の人材(ゲートキーパー)を活用してさらに地域に広くゲートキーパーを養成していくこと。 ・教育関係を中心に若年者支援への取組みをさらに進めること。 ・一般科と精神科の連携構築が、「ここ×からパス」リーフレットの配布等の取組みで緒についたところなので、リーフレットの改善と利用促進及び精神科病院見学会を通じて連携を深め、自殺予防に必要な早期発見・早期治療につなげる。また医師間の連携のみならず、一般医と精神科領域の関係機関との連携構築も視野に入れていく。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	18	2

所属	健康部 健康づくり課
----	------------

実施計画事業名		介護予防・日常生活支援総合事業								平成27年度 目標達成度	B
事業概要		平成27年4月の介護保険制度改正による新たな「介護予防・日常生活支援総合事業」がスタートすることを踏まえ、これまでよりも多様な、きめ細かい介護予防サービスを提供し、高齢者の健康増進と充実した在宅生活を支えていく。									
指標①	地域介護予防活動支援・介護予防普及啓発事業参加者数				指標②						
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	32,500人	35,000人	37,500人	B	目標②						
実績①	31,448人	-	-		実績②						
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防事業：地域介護予防活動支援事業227回、4,584人 介護予防普及啓発事業143回、4,324人 ・自治会、地域包括支援センターとの協働による介護予防拠点立上げ事業：3ヶ所、延べ参加者数141人 ・介護予防ボランティアグループの活動支援：13グループ ・介護予防ボランティアグループ紹介冊子の改訂・配付 ・介護予防ボランティアグループによる認知症予防のための健脳エクササイズの普及を目的とし、介護予防ボランティアグループを対象に健脳エクササイズ講習会を実施：11グループ、49名 ・介護予防ボランティアグループによる地域への出前講座の実施：1回 ・介護予防イベント「けんこう運動見本市」の協働開催（老人センター、基幹型地域包括支援センター、地域包括支援センター、地域包括ケア推進課、高齢介護課、保健所保健センター）：参加者数152人 										
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防事業の実績は26年度と比しやや減少しているが、地域住民が実施主体となって事業運営できるよう支援してきたことで自主化が進んだことや、地域包括支援センターや老人センター、自治会等で介護予防事業の取組みが増えてきたことによるものである。今後は高齢者が歩いていける範囲に介護予防拠点がいない地域への立ち上げ支援事業や、地域住民が事業運営する上での介護予防メニューの開発と提供を行っていただける仕組みが必要である。 ・地域の介護予防拠点への提供メニューとして、健脳エクササイズの開発と講習会を実施した。講習会は平成28年1月～2月に実施したため、地域への出前講座は1回のみの実施であるが、28年度は広く周知実施していく。 										
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・健脳エクササイズの出前講座について関係機関や広報媒体を通じて広く周知し、地域の介護予防拠点に出前講座を実施する。介護予防拠点で継続的に健脳エクササイズが実施できるよう、健脳エクササイズパンフレットを作成・配付する等し支援を行う。 ・平成29年4月に開始される新たな介護予防・日常生活支援総合事業に向けて、関係機関と連携会議等を通じて情報交換・意見交換を行い、健康部の現行の介護予防の取組みについて調整を行っていく。 										

平成27年度 事業管理報告書

重点事業

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	2

所属	健康部 母子保健・感染症課
----	---------------

実施計画事業名		妊娠・育児支援メール配信事業				平成27年度 目標達成度		B	
事業概要		子育て世帯の抱える妊娠、子育てに対する悩みや不安を解消するため、登録制のメールマガジンを配信し、各種講習会などの市の母子保健に関する情報や、妊娠経過の正しい知識、月齢に応じた育児知識等をタイムリーに提供する。							
指標①	メールマガジンの登録者数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	1,000件	1,500件	2,000件	B	目標②				
実績①	893件	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 事業を開始した平成27年7月から平成28年3月までの9カ月間で893件の登録があり、徐々に市民の間に「すこやか親子☆トライメール」が浸透してきている。 また、登録者に行ったアンケートでは、配信メールに対する満足度は非常に高い。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 登録者数が目標に達しておらず、まだまだ増やす余地がある。 登録者へのアンケートを実施した結果、「保育園や幼稚園に関する情報」や「子育て世帯を対象にしたイベントや講座に関する情報」等の意見があり、参考にして内容をより充実していきたい。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 事業の広報・周知活動により力を入れ、登録者数を増やす。妊娠届出時や、乳児家庭全戸訪問事業、保健センターでの事業等を通して、登録を勧奨していきたい。 子育てに関する情報が不足気味である点については、子どもすこやか部が配信しているハッピーメールへの登録を促すことによって、相互に補完して必要な情報を提供する。 								

平成27年度 事業管理報告書

重点事業

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	2

所属	健康部 母子保健・感染症課
----	---------------

実施計画事業名		産後ケア事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		人口減少と少子化へ歯止めをかけていくためには、子どもを産み育てやすい環境の整備が不可欠となる。特に出産直後の母親に対しては心身両面にわたるサポートが重要となるため、産科医療機関等において、出産後の親子が心身のケアや休養を目的として利用できる産後ケア事業を行う。							
指標①	産後ケア施設の利用件数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	100件	150件	200件	A	目標②				
実績①	110件	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<p>・27年度は事業開始の7月から、ショートステイ231泊、デイサービス178日の利用があった。利用者アンケートからも満足度が高いことを確認している。母が産後ケアを利用することで、心身の休養がはかれ、授乳についてや赤ちゃんへの対応の仕方等を、専門スタッフから教えてもらうことができるため、悩みの解消や育児に自信がもてる等の効果が出ている。</p>								
改善すべき点	<p>・本事業の認知度を高め、産後ケア事業を知らない人、事業名は知っているがサービス内容がわからず利用に至らない人がないように、産後ケアが必要な人がもれなく利用できるよう啓発を行う。</p>								
平成28年度に向けた改善策	<p>・事業の広報・周知活動に力を入れ、対象となるすべての人に本事業の周知を行う。</p>								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	15	3

所属	健康部 環境衛生検査センター
----	----------------

実施計画事業名		環境衛生検査センター機器整備事業				平成27年度 目標達成度		-	
事業概要		保健衛生行政、食品・環境衛生行政に必要な検査機能・精度を確保するため、分析機器などを計画的に整備する。							
指標①	購入進捗率				指標②	/			
指標の説明・計算式	購入台数／購入予定台数×100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	-	100%	100%	-	目標②	/	/	/	/
実績①	検査精度確保のための改修工事	-	-	-	実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成27年度)	・ウイルス検査をより安全で正確に実施するために、検査室内の改修工事を行う。								
改善すべき点	・社会状況の変化などにより、業務に求められる内容が変化しつつあるが、検査に必要な機器整備の対応ができていない。								
平成28年度に向けた改善策	・現在の機器の更新以外にも、必要に応じて機器を増設し、又、新規機器の導入をするなど、機器整備計画の充実を図る。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	15	4

所属	健康部 斎場管理課
----	-----------

実施計画事業名		斎場整備事業				平成27年度 目標達成度		B	
事業概要		老朽化が著しい現斎場について、新斎場の建設を視野に再編整備を進める。将来の火葬需要を踏まえ、安定した確実な火葬業務が執行できる施設整備を推進する。							
指標①	斎場整備基本計画の進捗状況(既存斎場の長寿命化を含む)				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	計画の推進	計画の推進	計画の推進	B	目標②				
実績①	計画の推進	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・斎場整備の方針について、新斎場の建設も視野に入れながら、既存斎場を活用した斎場整備についても検討を進めた。また、老朽化していた楠根斎場については平成28年度にかけて耐震工事を行うなど、既存斎場の長寿命化を行っている。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、新斎場の適地を見いだせていない状況であるが、全市的な斎場のあり方について早急に具体的な方針を示す必要がある。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的で実効性のある計画策定に向けて長瀬斎場の整備にかかる調査事業を実施していく。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	2

所属	環境部 環境企画課
----	-----------

実施計画事業名		地球温暖化対策推進事業(民生家庭編)				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		民生家庭部門における温室効果ガス排出量を削減するため、個人住宅用の太陽光発電システムや燃料電池、ホームエネルギーマネジメントシステム、リチウムイオン蓄電池の設置補助を行うとともに、環境家計簿の普及啓発に取り組む。							
指標①	温室効果ガス削減量				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
					H27	H28	H29	H27達成度	
目標①	965t-CO2	978t-CO2	992t-CO2	A	目標②	/			
実績①	1,043t-CO2	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・具体的な削減実績 ①太陽光発電システム:4kw(平均出力/世帯(27年度))×1,000kwh(平均発電量/kw)×300件×0.531kg-CO2(関電実排出係数)=約637t ②エネファーム:1028 kg-CO2(平均削減量/台)×209件=約215t ③HEMS:3,300 kg-CO2(平均排出量/世帯)×0.1(省エネ効率)×37件=約12t ④リチウムイオン蓄電池:6kwh(平均容量/世帯)×365日×0.531kg-CO2×24件=約28t ⑤環境家計簿:温室効果ガス排出量は平成26年度「電気」3,005t-CO2・「ガス」1,183t-CO2、平成27年度「電気」2,869t-CO2・「ガス」1,168t-CO2で削減効果は「電気」は136t-CO2、「ガス」は15t-CO2								
改善すべき点	・①環境家計簿の世帯数があまり増加していない。 ②エネファームを中心とした太陽光発電設備以外の設備に対する補助を拡充し温暖化防止に向けた対策の必要がある。								
平成28年度に向けた改善策	・①自治会への説明等によりさらなる周知と啓発を行う。 ②エネファーム、リチウムイオン蓄電池の予算の拡充。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	2

所属	環境部 環境企画課
----	-----------

実施計画事業名		地球温暖化対策推進事業(産業編)				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		産業部門における温室効果ガス排出量を削減するため、専門家による省エネ診断や中小企業の省エネ設備改修を支援するとともに、環境マネジメントシステムの導入促進を図っていく。							
指標①	省エネ化支援による温室効果ガス削減量				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	200t-CO2	200t-CO2	200t-CO2	A	目標②				
実績①	298t-CO2	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・平成27年度は合計28件の東大阪市内の企業の省エネ改修に補助を実施し、温室効果ガス排出量約298t-CO2の削減効果。								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ①省エネ改修補助制度の要件に具体的な温室効果ガス排出の削減量の記載がなかった。 ②省エネ改修の対象が、複合的・一体的な改修に限られていた。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ①省エネ改修補助制度の要件に対象となる温室効果ガス削減量を記載する。 ②省エネ改修の対象を複合的・一体的な改修ではなく単一の改修でも対象となるようにする。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	3

所属	環境部 循環社会推進課
----	-------------

実施計画事業名		環境啓発事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		市民を対象に、環境全般に係る出前講座を開催し、環境意識の向上を図る。							
指標①	全校区で取り組む環境教育出前講座などの延べ参加者数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	17,000人	18,000人	19,000人	A	目標②	/			
実績①	21,455人	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 市内の学校園や自治会等を対象に環境教育出前講座を実施した。 幼稚園・保育所 … 1園、2所 (120人) 小学校 … 42回(39校) (1,680人) ECOポスターコンクール … 10校 (535人) 地域フェスティバル … 19箇所 (19,000人) 一般 … 3団体 (120人) 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 実施要領に定める講座メニューのうち、特定の講座に依頼が偏っており、実施率が低い講座がある。 中学生、高校生、一般の方による出前講座の利用が少ない。 5月、6月に依頼が集中するなどし、環境部の事業実施体制が不十分になる場合がある。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 講座を利用したことがない学校園や団体にあてた個別周知を行い講座利用を促す。 講座メニュー表を拡充し、多様な実施要望に対応できるよう工夫を行う。 地域ごみ減量推進協議会と連携し、環境教育の外部講師の育成を図るなど実施体制の充実を図る。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	3

所属	環境部 循環社会推進課
----	-------------

実施計画事業名		ごみ減量推進事業				平成27年度 目標達成度		C	
事業概要		プラスチック製容器包装やペットボトルの分別収集、古紙類の集団回収の奨励など、ごみの減量とリサイクルを推進することにより循環型社会を構築する。							
指標①	資源の再生利用量				指標②	/			
指標の説明・計算式	集団回収量＋堆肥化量＋収集後資源化量				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	27,573t	28,194t	28,882t	C	目標②	/			
実績①	19,962t	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 資源化物の収集量は7,122トンであり、前年度と比較して102トン増加した。収集量の主な内訳は以下のとおりである。 かん・びん3,679トン(20トン減少)、ペットボトル883トン(63トン増加)、プラスチック製容器包装2,420トン(53トン増加) 集団回収量は13,062トンであり、前年度と比較して823トン減少した。集団回収団体はやや増加したものの、1団体あたりの回収量が減少している。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 分別収集の定着化を図るため、分別ルール周知拡大を進めるとともに自治会未加入世帯などに分別排出を働きかけることで全市的に協力率を向上させる必要がある。 事業系廃棄物に含まれる古紙類を資源化するための新たな仕組みを検討する必要がある。 現在の収集区分のうち、特に排出ルールが守られない品目について今後の在り方を検討する必要がある。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> プラスチック製容器包装など分別ルールが分かりにくい品目について、啓発冊子を活用した協力率向上の取り組みを図る。 地域自治会との連携を強め、資源やごみの排出状況が悪いポイントのパトロールやチラシなどを用いた戸別啓発等により、これまで以上に地域に密着した取り組みを進める。 環境部内でプロジェクト会議を設け、既存の収集区分における課題と新たな取り組みについて検討する。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	16	5

所属	環境部 環境事業課
----	-----------

実施計画事業名		ふれあい収集				平成27年度 目標達成度		B	
事業概要		ごみ出しが困難な高齢者または障害のある人の在宅生活を支援するため、個別訪問による家庭ごみの収集や在宅医療廃棄物の収集を実施する。							
指標①	ふれあい収集と在宅医療廃棄物の合計収集件数				指標②	/			
指標の説明・計算式	26年8月の72件を100%とした割合				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	135%	155%	175%	B	目標②	/			
実績①	129%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 対象世帯への収集、声かけを実施。 市役所関係部局フロア、各行政サービスセンター、各福祉事務所や市立総合病院、市内地域包括支援センターへのチラシ配布。 								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・市政だより・ホームページ・チラシを用いた再周知。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	1

所属	環境部 環境事業課
----	-----------

実施計画事業名		(仮)環境センター整備事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		一般廃棄物の直営収集の拠点として、環境事業所等の清掃関連庁舎を集約した(仮)環境センターを整備する。							
指標①	整備の進捗				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	基本計画	事前調査実施	アドバイザー契約	A	目標②				
実績①	基本計画	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・計画通り基本計画の策定を行った。								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・当初平成28年度においてPFI導入可能性調査委託を予定していたが、平成28年度予算要求において予算計上していたが認められなかった。そのため、平成29年度予算要求時にも関係部局と調整し予算計上するかどうか検討する必要がある。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	5

所属	環境部 環境事業課
----	-----------

実施計画事業名		清掃車両整備事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		家庭ごみ、資源化物、不法投棄ごみ等の収集・運搬作業の円滑化に向けて清掃車両を更新する。							
指標①	更新車両導入率				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	100%	100%	100%	A	目標②				
実績①	100%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・更新を予定していたすべての車両について、更新を行った。								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・特になし								

平成27年度 事業管理報告書

重点事業

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	4

所属	環境部 美化推進課
----	-----------

実施計画事業名		「東大阪市みんなで美しく住みよいまちをつくる条例」推進事業				平成27年度 目標達成度		C	
事業概要		不法投棄物の多発箇所に監視カメラを新たに設置するなど、不法投棄の減少に努めるとともに、市民、事業者、民間団体などと協働し、不法投棄やポイ捨て等を防止する。							
指標①	家電4品目収集台数の減少率(対平成25年度比)				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	95%	90%	85%	C	目標②				
実績①	63%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・家電4品目の収集台数 1001台 内訳 (テレビ 666台、冷蔵庫 238台、洗濯機 92台、エアコン 5台) ・不法投棄監視カメラの不法投棄多発箇所に9台設置した。 ・布施駅、小阪駅、瓢箪山駅頭に「歩きたばこ禁止でっせ！」のマークタイルを設置した。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度は、不法投棄監視パトロールを平日以外にも、休日5回、夜間1回、市内一円で実施したが、パトロールの回数が少ない。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄の多発箇所に啓発看板の貸出及び移設式の監視カメラを設置、休日及び夜間のパトロールを増やすことにより、不法投棄物の迅速な回収に努める。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	6

所属	環境部 公害対策課
----	-----------

実施計画事業名		公害対策事業(工場・事業場の指導規制)				平成27年度 目標達成度		B	
事業概要		市民の生活環境を保全するため、公害関係法令に基づき、工場・事業場へ規制や指導を行うとともに公害苦情処理や啓発により、公害を防止する。							
指標①	工場等の許可申請件数				指標②	苦情処理件数			
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	130件	140件	150件	B	目標②	300件	300件	300件	B
実績①	111件	-	-		実績②	284件	-	-	
事業実績 (平成27年度)	・工場等の許可申請件数:111件 苦情処理件数:284件(大気汚染60件、水質汚濁7件、土壌汚染1件、騒音116件、低周波1件、振動44件、地盤沈下0件、悪臭53件、その他2件)								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・特になし								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	4

所属	環境部 産業廃棄物対策課
----	--------------

実施計画事業名		産業廃棄物対策事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		産業廃棄物の排出者や処理事業者に対し、産業廃棄物の適正処理について指導することにより、不法投棄を予防する。							
指標①	立入検査の件数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	300件	300件	300件	A	目標②				
実績①	402件	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年の廃棄物処理法の改正について、周知の最終年度となり、目標を大きく上回った。 排出者向けには、定期的な立入検査に加え、PCBの保管事業者への立入検査の件数が増えた。 業者向けには、新たに許可を受けようとする者が増え、これに伴う立入検査の件数が増えた。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 立入検査の件数は増えたが、繁忙期と閑散期があるため、時期によって啓発効果が平準でない。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 立入検査を計画的に行うことで、通年で啓発効果の平準化を図る。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	5

所属	東大阪都市清掃施設組合
----	-------------

実施計画事業名		大阪湾広域廃棄物埋立処分場建設事業(フェニックス)				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		大阪湾圏域広域処理場整備基本計画に参画し、焼却灰及びばいじんの最終処分場を確保する。							
指標①	計画進捗率				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	100%	100%	100%	A	目標②				
実績①	100%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・前期支払分 平成27年10月28日 7,290千円 ・後期支払分 平成28年3月14日 3,358千円 								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・特になし								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	5

所属	東大阪都市清掃施設組合
----	-------------

実施計画事業名		清掃運搬施設等(運搬車両)整備事業				平成27年度 目標達成度		—	
事業概要		焼却工場などに搬入されるごみを選別し、中間処理を円滑にするための重機等を更新する。							
指標①	計画進捗率				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	—	100%	100%	—	目標②				
実績①	—	—	—	—	実績②				
事業実績 (平成27年度)	・平成27年度 実績無し ホイールローダ 11台 パワーショベル 2台 フォークリフト 4台								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・特になし								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	5

所属	東大阪都市清掃施設組合
----	-------------

実施計画事業名		基幹的整備工事				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		一般廃棄物の焼却を円滑かつ継続的に行うため、焼却施設を整備する。							
指標①	計画進捗率				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	100%	100%	100%	A	目標②				
実績①	100%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・低圧電源室電気設備更新工事(H27. 5. 1~H28. 3. 31) ・1号ボイラー第3・4旗形北側水管更新工事(H27. 5. 1~H27. 7. 13) ・機器冷却設備基幹的整備工事(H27. 9. 8~H28. 2. 29) ・2号ボイラー第3・4旗形南側水管更新工事(H27. 10. 2~H28. 3. 31) ・データ処理室内制御ステーション部品更新工事(H27. 10. 5~H28. 3. 31) ・自動火災報知設備受信盤更新工事(H27. 11. 20~H28. 3. 31) ・2号投入ホツパ上部水冷ジャケット更新工事(H28. 1. 8~H28. 3. 11) 								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・特になし								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	5

所属	東大阪都市清掃施設組合
----	-------------

実施計画事業名		施設整備計画及び既存工場解体工事				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		第五工場竣工に伴い、不要となる第三工場及び破碎工場を解体する。							
指標①	計画の進捗				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	施設整備 計画策定	解体工事 調査及び 設計等	解体工事	A	目標②	/	/	/	/
実績①	施設整備 計画策定	-	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成27年度)	・施設整備計画策定業務 1,186千円								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・特になし								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	5

所属	東大阪都市清掃施設組合
----	-------------

実施計画事業名		新工場建設事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		第三工場の建て替え事業として、処理能力400t/日(焼却)、50t/日(破碎)の新規処理施設及び還元施設を建設する。							
指標①	計画進捗率				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	100%	100%	100%	A	目標②				
実績①	100%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌・地下水汚染対策検討委員会(3月 開催) ○環境保全委員会(3月 開催) ・土壌・地下水汚染対策検討委員会運営業務 ○施設整備に係るアドバイザー業務 ・ごみ処理施設建設工事及び付帯工事 ・ごみ処理施設建設工事及び付帯工事に係る施工監理業務 ・ごみ処理施設建設工事及び付帯工事に伴う受給線設置工事費負担金 ・(仮称)水走コミュニティー館新築工事に係る設計業務 ・(仮称)水走コミュニティー館新築工事に係る地質調査業務 								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・特になし								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	5

所属	東大阪都市清掃施設組合
----	-------------

実施計画事業名		一般廃棄物処理基本計画策定事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		東大阪市と大東市の一般廃棄物処理基本計画が中間目標年度である平成27年度に見直されることを受け、計画の見直しを行う。							
指標①	計画の進捗				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	基本計画策定業務	-	-	A	目標②	/			
実績①	基本計画策定業務	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・一般廃棄物処理基本計画策定業務 1,782千円								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・特になし								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	28	1

所属	都市整備部 都市計画室
----	-------------

実施計画事業名		準防火地域指定見直し検討調査								平成27年度 目標達成度	-
事業概要		まちの不燃化を図るため準防火地域の指定を拡大するとともに、指定拡大後は、耐火性能の低い建築物の防火改修を促進する。									
指標①	防火改修の件数				指標②	/					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	-	3件	5件	-	目標②	/					
実績①	-	-	-	-	実績②						
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 準防火地域拡大に向けた都市計画変更の実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ①一部地域(H28年4月1日告示)、②一部地域を除く市域全域(H28年12月頃告示予定) 耐火性能の低い建築物の防火改修を促進する施策の検討した。 										
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 耐火性能の低い建築物の防火改修を促進する施策を検討し、早期に実施すること 										
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 耐火性能の低い建築物の防火改修を促進する施策を検討し、早期に実施すること 										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	30	3

所属	都市整備部 みどり景観課
----	--------------

実施計画事業名		景観形成調査事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		良好な景観を保全・形成するため、景観形成重点地区を指定する。また、景観計画に基づいて指定した景観重要建造物及び景観重要樹木の保存のため、維持・改修等に対し助成を行う。							
指標①	景観重要建造物・景観重要樹木の指定件数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	—	2件	2件	A	目標②	/			
実績①		—	—		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・景観形成重点地区や景観重要建造物、景観重要樹木の指定に向け市民の方を対象にした講演やアンケートを実施した。								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・特になし								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	29	1

所属	都市整備部 みどり景観課
----	--------------

実施計画事業名		花づくり学習会				平成27年度 目標達成度		B	
事業概要		幼稚園、小・中学校の教員や地域の代表などが種から花を育成する手法を学習し、子供たちや地域の人と一緒に花を育てることで、植物の育成に関心を持ってもらい、学校や地域の花とみどりを増やす。							
指標①	参加団体(累計)				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	60団体	100団体	140団体	B	目標②				
実績①	56団体	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業に参加する幼稚園、小・中学校、自治会、地域の緑化グループの代表の方に種から花を育成する方法を学習する講習会へ参加していただいた。参加団体には、花の育成に必要な資材を支給し、支給資材を用いて習得した技術を各会員の皆さんに伝えてもらいながら、一緒に花を育て、学校や地域を花とみどりで飾りつけた。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの団体に参加していただけるように積極的なPRを実施する。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的なPRを実施する。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	29	1

所属	都市整備部 みどり景観課
----	--------------

実施計画事業名					(仮称)グリーン・フェスタ					平成27年度 目標達成度	A
事業概要					(仮称)グリーン・フェスタを開催し、花やみどりに触れ合う機会を設けることで、市民の緑化意識の普及と高揚を図る。						
指標①	参加者数				指標②						
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	2,500人	2,500人	2,500人	A	目標②						
実績①	5,000人	-	-		実績②						
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 東大阪グリーンフェスタを開催した。 グリーンフェスタへの変更を機に、みどりの景観まちづくりコンテストの創設や市民団体や大学、企業、ボランティア団体、各種団体との協働により参加型のイベントブースを設置する等積極的な事業展開を進めた。 										
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 特になし 										
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 前回以上に参加者が花やみどりに触れて楽しんでいただけるよう工夫する。 										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	29	2

所属	都市整備部 みどり景観課
----	--------------

実施計画事業名		(仮称)緑化センター整備事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		市民協働での緑化活動の推進や、市民に幅広く緑化に関する情報発信や情報交換ができる場として、(仮称)緑化センターを整備する。							
指標①	整備率				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	20%	80%	100%	A	目標②				
実績①	20%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・平成27年度は建築工事に係る基本・実施設計業務及び地質調査業務の委託を実施した。								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・平成27年度社会資本整備総合交付金の補正予算を活用し、(仮称)緑化センター整備のため基盤造成工事を行うが、本体の建築工事に係る予算確保に向けて取り組みを進めていく。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	29	3

所属	都市整備部 みどり景観課
----	--------------

実施計画事業名					緑化ボランティア育成事業					平成27年度 目標達成度	B
事業概要					地域における継続的な緑化活動を推進するため、花と緑の知識や技術等の習得を目的とした講座を実施し、地域の指導者として活動の核となる人材の確保と育成をめざす。						
指標①	修了証取得者数(累計)				指標②	/					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	100人	120人	140人	B	目標②	/					
実績①	99人	-	-		実績②						
事業実績 (平成27年度)	・緑化ボランティア養成講座を開催した。 緑化ボランティア養成講座の修了証の交付は参加者18名中16名に行なった。										
改善すべき点	・より魅力的な講座内容を検討する等、参加者全員が修了できる工夫が必要。										
平成28年度に向けた改善策	・より魅力的な講座内容になるよう講座内容の見直しを実施する。										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	29	3

所属	都市整備部 みどり景観課
----	--------------

実施計画事業名		緑化ボランティアキャラバン				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		緑化ボランティア養成講座修了生を中心に、駅前広場や庁舎周辺等の公共施設等の緑化を進める。							
指標①	実施箇所数(累計)				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	4箇所	5箇所	6箇所	A	目標②				
実績①	4箇所	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・東大阪市役所本庁舎、JR高井田中央駅前広場、近鉄布施駅前広場、近鉄八戸ノ里駅前広場にて植栽活動を実施した。								
改善すべき点	・新たな活動地を増やし、緑化を進めていく。								
平成28年度に向けた改善策	・新たな活動地を増やし、緑化を進めていく。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	29	3

所属	都市整備部 みどり景観課
----	--------------

実施計画事業名		森林ボランティア育成事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		森林の機能や森づくりに関する知識の普及・啓発並びに森林保育等の整備活動の実施を通じて、森づくり活動の中心的役割を担う人材を育成し、市民参加による森づくりをめざす。							
指標①	参加者数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	80人	80人	80人	A	目標②				
実績①	80人	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・森林ボランティア入門講座を計6回の講座を実施した。								
改善すべき点	・より魅力的な講座内容を検討する等、より多くの方に参加していただく工夫が必要。								
平成28年度に向けた改善策	・より魅力的な講座になるよう講座内容の見直しを実施する。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	29	3

所属	都市整備部 みどり景観課
----	--------------

実施計画事業名		駅前等公共施設緑化事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		誰もが花と緑に触れ合えるよう、駅前や公共施設などの緑化を推進する。							
指標①	整備箇所数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	1箇所	1箇所	1箇所	A	目標②				
実績①	2箇所	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・近鉄吉田駅北側、近鉄布施駅南側フラワーポールの老朽化に伴い、5基を再設置した。								
改善すべき点	・フラワーポールを含めた緑化施設の更新、増設を行っていく。								
平成28年度に向けた改善策	・フラワーポールを含めた緑化施設の更新、増設を行っていく。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	1

所属	都市整備部 公共交通課
----	-------------

実施計画事業名		大阪モノレール計画事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		大阪モノレールの早期南伸について、大阪府等の関係機関と協議を行い、事業化を働きかけるとともに、事業化決定後は駅周辺の整備等を進める。							
指標①	事業の進捗状況				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	事業化の決定	整備	整備	A	目標②				
実績①	事業化の決定	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 野田市長と松井大阪府知事のトップ会談により、大阪モノレールの南伸について、費用負担の大枠を含めて大筋で合意した。また、まちづくりについて、大阪府および関係市と合同で「大阪モノレール延伸部沿線活性化検討連絡会」を設置し、今後のまちづくりについての方針を策定した。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府と費用負担について覚書等を締結し、本市の負担について明らかにする。また、本市の負担軽減につながる補助金等が活用できるような取り組みを検討していく。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府とも連携し、国の補助金等が最大限活用できるような取り組みを検討していく。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	1

所属	都市整備部 公共交通課
----	-------------

実施計画事業名		大阪外環状線新駅設置事業				平成27年度 目標達成度		C	
事業概要		JR おおさか東線のJR 長瀬駅から新加美駅の間に新駅を設置する。							
指標①	事業進捗率				指標②				
指標の説明・計算式	執行した事業費の累計 / 全体事業費 × 100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	40%	70%	100%	C	目標②				
実績①	24%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・新駅の用地買収が完了し、駅舎の工事に着手した。								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・特になし								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	1

所属	都市整備部 公共交通課
----	-------------

実施計画事業名		大阪外環状線鉄道事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		広域鉄道ネットワークの形成による利便性の向上と交通混雑の緩和を図り、活気あふれる東部大阪のまちづくりをめざすため、JR おおさか東線の新大阪駅までの建設を促進する。							
指標①	事業進捗率				指標②				
指標の説明・計算式	執行した事業費の累計 / 全体事業費 × 100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	76%	86%	98%	A	目標②				
実績①	76%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・平成31年に放出～新大阪間の開業を目指し、線路の複線化や橋梁の工事などを実施した。								
改善すべき点	・事業費の縮減								
平成28年度に向けた改善策	・大阪外環状鉄道株式会社の出資者間で、事業費縮減に関する協議を継続的に実施する。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	1

所属	都市整備部 公共交通課
----	-------------

実施計画事業名		公共交通等の移手段の調査検討				平成27年度 目標達成度		D	
事業概要		公共交通事業者と共に利便性の向上等による利用促進策について調査・検討し、市民の移手段の確保・充実に努める。							
指標①	交通手段確保検討委員会の開催回数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	1回	1回	1回	D	目標②				
実績①	0回	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・バス事業者に対し新路線の導入について、意向調査を行うなど、情報収集に努めた。								
改善すべき点	・バス事業者から入手できる情報が限定的であり、継続して関係性を構築することによって、事業者と一緒に市民の利便性向上による公共交通の利用促進策を検討していく必要がある。								
平成28年度に向けた改善策	・事業者が一堂に会する場の設定が難しいようであれば、個別に訪問することで、事業目的の達成を目指す。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	29	2

所属	都市整備部 公園管理課
----	-------------

実施計画事業名		公園緑化推進事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		公園の緑化推進を図るため、公園愛護会や自治会と協議しつつ、各公園の状況に応じた高木や花木の植栽を行う。							
指標①	植栽本数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	500本	500本	500本	A	目標②				
実績①	2,520本	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・荒川公園キンモクセイ4本、シャリンバイ2本、栄町北児童遊園ヒラドツツジ100本、花園東町公園ハナミズキ1本、花園中央公園ヒラドツツジ1500本、サツキツツジ250本、岩田東公園ハナミズキ3本、東石切公園アジサイ100本、日下ほたる公園ヒラドツツジ90本、衣摺公園ソメイヨシノ1本、サンゴジュ1本、今米公園ウメ3本、日下公園ハナミズキ1本、ヒラドツツジ235本、菱江北公園ヒラドツツジ150本、善根寺公園ヒイラギナンテン79本を12月～3月に植栽した。								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・特になし								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	29	2

所属	都市整備部 公園整備課
----	-------------

実施計画事業名	公園整備事業				平成27年度 目標達成度	A			
事業概要	子どもや高齢者が日常的に利用できる街区公園・近隣公園やスポーツ・レクリエーションを楽しめ防災機能をあわせ持つ総合公園である花園中央公園などを、すべての人が安全で利用しやすく、避難地としての役割をも考慮した公園として整備する。 ・花園中央公園整備事業 ・花園中央公園RWC 関連整備事業 ・花園中央公園用地先行取得事業 ・布施公園・善根寺公園・新池島南公園整備事業 ・都市公園バリアフリー化事業 ・都市公園長寿命化対策支援事業								
指標①	公園の開設率				指標②	/			
指標の説明・計算式	都市公園開設面積/都市公園計画面積 × 100				指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	76.83%	76.83%	76.83%	A	目標②	/	/	/	/
実績①	76.83%	-	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成27年度)	・花園中央公園整備事業・花園中央公園RWC 関連整備事業 用地買収 ・善根寺公園整備事業 整備工事 ・都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業(都市公園バリアフリー化事業) 東楠風荘公園・衣摺公園・実施設計								
改善すべき点	・花園中央公園の用地買収は大阪枚岡奈良線沿いを先行し、その後南側住宅地に着手する予定であるが、公園整備の完成には相当の費用と期間が必要である。また、ラビー用地についても多額の費用を要する。 ・小学校区に最低1都市計画公園の開設を目指しており、早期に整備する必要があるが、公園整備における用地取得には多大な費用が要する。								
平成28年度に向けた改善策	・花園中央公園は引き続き用地買収事業を進め、より一層の国費要望に努める。 ・開設された都市計画公園の無い小学校区については、国の交付金制度を模索しながら整備を進めていく。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	2

所属	土木部 道路管理室
----	-----------

実施計画事業名		放置自転車追放推進事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		歩行者などの安全と良好な景観を確保するため、啓発、指導及び駅前での放置自転車の撤去を実施する。							
指標①	駅周辺の放置自転車台数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	1,100台以下	1,100台以下	1,100台以下	A	目標②				
実績①	777台	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・駅周辺の放置自転車を減らし良好な生活環境の形成を図るため、放置禁止区域内に放置されている自転車等の撤去を実施した。								
改善すべき点	・啓発・指導活動の強化により、放置自転車のさらなる減少を図る。								
平成28年度に向けた改善策	・現在の施策を継続して実施し、目標達成の継続を目指す。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	3

所属	土木部 道路管理室
----	-----------

実施計画事業名					自転車マナー向上等啓発事業					平成27年度 目標達成度	A
事業概要					警察などの関係機関や市民との協働により「自転車マナーデー」等の啓発活動を実施し、交通ルールの遵守とマナーの向上を図る。						
指標①	「自転車マナーデー」の街頭キャンペーン実施回数				指標②	/					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
					H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28
目標①	36回以上	36回以上	36回以上	A	目標②	/					
実績①	46回	-	-		実績②						
事業実績 (平成27年度)	・「自転車マナーデー」の街頭キャンペーンを46回実施した。										
改善すべき点	・キャンペーン実施場所の拡大										
平成28年度に向けた改善策	・28年度は若江岩田・東花園・JR鴻池新田を追加予定										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	3

所属	土木部 道路管理室
----	-----------

実施計画事業名		違法駐車等防止事業				平成27年度 目標達成度		B	
事業概要		「東大阪市違法駐車等の防止に関する条例」に基づき、重点区域である布施駅周辺を中心に、違法駐車等防止のための助言・啓発活動を実施する。また、新都心地域である流通業務地区内道路の駐車対策を検討・実施する。							
指標①	違法駐車等の減少率(事業実施前の対平成9年度比)				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	90%以上	90%以上	90%以上	B	目標②	/			
実績①	88%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・布施駅周辺における違法駐車等を減らして安全・快適な生活環境につなげるため、違法駐車等の防止とその啓発の活動を実施し、違法駐車等の減少効果を維持した。								
改善すべき点	・啓発活動の周知により、効果の向上を図る。								
平成28年度に向けた改善策	・引き続き効率的な活動効果が上がるよう工夫する。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	3

所属	土木部 道路管理室
----	-----------

実施計画事業名	交通安全運動推進事業					平成27年度 目標達成度	A		
事業概要	市民の交通安全意識の高揚を図るため、「自転車マナーデー」を中心に、啓発運動に取り組む。特に、交通事故の原因となる迷惑駐車の追放や、幼稚園児・小中学生、高齢者に対する交通安全指導等を関係機関とも連携して実施する。								
指標①	交通事故発生件数				指標②	/			
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	2,600件以下	2,600件以下	2,600件以下	A	目標②	/	/	/	/
実績①	2,479件	-	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成27年度)	<p>・学校関係合計167回(幼稚園及び保育所48回、小学校101回、中学校等18回)の交通安全教室を実施した。このうち中学校3校及び日新高校においてスケアード・ストレート方式(スタントマンによる交通事故疑似体験)を取り入れることで内容の充実を図り、交通安全意識の向上とともに交通事故件数減少の結果を得た。</p>								
改善すべき点	<p>・スケアード・ストレート方式(スタントマンによる交通事故疑似体験)による交通安全教室を、より多く近隣住民にも周知することにより、効果的な啓発が図れるよう工夫したい。</p>								
平成28年度に向けた改善策	<p>・スケアード・ストレート方式による交通安全教室を確実に実施してその周知を図り、市民の交通安全意識の一層の向上につなげたい。</p>								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	28	3

所属	土木部 道路管理室
----	-----------

実施計画事業名		違法屋外広告物除却事業				平成27年度 目標達成度		D	
事業概要		違法簡易屋外広告物の除却を地域団体等に委任し、市民と共にきれいなまちづくりをめざす。							
指標①	違法屋外広告物追放クリーン作戦の参加団体数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	25団体	25団体	25団体	D	目標②	/			
実績①	0団体	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・雨天により違法屋外広告物追放クリーン作戦は中止となる。								
改善すべき点	・平成27年度より違法簡易屋外広告物追放推進団体に加え、地域緑化団体も移管され推進団体制度の見直しが必要。								
平成28年度に向けた改善策	・改善すべき点を踏まえ、両団体制度を統合し、新たに「ミチボラパートナーシップ事業」として再編する。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	29	2

所属	土木部 道路建設室
----	-----------

実施計画事業名		玉串川跡地他道路整備事業				平成27年度 目標達成度		B	
事業概要		玉串川跡地等の農業用水路跡地について、地元自治会等と連携し、歩行者等の安全なアクセス路の確保を目的とした遊歩道整備をめざす。							
指標①	遊歩道整備進捗率				指標②	/			
指標の説明・計算式	整備延長/計画延長 × 100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	85%	91%	100%	B	目標②	/			
実績①	78%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・遊歩道を整備するため、玉串川跡地において、境界確定明示を延長80m実施した。								
改善すべき点	・隣接地権者及び近隣住民に遊歩道整備に関するご理解をいただく必要がある。								
平成28年度に向けた改善策	・隣接地権者及び近隣住民にご理解をいただけるよう地元自治会と協力し事業の進捗を図る。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	2

所属	土木部 道路建設室
----	-----------

実施計画事業名	市内一円道路改良事業				平成27年度 目標達成度	A			
事業概要	市が管理する道路の整備・改良を行う事で、交通の安全と円滑化や、市民生活の利便性・安全性・快適性の向上を図る。								
指標①	整備進捗率				指標②				
指標の説明・計算式	整備延長/年度別計画延長 × 100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	100%	100%	100%	A	目標②	/	/	/	/
実績①	100%	-	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成27年度)	・市が管理する道路のうち延長210mの道路改良工事を実施した。								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・特になし								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	2

所属	土木部 道路建設室
----	-----------

実施計画事業名		橋梁修繕補強事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		橋梁長寿命化修繕計画に基づき計画的に橋梁の修繕工事を実施するとともに、重要な橋梁について順次耐震補強を実施し、安全で安心な道路環境の確保を図る。							
指標①	整備進捗率				指標②	/			
指標の説明・計算式	整備橋梁数/年度別計画橋梁数 × 100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	100%	100%	100%	A	目標②	/	/	/	/
実績①	117%	-	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成27年度)	・橋梁長寿命化修繕計画に位置付けられた重要な橋梁のうち7橋の修繕補強工事を実施した。								
改善すべき点	・市内に架かる橋梁の多くは老朽化し修繕工事が必要であるが、実施に必要な財源確保が最大の課題となっている。								
平成28年度に向けた改善策	・国からの交付金を確保できるよう引き続き要望を実施していく。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	2

所属	土木部 道路建設室
----	-----------

実施計画事業名		東花園駅前広場及び周辺道路整備事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		「ラグビーワールドカップ2019」花園ラグビー場への誘致・開催に向けて、近鉄東花園駅から花園中央公園までのアクセスルートの再整備を図る。							
指標①	進捗率				指標②	/			
指標の説明・計算式	整備済み延長/計画整備総延長 × 100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	詳細設計	59%	100%	A	目標②	/	/	/	/
実績①	詳細設計	-	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成27年度)	・東花園駅前広場及び周辺道路の再整備に必要な詳細設計を実施した。								
改善すべき点	・ラグビーワールドカップ2019の開催にむけた工期と財源確保が課題となっている。								
平成28年度に向けた改善策	・関係部署との連携や工法の検討によりコスト縮減を図る。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	2

所属	土木部 道路建設室
----	-----------

実施計画事業名					幹線道路舗装修繕事業					平成27年度 目標達成度	D
事業概要					市が管理する幹線道路の舗装改修費用の縮減や平準化を図るため、幹線道路舗装修繕計画に基づき、舗装改修を実施することで、交通の円滑化・安全確保を図る。						
指標①	進捗率				指標②	/					
指標の説明・計算式	実施済施工延長/計画施工延長 × 100				指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	30%	60%	100%	D	目標②	/					
実績①	8%	-	-		実績②						
事業実績 (平成27年度)	・幹線道路舗装修繕計画に位置付けられた路線において、延長で約1.3kmの舗装修繕工事を実施した。										
改善すべき点	・市内には未だ多くの区間で修繕が必要であるが、実施に必要な財源確保が最大の課題となっている。										
平成28年度に向けた改善策	・国からの交付金を確保できるよう引き続き要望を実施していく。										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	3

所属	土木部 道路建設室
----	-----------

実施計画事業名					交通安全施設維持補修事業					平成27年度 目標達成度	A
事業概要					道路照明灯や道路反射鏡などの交通安全施設の維持補修を実施し、安全な道路環境の維持を図る。						
指標①	実施率				指標②						
指標の説明・計算式	執行予算額/当初予算額×100				指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	100%	100%	100%	A	目標②						
実績①	100%	-	-		実績②						
事業実績 (平成27年度)	・道路照明灯の管球交換等を実施した。										
改善すべき点	・交通安全対策として増加する施設について効率的な維持管理が必要である。										
平成28年度に向けた改善策	・本事業を維持管理部局に移管し、道路附属構造物の維持を一元管理することにより、効率的な維持管理を図る。										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	3

所属	土木部 道路建設室
----	-----------

実施計画事業名		交通安全施設整備事業(交通安全特別交付金)				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		交通事故の危険性が高い交差点等を中心に道路反射鏡などの交通安全施設を新たに整備するほか、道路施設のバリアフリー化の工事を行い、安全で円滑な道路の整備を図る。							
指標①	市内で発生した交通事故における人身事故件数の対前年度比				指標②	/			
指標の説明・計算式	今年度人身事故件数/前年度人身事故件数				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	1以下	1以下	1以下	A	目標②	/	/	/	/
実績①	0.92	-	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成27年度)	・道路照明灯や道路反射鏡等の交通安全施設の設置や歩道端部の段差解消等のバリアフリー化の工事を実施した。								
改善すべき点	・既存の交通安全施設の更新や補修に事業費を充てる必要があり、新規の安全対策やバリアフリー化の進捗が図れない。								
平成28年度に向けた改善策	・費用対効果の高い対策を優先的に実施し、事業費内での効率的な安全対策の実施を図る。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	3

所属	土木部 道路建設室
----	-----------

実施計画事業名		JR徳庵駅東側エレベーター設置事業指				平成27年度 目標達成度		D	
事業概要		JR 徳庵駅は橋上駅であり、駅東側の連絡通路は跨線橋の階段となっていることから、エレベーター設置により、すべての人が安心・安全で円滑に移動することが出来るようバリアフリー化を図る。							
指標①	進捗率				指標②				
指標の説明・計算式	実施済み事業費/全体計画事業費×100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	9%	18%	100%	D	目標②				
実績①	0%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・エレベータの設置に向け、地元自治会と支障物件の移転について協議を実施した。								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・地元自治会と引き続き協議を実施する。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	3

所属	土木部 道路建設室
----	-----------

実施計画事業名					歩道設置事業					平成27年度 目標達成度	A
事業概要					交通量が多い危険な道路などを中心に歩道等の整備を実施することで、安全な歩行空間の確保を図る。						
指標①	整備率				指標②						
指標の説明・計算式	実施路線/計画路線 × 100				指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	50%	設計	100%	A	目標②						
実績①	50%	-	-		実績②						
事業実績 (平成27年度)	・通学路の安全対策として歩道を設置し歩車道の分離を実施した。										
改善すべき点	・歩道設置や柵等による歩車道分離は物理的な安全対策として非常に有効であるが、効果的な整備には一定の道路幅員と道路延長が必要となる。										
平成28年度に向けた改善策	・歩道設置が困難な路線や効果が発揮しづらい箇所については、公安委員会による規制や通学路の変更等の別途安全対策を検討するよう協議する。										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	3

所属	土木部 道路建設室
----	-----------

実施計画事業名					横断歩道橋整備事業					平成27年度 目標達成度	A
事業概要					老朽化した既設横断歩道橋の点検・調査により損傷状況等を把握し、計画的に修繕工事を実施することで、構造物の長寿命化と利用者の安全確保を図る。						
指標①	整備率				指標②						
指標の説明・計算式	年度実施数／年度計画橋数×100				指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	調査	点検	100%	A	目標②						
実績①	調査	-	-		実績②						
事業実績 (平成27年度)	・土木部が管理する横断歩道橋の設置年や補修履歴の調査を実施した。										
改善すべき点	・横断歩道橋は、道路等を跨ぐ構造物であり、老朽化による第三者被害等の発生が懸念されることから、定期点検等の適切な管理と計画的な修繕を実施する必要がある。										
平成28年度に向けた改善策	・市内の道路法認定橋りょうと併せて定期点検を実施し、健全性を把握し、今後の修繕について検討する。										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	3

所属	土木部 道路建設室
----	-----------

実施計画事業名		庁舎周辺道路照明灯改良事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		庁舎周辺道路に設置された特殊照明灯を一般的な道路照明灯具に改修することで、ライフサイクルコストを削減し、より効率的な道路環境の確保を図る。							
指標①	整備率				指標②	/			
指標の説明・計算式	改修完了基数 / 全体計画基数 × 100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	33%	66%	100%	A	目標②	/			
実績①	39%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・庁舎周辺道路において、道路照明灯35基の灯具交換を実施した。								
改善すべき点	・当該路線を含め市内の道路照明灯は設置年が古く老朽化しており、計画的な修繕または更新が必要である。								
平成28年度に向けた改善策	・平成28年度も灯具交換に際しては、支柱等の点検も実施し、道路照明灯の健全性を把握するとともに、修繕が必要な案件については、関係部署と連携できるよう調整し、道路照明灯の延命化と保全を図る。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	2

所属	土木部 街路整備室
----	-----------

実施計画事業名		街路整備事業				平成27年度 目標達成度		B	
事業概要		鉄道利用者の利便性向上のため、駅前広場を整備する。 また、交通渋滞の緩和や市域の活性化のため、計画的な 都市計画道路の整備を図る。							
指標①	実施中事業の進捗率				指標②	/			
指標の 説明・計算式	整備実績事業費/計画整備事業費×100				指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	75%	79%	82%	B	目標②	/	/	/	/
実績①	73%	-	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成27年度)	・都市計画道路足代荒川線、小阪稲田線と都市計画交通広場衣摺駅前交通広場の用地買収を実施した。								
改善すべき点	・国からの交付金の配分が非常に厳しい状況で有るため事業費の確保と事業区域内の各権利者の理解・協力が 必要である。								
平成28年度に向 けた改善策	・事業費の確保については、昨年度に引き続き公共用地先行取得事業特別会計を活用する。 ・事業区域内の各権利者の理解・協力のもと早期に用地買収が出来るように努める。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	1

所属	土木部 街路整備室
----	-----------

実施計画事業名	大阪外環状線連続立体交差事業	平成27年度 目標達成度	D
事業概要	JR おおさか東線のJR 俊徳道駅～大阪市域の区間で、踏切による交通渋滞の解消や事故防止、分断された地域の一体的な整備と活性化のため、大阪府より委託を受け用地取得や関連側道の整備などを行う。		

指標①	側道整備率	指標②							
指標の説明・計算式	整備済延長/全整備必要延長 × 100	指標の説明・計算式							
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	90%	100%	—	D	目標②				
実績①	84.8%	—	—		実績②				

事業実績 (平成27年度)	・用地買収等が完成しなかったため整備が出来なかった。
------------------	----------------------------

改善すべき点	・用地取得を早急に進めて行く。
--------	-----------------

平成28年度に向けた改善策	・用地の確保に努め、整備を進めて行く。
---------------	---------------------

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	1

所属	土木部 街路整備室
----	-----------

実施計画事業名	近鉄奈良線連続立体交差事業			平成27年度 目標達成度	D
事業概要	大阪中央環状線～大阪外環状線の区間の近鉄奈良線の高架事業に伴い、大阪府より委託を受け用地取得や関連側道の整備などを行う。				

指標①	用地取得進捗率				指標②				
指標の説明・計算式	累計用地取得面積/全用地取得必要面積 × 100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	97%	100%	100%	D	目標②				
実績①	96%	-	-		実績②				

事業実績 (平成27年度)	・鉄道工事は国からの交付金の配分が非常に厳しい中、事業費の一定の確保が出来たものの、側道の用地費については国からの交付金の配分が厳しく進捗しなかった。
------------------	---

改善すべき点	・事業費の配分が厳しかったことから、事業費の確保と用地買収に関する権利者への理解が必要である。
--------	---

平成28年度に向けた改善策	・今年度は事業費の確保に努め、用地買収に関する権利者への理解を求め、用地買収を進めて行く。
---------------	---

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	2

所属	土木部 街路整備室
----	-----------

実施計画事業名	街路整備事業(大阪瓢箪山線・八尾枚方線)	平成27年度 目標達成度	B
事業概要	近鉄奈良線連続立体交差業の関連事業として、事業主体である大阪府より委託を受け、関連道路の整備を促進する。		

指標①	用地取得進捗率	指標②	/						
指標の説明・計算式	累計用地取得面積/全用地取得必要面積×100【近鉄用地を除く】	指標の説明・計算式							
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	100%	—	—	B	目標②	/			
実績①	99.9%	—	—		実績②				

事業実績 (平成27年度)	・大阪瓢箪山線の八尾枚方線以東について、平成27年度から工事が開始された(府施行)が国からの交付金の配布が厳しかった事等により用地買収は進歩しなかった。
------------------	--

改善すべき点	・事業費の配分が厳しかったことから、事業費の確保と用地買収に関する権利者への理解が必要である。
--------	---

平成28年度に向けた改善策	・今年度も国からの交付金の配分が非常に厳しい状況にあるが、大阪中央環状線から都市計画道路加納玉串線までの区間と大阪中央環状線との交差点改良については、ラグビーワールドカップまでに間に合わせる必要が有るため、大阪府に対し、強く働きかけるとともに、用地買収も、用地買収に関する権利者への理解を求め進めて行く。
---------------	--

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	23	4

所属	土木部 河川課
----	---------

実施計画事業名		六郷水路改修事業				平成27年度 目標達成度		-	
事業概要		農業用水路の機能の回復と、浸水被害の防止のため、農業用水路を改修する。							
指標①	水路整備延長(六郷水路1,800m)				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	-	調査	10%	-	目標②	/			
実績①	-	-	-	-	実績②				
事業実績 (平成27年度)	・実績なし								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・特になし								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	5

所属	土木部 河川課
----	---------

実施計画事業名	都市基盤河川改修事業(大川)	平成27年度 目標達成度	A
事業概要	河川改修を進め、治水対策の充実を図る。		

指標①	整備延長	指標②	用地買収
指標の 説明・計算式	整備延長÷総延長1,740m×100	指標の 説明・計算式	用地買収面積÷必要面積15,369 m ² ×100

	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	57%	57%	66%	A	目標②	61%	65%	65%	A
実績①	57%	-	-		実績②	70%	-	-	

事業実績 (平成27年度)	・都市基盤河川改修事業(大川) 用地買収面積1,128.34m ² 、物件補償4件
------------------	---

改善すべき点	・特になし
--------	-------

平成28年度に向けた改善策	・地価の下落等により買収交渉が難航するため、所有者との交渉回数を増やし成立を図る。
---------------	---

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	5

所属	土木部 河川課
----	---------

実施計画事業名		貯留浸透事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		第二寝屋川以東において、浸水被害の生じる可能性のある地域の小学校で、校庭貯留による治水対策を行う。							
指標①	整備校数(累計)				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	11校	-	-	A	目標②	/			
実績①	11校	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・北宮小学校、成和小学校の整備工事を実施した。								
改善すべき点	・夏休み期間中の工事完成に努める。								
平成28年度に向けた改善策	・夏休み期間中の工事完成に努める。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	30	1

所属	建築部 住宅政策室
----	-----------

実施計画事業名		市営住宅整備事業				平成27年度 目標達成度		B	
事業概要		老朽化した市営住宅について、東大阪市公営住宅等長寿命化計画に基づき、集約建替え等により安全性を確保する。							
指標①	市営住宅戸数に占める耐火住宅の割合				指標②				
指標の説明・計算式	(耐火住宅 / 市営住宅戸数 × 100)				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	85.1%	86.8%	87.4%	B	目標②				
実績①	83.0%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・木造市営住宅である高井田2. 3住宅の除却を行った。 ・木造市営住宅である高井田6. 7. 母子住宅の除却を行った。 ・木造市営住宅である桂川住宅の一部除却(5戸)を行った。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震性に課題がある簡易耐火住宅や耐用年限を経過した木造住宅が多数存在しており建替えを進める必要がある。 ・計画期間内において建替えとした住宅については、財政状況、地域事情や入居者の状況等を踏まえながら、計画的な建替えを推進する。建替えの際に余剰戸数が発生した場合には、その他の老朽化した市営住宅に居住している世帯を優先的に移転させるなど、住み替えを支援する。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・市営高井田ブロック住宅の売却を行う。 ・市営意岐部住宅の売却を行う。 ・上小阪東住宅建替事業にあたり、PFIアドバイザー業務及びPFI事業者の選定を行う。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	30	3

所属	建築部 住宅政策室
----	-----------

実施計画事業名		密集住宅市街地総合整備事業				平成27年度 目標達成度		B	
事業概要		老朽木造賃貸住宅が密集している若江・岩田・瓜生堂地区において、建物の不燃化による防災性の向上をめざし、防災道路の整備を行うことで、安全・快適なまちづくりを確保する。							
指標①	防災道路買収面積率				指標②	/			
指標の説明・計算式	防災道路用地買収面積/事業計画買収面積 × 100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	37.95%	41.49%	59.47%	B	目標②	/			
実績①	36.99%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・防災道路買収295.53㎡及び道路整備を行った。 ・老朽木造賃貸住宅7棟48戸の除却補助を実施した。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・密集事業に基づく防災道路拡幅整備は、都市計画道路事業等の同じ事業手法ではなく任意事業のため、地権者への地道な協力依頼が必要である。 ・防災道路拡幅路線において建替を実施直前に把握するケースがあり、今後、事前把握の為に、地権者等との接触及び関係部局との連携の強化が必要である。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・防災道路整備を推進するため、地権者へ引き続き協力依頼を行っていく。 ・建築指導室との連携を図ることにより、建替計画の事前把握を行う。 ・老朽木造賃貸住宅除却補助要綱を活用し、老朽木造賃貸住宅の削減を推進していく。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	30	1

所属	建築部 住宅改良室
----	-----------

実施計画事業名		住宅改良事業				平成27年度 目標達成度		C	
事業概要		老朽化した市営住宅について、東大阪市公営住宅等長寿命化計画に基づき、集約建替え等により安全性を確保する。							
指標①	空家一般補修戸数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	72戸	72戸	72戸	C	目標②				
実績①	52戸	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・空家一般補修戸数 北蛇草地区26戸 荒本26戸								
改善すべき点	・経年年数が増えていくため、整備項目が多くなりコストが高まっている。								
平成28年度に向けた改善策	・整備項目を精査し、コスト削減につなげていきたい。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	30	3

所属	建築部 住宅改良室
----	-----------

実施計画事業名		まちづくり基本構想推進事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		平成16年3月に策定された長瀬、荒本地域まちづくり基本構想に基づき、地元が主体となってまちづくりを推進する。							
指標①	まちづくり推進会議及びワークショップ実行委員会開催回数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	15回	15回	15回	A	目標②	/			
実績①	15回	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 北蛇草住宅A棟、荒本住宅A棟の空家を埋めるべく、2期目以降の移転対象者に移転を促進させた。 2期目建替え予定地の住棟の解体工事を行った。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> A棟の空き住戸を埋めるよう推進して行かなければならない。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 地元意見を取り入れつつ、2期目の住棟の設計を行う。 								

【様式1】

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	建築部 建築営繕室
----	-----------

実施計画事業名		小中学校耐震化事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		地震時において児童・生徒の安全を図る為、災害時の避難所に指定されている小・中学校の校舎の耐震補強工事や建替棟工事によって施設の耐震性を確保する。							
指標①	耐震化率				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	100%	-	-	A	目標②	/			
実績①	100%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・小学校21校、中学校8校の耐震補強工事を完了。								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に 向けた改善策	・特になし								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	4

所属	建築部 建築営繕室
----	-----------

実施計画事業名		市有建築物の計画的な耐震化促進								平成27年度 目標達成度	A
事業概要		東大阪市市有建築物耐震化整備計画に基づき、計画的に耐震化を促進する。									
指標①	防災関連施設の耐震化率(H27まで)と特定建築物の耐震化棟数(H28以降)				指標②						
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	100%	6棟	3棟	A	目標②						
実績①	100%	-	-		実績②						
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・足代・若江・中新開消防出張所の耐震補強工事実施 (東大阪市市有建築物耐震化整備計画に定められた防災関連施設の耐震化完了) 										
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度末に目標通り防災関連施設の耐震化100%を達成した後の市有建築物耐震化の目標設定 										
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・東大阪市市有建築物耐震化整備計画の見直しを行うとともに、特定建築物の耐震化の推進を図る 										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	30	2

所属	建築部 指導観察課
----	-----------

実施計画事業名		震災対策推進事業				平成27年度 目標達成度		C	
事業概要		市民の生命と財産を保護するため、住宅・建築物の耐震診断、改修を計画的かつ総合的に推進する。							
指標①	耐震改修補助制度を活用した住宅の戸数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	35戸	35戸	35戸	C	目標②				
実績①	22戸	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<p>・平成27年度は全戸回覧を4回行い、平成22年度から継続の最大100万円の設計・改修補助を継続した結果、実績は、木造住宅の耐震診断補助及び耐震診断員派遣は合計130戸、耐震改修設計補助は19戸、耐震改修工事補助は22戸となった。また、平成27年度より新規事業として木造住宅の除却工事補助を創設し、耐震化へ向けての選択肢の幅を広げ、実績は18戸となった。市政だよりの特集記事の掲載や全戸回覧、また市役所や各自治会に訪問しての耐震診断・改修セミナー等の周知・啓発活動を行った。</p>								
改善すべき点	<p>・木造住宅の耐震診断補助及び耐震診断員派遣の実績が合計130戸と前年度(212戸)を大きく下回った。</p>								
平成28年度に向けた改善策	<p>・昭和56年以前に建築された木造住宅の所有者や、それらが多く集まっている地域に絞った周知・啓発を行う。</p>								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	3

所属	消防局 総務課
----	---------

実施計画事業名		消防署建替事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		老朽化が進む西消防署庁舎の現地建替えを行い、本市西地区の防災活動拠点としての機能の回復向上を図り、大規模震災などの有事に備える。							
指標①	整備の進捗状況				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	施工	施工	完了	A	目標②				
実績①	施工	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・庁舎の一部(南棟)が完成し、運用を開始した。								
改善すべき点	・引き続き、計画通りに事業を進めていく。								
平成28年度に向けた改善策	・引き続き、計画通りに事業を進めていく。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	3

所属	消防局 総務課
----	---------

実施計画事業名		消防団屯所整備事業				平成27年度 目標達成度		C	
事業概要		地域防災力として重要な役割を担っている消防団員の活動拠点である消防団屯所のうち、老朽化している布市、出雲井の屯所を整備する。							
指標①	整備の進捗状況				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	施工・完了	-	-	C	目標②				
実績①	1ヶ所	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・3分団3号車屯所の建設工事を実施し、屯所1ヶ所が完成した。								
改善すべき点	・建築を予定していた1分団3号車の建設工事については、工事着手後、多数の要望が寄せられたことから工事を一時中断し、地元自治会や関係部局による協議に相当な期間を要したため着工できなかった。								
平成28年度に向けた改善策	・1分団3号車の屯所整備については、早期に再開できるように地元自治会へ丁寧に説明し、協力を得る。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	3

所属	消防局 総務課
----	---------

実施計画事業名		消防団車両整備事業				平成27年度 目標達成度		-	
事業概要		地域防災力として重要な役割を担っている消防団員の現場活動車両について、その性能を維持向上するため、更新・整備する。							
指標①	整備台数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	-	2台	2台	-	目標②	/			
実績①	-	-	-	-	実績②				
事業実績 (平成27年度)	・平成27年度の更新車両は無し。								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・耐用年数を考慮しながら計画を再考し、更新整備していく。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	3

所属	消防局 人事教養課
----	-----------

実施計画事業名		救急救命士養成・高度化事業								平成27年度 目標達成度	A
事業概要		高度化する救急需要に対応するため、高度な知識と技術をもった救急救命士を計画的に養成する。									
指標①	救急救命士養成者数				指標②	高度医療(気管挿管)行為認定救命士養成者数					
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/					
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	6名	3名	2名	B	目標②	6名	6名	6名	A		
実績①	5名	-	-		実績②	6名	-	-			
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ①救急救命士養成計画者数 6名 養成者数5名 【内訳】 大阪市消防局高度専門教育センター 3名 救急救命東京研修所 2名 ②気管挿管病院実習派遣者数 6名(契約病院等に派遣) 										
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士を対象とする医療処置行為の断続的な範囲拡大に伴い、高度な救急処置を実施できる認定救命士を充実させる必要があるが、契約病院等での気管挿管(ビデオ喉頭鏡)病院実習及び救急救命士の処置拡大2行為追加講習への計画的な派遣が必要である。 ・救急救命士養成候補者についても、学習状況の確認及び継続した教育等が必要である。 										
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・高度な救急処置が実施できる認定救命士を充実させるため、必要とされる講習、実習等の実施と合わせて両認定救命士の効果的な配置を図る。 ・今後の世代交代を見据えた新規救命士の養成はもとより、救急資格者の技術向上を図るとともに、継続的な育成を行う。 										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	3

所属	消防局 警備課
----	---------

実施計画事業名		消防車両整備事業				平成27年度 目標達成度		D	
事業概要		火災、救急救助、化学災害、自然災害などの事案に対応するため、各種の消防車両について、計画的に車両を導入・更新整備する。							
指標①	整備台数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	15台	16台	14台	D	目標②				
実績①	7台	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対応特殊消防ポンプ自動車 2台更新 東消防署 布市出張所／西消防署 長堂分署 ・広報車 1台更新 中消防署 本署 ・原動機付自転車 3台更新 東消防署 本署／中消防署 本署／西消防署 本署 ・はしご付消防自動車(15m級)オーバーホール 1台実施 中消防署 北部分署 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・耐用年数を経過した車両が多く、車両の老朽化により災害活動に支障をきたす恐れがあるため、早急に車両更新が必要である。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでと同様に耐用年数を考慮し、更新整備していく。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	3

所属	消防局 警備課
----	---------

実施計画事業名		呼吸器整備事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		消火活動、救助活動に際し、濃煙、熱気などから隊員の生命を守る空気呼吸器を更新・整備する。							
指標①	空気呼吸器本体更新数				指標②	ボンベ(7ℓ)更新数			
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	71基	-	-	A	目標②	167本	-	-	A
実績①	71基	-	-		実績②	167本	-	-	
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・空気呼吸器 本体 71基整備 ・空気ボンベ 29.4Mpa 7ℓ 167本整備 計画通りに事業を実施し整備完了した。								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・特になし								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	3

所属	消防局 警備課
----	---------

実施計画事業名		小型動力ポンプ・林野火災用可搬ポンプ整備事業								平成27年度 目標達成度	C
事業概要		建物倒壊による道路網の寸断により消防車両の通行に支障をきたした場合に備え、小型動力ポンプを計画的に更新・整備するとともに、林野火災に備え、老朽化の進む林野火災用可搬ポンプについても同様に更新・整備する。									
指標①	小型動力ポンプ更新数				指標②	林野火災ポンプ更新数					
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/					
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	5台	5台	5台	D	目標②	2台	2台	1台	C		
実績①	0台	-	-		実績②	1台	-	-			
事業実績 (平成27年度)	・林野火災用可搬ポンプ 1台整備 東消防署 四条分署										
改善すべき点	・林野火災用可搬ポンプは、1台を更新、小型動力ポンプにあっては更新できず、老朽化により、維持管理が困難で、修繕を繰り返しながら維持してきたが、幸い、平成27年度は大規模な災害等の発生はなかった。										
平成28年度に向けた改善策	・ポンプの老朽化、部品提供の終了に伴い修理が困難となり、災害活動に支障をきたす恐れがあるため、早急な更新が必要である。										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	3

所属	消防局 警備課
----	---------

実施計画事業名		高規格救急車整備事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		増え続ける救急需要に対応するため、高規格救急車を計画的に更新・整備する。							
指標①	整備台数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	2台	2台	1台	A	目標②				
実績①	2台	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 高規格救急自動車 2台更新 東消防署 本署／西消防署 長堂分署 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 計画通りに事業を実施した。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> これまでと同様に更新整備していく。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	3

所属	消防局 通信指令室
----	-----------

実施計画事業名		高機能消防指令センター整備事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		近年の大規模化、多様化するさまざまな災害から市民生活の安全安心を確保するために、新たなICTの通信環境を構築した機器に更新し、消防力を強化する。							
指標①	整備の進捗状況				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	基本計画の策定	システムの構築	システムの構築	A	目標②				
実績①	策定	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・高機能消防指令センター整備事業の方向性を示すコンセプトを策定し、それに基づく整備事業の委託事業者を選定する方法(プロポーザル方式)及び同事業における要求水準書等を策定した。								
改善すべき点	・基本計画策定については、業者からの情報提供の依頼(RFI)により進めていたが、職員のみでより専門的で高度な技術情報を収集するには限界があり、専門的な見地からのアドバイスを頂ける体制づくりが必要であった。								
平成28年度に向けた改善策	・平成27年度に策定した内容に基づいた整備事業委託事業者の選定及び契約締結を行う。なお、契約後のシステム構築については、適切なスケジュール管理を行い、さまざまな災害から市民生活の安全安心を確保するために必要な本市の地域実情にあった、有益なシステムの構築を図る。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	33	1

所属	上下水道局 経営企画室
----	-------------

実施計画事業名		(仮)第四次水道施設整備事業				平成27年度 目標達成度		—	
事業概要		山間部の送配水機能の分離、平区基幹施設の耐震化、平区基幹施設連絡管路の耐震化などを行い、水道の安全性向上と安定供給を図る。							
指標①	配水池の耐震化率				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	—	41.69%	41.69%	—	目標②				
実績①	—	—	—	—	実績②				
事業実績 (平成27年度)	・実績なし								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・特になし								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	33	4

所属	上下水道局 経営企画室
----	-------------

実施計画事業名		上下水道庁舎の建設事業				平成27年度 目標達成度		D	
事業概要		上下水道庁舎の実現に向け、設計～建設を行う							
指標①	同一庁舎の実現				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	設計完了	工事完了	同一庁舎の実現	D	目標②	/			
実績①	基本設計 実施設計	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・基本設計及び実施設計は完了したが、設計業務の完了には至らなかった。								
改善すべき点	・関係機関等との協議に多大な時間を要した。								
平成28年度に向けた改善策	・基本設計及び実施設計に伴う事前調整等を十分におこない、関係機関等との協議をスムーズに進め、設計作業の完了に努める。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	33	1

所属	水道施設部 施設整備課
----	-------------

実施計画事業名		第三次水道施設整備事業								平成27年度 目標達成度	B
事業概要		山間部の送配水機能の強化を中心とする基幹施設(浄水施設、配水施設)を整備し、浄水処理の安定化、地震等災害に対する安全性の向上を図る。									
指標①	配水池の耐震化率				指標②						
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式						
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	41.69%	—	—	B	目標②						
実績①	39.13%	—	—		実績②						
事業実績 (平成27年度)	<p>・平成27年度に完成予定であった五条低区配水池更新工事は、仮設工(土留柱列杭の施工)において、想定以上の硬質地盤出現により施工が難航し、対策・工法の変更などに不測の期間を要し、平成29年度まで工事を延期となった。 平成27年度の事業実績としては変更した計画に沿って、平成29年度の完成を目指し、仮設工(土留柱列杭の施工)の工事を着実に進めた。</p> <p>配水池耐震施設率 (耐震対策の施されている配水池容量 45,845m³ / 配水池総容量 117,164m³) × 100 = 39.13%</p>										
改善すべき点	<p>・工程の遅延を出来るだけ小さくする目的で、仮設工(土留柱列杭の施工)である柱列壁工の一部を施工速度の速い鋼矢板圧入工法へ変更した。</p>										
平成28年度に向けた改善策	<p>・変更した計画に沿って着実に工事を進めていく。</p>										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	5

所属	下水道部 下水道計画総務室
----	---------------

実施計画事業名					雨水増補管事業					平成27年度 目標達成度	A
事業概要					既設の下水管で流しきれない雨水に対応するための雨水増補管を整備し、浸水被害を軽減する。						
指標①	雨水増補管整備率				指標②	/					
指標の説明・計算式	整備率(整備延長/計画延長×100)				指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	88.7%	89.1%	89.4%	A	目標②	/					
実績①	89.0%	-	-		実績②						
事業実績 (平成27年度)	・新大蓮幹線(渋川町4丁目他) 【平成27年度末延長】 24,237m										
改善すべき点	・増補管事業は大規模工事となる為、設計・積算に非常に時間を要する。 また、事前調整内容の変更が生じると、設計変更にも多大な時間を要する。										
平成28年度に向けた改善策	・修正ができるだけ出ないように調整を的確に行い、早期の事業発注に努める。										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	33	1

所属	下水道部 下水道計画総務室
----	---------------

実施計画事業名		下水道施設再構築事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		老朽化した下水管やポンプ場設備の更新及び耐震化を行い、下水道施設の機能維持を図る。							
指標①	管きよ改築延長(第3次実施計画期間内累計)				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	1.9km	6.3km	9.6km	A	目標②				
実績①	2.6km	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・平成27年度下水道管きよ改築実績 管径：φ250mm～φ1,800mm 延長：約2.6km								
改善すべき点	・既設下水管内には下水が流れていること、他企業の埋設物、交通状況、取付管の状況等を把握し、経済性、施工性から工法を検討する必要がある。								
平成28年度に向けた改善策	・仮排水や、通水しながら施工できる工法の検討、他企業との調整を早期に行い、適切な工法選定を行う。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	14	4

所属	総合病院 総務課
----	----------

実施計画事業名		がん診療の充実				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		がん診療連携拠点病院として、市民向けがん予防講演会の開催等を行ってその取り組みを市民等に周知していくとともに、地域での連携を深めてがん診療を充実させる。							
指標①	市民向けがん予防講演会の開催				指標②	悪性腫瘍の手術件数			
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	年1回	年1回	年1回	A	目標②	680件	690件	700件	A
実績①	年1回	-	-		実績②	874件	-	-	
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 市民向けがん予防講演会: 当院医師による講演と看護師、管理栄養士による相談コーナーを行った。 中河内がん診療ネットワーク協議会シンポジウム: 中河内地域のがん診療ネットワークを考えるをテーマに当院医師が参加・発表・討論を行った。 								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・がん診療連携拠点病院として、緩和ケアに重点をおいた取り組みを進める。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	2	2

所属	人権教育室
----	-------

実施計画事業名		人権教育研究集会開催事業								平成27年度 目標達成度	A
事業概要		学校園・家庭・地域が連携し、豊かな人権感覚と確かな学力を育むことをめざして、人権教育研究集会開催、在日外国人教育推進事業、研究冊子・資料の作成などの各種事業を実施、支援する。									
指標①	東大阪市人権教育研究集会(全体会・分科会)の参加者数				指標②	母国語学級における、対象児童・生徒の参加率					
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/					
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	4,500人	4,500人	4,500人	B	目標②	70%	70%	70%	A		
実績①	4,191人	-	-		実績②	70%	-	-			
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育研究集会全体会(8月6日)、分科会(11月11日)を実施 ・市内29校の小・中学校に韓国・朝鮮に関する文化や歴史を学ぶ学級を設置し、活動を支援 ・在日外国人教育担当者に課題に対する研修会を実施 ・啓発資料集を作成し、全教職員へ配布 										
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育研究集会 人権の課題を自分自身に関わる問題と捉えることで、自らの行動に表れるようにすることについて追及 保護者・地域との連携を深め、地域に根付いた人権教育を展開 ・母国語学級における、対象児童・生徒の参加率 排外的な主張が大きくなる状況の中、子どもが安心して学校生活を送ることができる環境作り 全ての子どもが違いを豊かさとして捉え、多様性を尊重することができる力を育む教育のより一層の推進 										
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育研究集会 20回目を迎え、参加者にとってより有意義な研修会の運営 ・母国語学級における、対象児童・生徒の参加率 母国語学級(28校)を中心とした学校における在日外国人教育の推進 子どもが自尊感情を高めることができる環境の醸成をさらに進めるため、学習発表会などの運営に対する支援 										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	人権教育室
----	-------

実施計画事業名		いじめ防止対策推進事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		園児・児童・生徒・保護者および教職員を対象に、中学校区での研修会の開催や啓発リーフレット等を配布することで、人権感覚と人権意識を高揚させ、いじめの発生を未然に防ぐ。							
指標①	学校区いじめ問題研修会実施回数				指標②	啓発資料等を活用した学校園の割合			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	52回	52回	52回	A	目標②	100%	100%	100%	A
実績①	52回	-	-		実績②	100%	-	-	
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 学校区いじめ問題研修会実施回数 学校区において、教職員及び保護者・地域対象の研修会を2回ずつ実施 啓発資料等を活用した学校園の割合 いじめ防止啓発リーフレット、ポスターを作成し全ての学校園に配布 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 学校区いじめ問題研修会実施回数 各学校園における、年間を通じた計画的な研修会の実施 啓発資料等を活用した学校園の割合 いじめ問題に対する効果的な啓発のためのリーフレットの在り方を検討 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 学校区いじめ問題研修会実施回数 各学校園に研修計画の策定 啓発資料等を活用した学校園の割合 リーフレットの内容の精査及び、活用状況把握のための調査方法の向上 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	教育総務部 教育施設整備課
----	---------------

実施計画事業名		幼稚園施設耐震化事業				平成27年度 目標達成度		-	
事業概要		公立の就学前教育・保育施設再編整備計画(案)を踏まえ、幼稚園園舎の耐震化工事を実施する。							
指標①	耐震化実施率				指標②	/			
指標の説明・計算式	実施園数／実施予定園数×100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	-	0%	100%	-	目標②	/			
実績①	-	-	-	-	実績②				
事業実績 (平成27年度)	・特になし								
改善すべき点	・「公立の就学前教育・保育施設整備計画(平成27年5月)」に基づき、平成31年度以降も市立幼稚園として存続する6園の内、耐震性が確保されていない園舎の耐震化を進める。								
平成28年度に向けた改善策	・特になし								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	教育総務部 教育施設整備課
----	---------------

実施計画事業名					日新高校施設耐震化事業					平成27年度 目標達成度	A
事業概要					大規模地震発生時の生徒の安全を確保するため、日新高校校舎の耐震化工事を実施する。						
指標①	耐震化実施率				指標②	/					
指標の説明・計算式	実施棟数／実施予定棟数×100				指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	20%	100%	-	A	目標②	/	/	/	/		
実績①	20%	-	-		実績②	/	/	/	/		
事業実績 (平成27年度)	・耐震化の必要な4校舎の耐震補強計画策定・耐震補強工事等の実施設計業務を実施。										
改善すべき点	・特になし										
平成28年度に向けた改善策	・夏休みを中心に実施予定となっている耐震補強工事が円滑に進むよう、安全配慮はもちろんの事、学校運営への影響が最小限となるよう、関係部署と連携していく。										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	教育総務部 教育施設整備課
----	---------------

実施計画事業名		学校施設における非構造部材の耐震化事業				平成27年度 目標達成度		B	
事業概要		小中学校及び日新高校の体育館に設置された窓ガラス（非構造部材）の落下防止対策を計画的に進める。							
指標①	耐震化実施率				指標②				
指標の 説明・計算式	実施校数／実施予定校数 × 100				指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	50%	80%	100%	B	目標②				
実績①	47%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・8小学校(玉美小・長堂小・縄手小・縄手南小・玉川小・長瀬南小・意岐部東小・菱屋西小)、1中学校(意岐部中)のサッシ改修を実施。								
改善すべき点	・国庫補助の関係等から、残りの10小中学校について、平成27～28年度の繰越事業として前倒し実施できることとなった。								
平成28年度に向けた改善策	・学校運営に留意し、出来るだけ早期に整備完了するよう関係部署と連携し進めていく。								

【様式1】

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	教育総務部 教育施設整備課
----	---------------

実施計画事業名		老朽化プール改修事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		老朽化の進んだ小中学校のプール改修を進める。							
指標①	プール改修実施校数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	2校	0校	1校	A	目標②	/			
実績①	2校	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・成和小学校(平成27年度事業)・枚岡中学校(平成26年度からの繰越事業)のプール改修を実施。								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・北宮小学校のプール改修が平成28年度までの繰越事業(6月末完成予定)となっていることから、学校運営への影響が少しでも少なくなるよう、関係部署と連携し進めていく。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	教育総務部 教育施設整備課
----	---------------

実施計画事業名		学校施設安全対策等整備事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		施設の老朽化に伴い生じた小中学校の危険箇所(外部鉄骨階段、外壁など)について、その安全対策のための整備を計画的に進める。							
指標①	安全対策を実施した小中学校数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	30校	-	-	A	目標②				
実績①	31校	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校6校(八戸の里東小・藤戸小・成和小・三ノ瀬小・玉美小・菱屋西小)、中学校2校(英田中・俊徳中)の鉄骨階段等の改修を実施。 ・小学校15校(小阪小・意岐部小・枚岡東小・池島小・上四条小・長瀬東小・長瀬南小・西堤小・岩田西小・孔舎衛小・長堂小・森河内小・若江小・花園小・玉串小)、中学校5校(若江中・英田中・意岐部中・柏田中・孔舎衛中)の鉄骨階段の改修を、学校校舎耐震化事業と併せて実施。 ・小学校2校(八戸の里小・縄手北小)、中学校1校(玉川中)の外壁改修を実施。 								
改善すべき点	・【平成27年度で事業終了】								
平成28年度に向けた改善策	・【平成27年度で事業終了】								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	教育総務部 教育施設整備課
----	---------------

実施計画事業名		学校トイレ洋式化事業				平成27年度 目標達成度		B	
事業概要		老朽化が進み衛生環境が低下した小中学校トイレの改修と洋式化を計画的に進める。							
指標①	学校トイレ洋式化計画の実施率				指標②	/			
指標の 説明・計算式	実施校数／実施予定校数 × 100				指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	74.7%	100%	-	B	目標②	/			
実績①	73.3%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・小学校12校(石切小・孔舎衛小・石切東小・北宮小・英田北小・鴻池東小・玉串小・菱屋西小・楠根小・上小阪小・長瀬北小・楠根東小)、中学校8校(枚岡中・花園中・新喜多中・上小阪中・楠根中・意岐部中・高井田中・小阪中)のトイレ改修を実施。								
改善すべき点	・工事施工にあたっては、一時的に大きな振動や音が生じるため、工事期間の安全対策は言うまでもなく、学習環境確保策にも十分留意する必要がある。短期間での全校整備実施が求められているため、当該事業のさらなるスピード化を図る必要がある。								
平成28年度に向けた改善策	・当該事業のスピード化を図るとともに、次期実施計画策定においても引き続きそのスピードが維持されるよう努めてまいりたい。なお、工事施工にあたっては、学校関係者(つかう側)の意見や声を十分反映させるとともに、学校運営に支障きたすことのないよう、安全かつ円滑な施工に努力する。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	教育総務部 教育施設整備課
----	---------------

実施計画事業名					小学校の暑さ対策施設整備事業					平成27年度 目標達成度	A
事業概要					小学校施設における熱中症対策として普通教室にドライミストを整備する。						
指標①	小学校普通教室のドライミスト設置率				指標②						
指標の説明・計算式	設置教室数/設置予定教室数×100				指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	60.7%	100%	-	A	目標②						
実績①	69.5%	-	-		実績②						
事業実績 (平成27年度)	・小学校15校(縄手北小・玉美小・枚岡西小・石切小・孔舎衛東小・石切東小・成和小・北宮小・英田北小・荒川小・菱屋西小・太平寺小・楠根小・楠根東小・大蓮小)の計271普通教室にドライミストを設置。										
改善すべき点	・暑さ対策としてはエアコン空調の設置が一番効果的ではあるが、小学校の全普通教室(約800教室)への空調整備については、設置コストやランニングコスト、環境問題等も含め引き続き検証する必要がある。										
平成28年度に向けた改善策	・小学校の普通教室にドライ型ミストを設置予定(21校 267教室)										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	1

所属	教育総務部 学校給食課
----	-------------

実施計画事業名		学校給食における「食育」の推進				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		身近でつくられた農作物を紹介するとともに、学校給食に市内産、大阪府内産の食材を使用することで、児童に食の大切さや生産者への感謝の気持ちを育む。							
指標①	学校給食における大阪府内産の農作物の使用割合				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	5%	5%	5%	A	目標②	/			
実績①	7%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府内産農作物使用割合7.2% 使用量48,817kg (内訳⇒米:34,814kg 野菜:8,848kg 果物:5,155kg) ・市内産農作物使用割合5.4% 使用量36,753kg 使用品目数12品目 ・全校で19回地場産米を使用した。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・単独調理校への配送、及び学校給食の規格を満たす農作物を供給可能な生産者を増やすこと。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・JAへの協力要請及び、農政課から、配送も含め協力してくれる市内の農家及び農家グループを紹介してもらう。 								

平成27年度 事業管理報告書

重点事業

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	3

所属	学校教育部 学事課
----	-----------

実施計画事業名	地域子育て支援事業の充実	平成27年度 目標達成度	A
事業概要	子ども・子育てに関するニーズ調査に基づき、特に市民ニーズの高いとされる一時預かり事業・病児病後児保育事業・利用者支援事業(子育てサポーター)を拡充する。		

指標①	子育てサポーター配置数				指標②	一時預かり施設設置数			
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	6人	8人	10人	A	目標②	46施設	54施設	61施設	B
実績①	6人	-	-		実績②	40施設	-	-	

事業実績 (平成27年度)	<p>【子育てサポーター配置数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度は各福祉事務所に2名ずつ子育てサポーターを配置し、窓口で相談支援や情報提供を行った。また、各関係機関と連携を図り、地域に向いて適切な専門機関等へつなぐ寄り添い型の子育て支援を開始した。 <p>【一時預かり施設設置数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の公民保育施設に加え、新たに岩田保育所及び石切幼稚園で一時預かりを開始した。また、公民保育施設に、受入状況のアンケートを実施し実態把握を行った。
------------------	--

改善すべき点	<p>【子育てサポーター配置数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 配置数は目標数に達しているが、窓口での相談支援や情報提供が中心となったため、今後は地域に向いて寄り添い型の子育て支援の充実を図る必要がある。 <p>【一時預かり施設設置数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 就労型の利用が多く、リフレッシュ型のニーズには対応できていない現状があるため、受入施設の充実が必要である。
--------	---

平成28年度に向けた改善策	<p>【子育てサポーター配置数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児健診時や子育て支援センター、つどいの広場等の親子が集う場所に向き相談支援や情報提供を拡充していく。 親子のニーズに合ったきめ細やかな支援を行うため、サポーターのスキルアップを図る。 保健センターと連携し、来所相談が困難な家庭に対し、個別訪問を行い相談支援や適切な専門機関等へのつなぎを行う。 <p>【一時預かり施設設置数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主にリフレッシュ型の受入施設としてつどいの広場での一時預かりの実施を検討。アンケート調査等を行い状況把握を行う。 (仮称)布施子育て支援センターでの実施に向けて検討する。
---------------	--

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	2

所属	学校教育部 学事課
----	-----------

実施計画事業名		学校規模適正化事業				平成27年度 目標達成度		C	
事業概要		学校規模の適正化を図るため、過小規模校および過大規模校の解消に努め、よりよい教育環境と効果的な学校教育を実現する。また、「学校規模適正化基本方針」に基づき統合委員会が設置されるよう努め、統合の推進を図る。							
指標①	統合委員会の設立数				指標②	/			
指標の説明・計算式	計画数4件に対する当該年度末までの累計数				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	4件	4件	4件	C	目標②	/	/	/	/
実績①	3件	-	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・太平寺中学校跡地の要望書(4月21日)を地域自治会から担当部局へ提出した。 ・三ノ瀬小学校・太平寺小学校の地域や保護者に対し、統合への理解と協力を要請した。 ・大蓮小学校の開校式(5月23日)の実施及び児童の通学時の見守りを支援した。【27年4月大蓮小学校開校】 ・太平寺中学校の開校式(3月24日)、俊徳中学校の開校式(3月24日)の実施を支援した。【28年4月布施中学校開校】 ・永和小学校の開校式(3月6日)、菱屋西小学校の開校式(3月5日)の実施を支援した。【28年4月桜橋小学校開校】 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・統合対象校の教職員の事務の負担が大きいことから事前に加配等を大阪府に要請する必要があり、市費の体制強化も検討すべきである。 ・跡地についての明確な方向性を決定しておく必要がある。 ・防災上の考え方も十分整理しておく必要がある。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・三ノ瀬小学校・太平寺小学校の統合についての理解と協力を得られるように、地域・保護者に対しての説明に最大限の努力をする。 ・統合委員会の運営がスムーズに行えるように支援を行う。 ・三ノ瀬小学校跡地の活用について、地域の要望等を聴取する。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	2

所属	学校教育部 学事課
----	-----------

実施計画事業名					幼稚園の特色化・サービスの充実					平成27年度 目標達成度	-
事業概要					子ども子育て支援新制度の開始に伴い、特色ある幼児教育の実施、現行サービスの充実、あるべき幼児教育の研究・検討など一層魅力のある幼稚園にするための事業を実施する。						
指標①	事業の満足度:平成25年度に実施した「子ども子育て支援事業計画に関するアンケート調査」の「利用されている教育・保育事業について不満に思うこと」の回答数の減少				指標②						
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	-	-	回答数の減少	A	目標②						
実績①	-	-	-		実績②						
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育支援員を各園1人ずつ配置し、預かり保育を週3日(2時間から3時間に時間延長)確実に実施できたため、実施日数が増加した。 										
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・特色のある幼稚園の実施メニュー(幼児総合学力向上事業)の検討 ・利用数の多い園での預かり保育支援員の増員 										
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児総合学力向上事業について現場幼稚園との会議の実施 										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	3

所属	学校教育部 学事課
----	-----------

実施計画事業名		民間教育・保育施設整備事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		子ども子育て支援新制度の開始に伴い、民間の幼保連携型認定こども園と、小規模保育事業の施設を整備し、併せて既存の保育所の増改築を推進することで、教育・保育の必要見込み量を確保し、待機児童を解消する。							
指標①	保育を必要とする児童(0歳児)の受入れ数				指標②	保育を必要とする児童(1・2歳児)の受入れ数			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	33人	78人	60人	A	目標②	142人	202人	185人	B
実績①	37人	-	-		実績②	138人	-	-	
事業実績 (平成27年度)	・平成27年度からスタートした子ども子育て支援新制度の開始に伴い、教育・保育の必要見込み量の確保策として民間幼稚園からの移行による幼保連携型認定こども園および小規模保育事業の施設整備により175名の受け皿拡大を図った。								
改善すべき点	・受け皿拡大のための施設整備を希望する法人の確保								
平成28年度に向けた改善策	・民間幼稚園に対し幼保連携型認定こども園への移行を促すとともに小規模保育事業については公募時期を早めることにより応募法人確保に努める。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	3

所属	学校教育部 学事課
----	-----------

実施計画事業名		公立教育・保育施設整備事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		公立の教育・保育施設を適切に配置し、公立施設の役割である「地域子育て支援事業」を積極的に実施していく。							
指標①	幼保連携型認定こども園の整備状況				指標②	幼稚園型認定こども園の整備状況			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	基本設計(2園)	施設整備(2園)	開設(2園)、 基本設計(1園)	A	目標②	-	施設整備(1園)	開設(1園)	A
実績①	実施済み	-	-		実績②	-	-	-	
事業実績 (平成27年度)	・幼稚園型認定こども園の増設設計(現北宮幼稚園内)								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・必要備品等の整備 ・給食施設の整備 ・教育保育内容、子育て支援事業内容の整理 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	1

所属	学校教育部 学校教育推進室
----	---------------

実施計画事業名		クラブ活動推進事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		中学校・高等学校での部活動経費の補助や外部人材を活用した専門的指導など、部活動の活性化を総合的に支援する。							
指標①	部活動に参加する生徒の割合				指標②				
指標の説明・計算式	部活動参加生徒数 ÷ 生徒数 × 100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	85%	85%	85%	A	目標②				
実績①	85%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・6月に実施した部活動に関する調査における部活動に参加する生徒の割合は約84.7% ・運動部活動等専門嘱託配置事業は、ラグビーの普及、啓発を図るため、中学校4校に配置 ・全国大会への出場経費の補助は45名、近畿大会への出場経費の補助は168名 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・活動経費の支援の拡充 ・生徒のニーズを考慮した部活動の設置 ・運動部活動等専門嘱託の安定した人材確保及び拡充 ・外部支援員の拡充と人材確保 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・学校間の合同チーム、合同練習の実施等生徒のニーズを考慮した部活動の実施に向けた検討と活動経費等の補助による活動環境整備 								

平成27年度 事業管理報告書

重点事業

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	1

所属	学校教育部 学校教育推進室
----	---------------

実施計画事業名		学びのトライアル事業								平成27年度 目標達成度	B
事業概要		市立小中学校に配置した学力向上支援コーディネーターなどを中心に、学校園が総体として組織的な学力向上に取り組み、家庭教育に対しても積極的な啓発を行うこと通して、経済的・文化的格差に起因する学力格差の縮小を目指す。									
指標①	全国学力調査等の正答率分布グラフによる低学力層の減少(チャレンジテスト中2:34点以下平均)				指標②	児童生徒、保護者による本事業に対する評価					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	低学力層の割合の減少(H26:31.9%)	①前年度より減少	①前年度より減少	C	目標②	アンケートによる好評価の増加(H26:76.4%)	前年度より増加	前年度より増加	A		
実績①	27.70%	-	-		実績②	78.20%	-	-			
事業実績(平成27年度)	<p>・各学校において学力向上支援コーディネーターを配置し、校内での組織的な取り組みを継続して進めている。また、市全体の学力向上に係るテーマを「子どもが自ら学ぶための『環境』『習慣』『授業』づくり」とし、学力向上支援コーディネーター研修・協議会において、小中学校の連続した学びのスタンダードの確立に向けた情報交換等をを行うなど、より具体的に充実した取組みとなるよう努めた。また、東大阪市教育フォーラムでは、「平成27年度全国学力・学習状況調査等の結果分析と本市の取組み」として、本市における学力向上の取組みの成果と課題について報告した。さらに「トライアルスクール推進事業」を実施し、効果の高い教科教育の研究実践を行うことができた。また、委員会指定校として特色ある学校づくりを行った。研究校では、全ての学校で授業公開、研究発表会を行い、教職員の研修の場として、指導力向上に役立てることができた。</p>										
改善すべき点	<p>・授業や学習に対する意識や姿勢など定性的な成果では年を重ねるごとに向上し、「全国学力・学習状況調査の平均正答率」のような定量的な調査結果については、基礎的な部分では成果が見られたが、依然として、活用力を問う問題においては課題が見られる状況である。</p>										
平成28年度に向けた改善策	<p>・「子どもが自ら学ぶための『環境』『習慣』『授業』づくり」のテーマに基づく取組みを継続しつつ、学校図書館の整備・充実をはじめとした環境づくりとともに、学校図書館を活用した授業づくりを進める。また、『学習の手引き』や『自主学習ノート』を活用した学習習慣づくりなど、より具体的な変容を求める指導助言を学校に対して行う。</p> <p>・小中学校に連携教育担当者・学力向上支援コーディネーターを位置づけ、中学校区において、「9年間を見通した『学びのSTANDARD』」の取組みをすすめることで、学年間、校種間において生じる段差やつまづきの克服を図る。</p>										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	1

所属	学校教育部 学校教育推進室
----	---------------

実施計画事業名		食育の推進(第2次食育推進計画)				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		人間形成の基礎となる健全な食生活を実践する力の習得をめざし、市立学校園で食育を実施する。							
指標①	栄養教諭による食育の授業実施回数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
					H27	H28	H29	H27達成度	
目標①	1,000回	1,000回	1,000回	A	目標②	/			
実績①	1,025回	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省食指導教材「食生活を考えよう」(小学1・3・5年用)を配布。 ・JAバンク食農教育補助教材を小学校5年全児童に配布。 ・食育についての教職員研修を年1回実施。「食育とは何か～体の仕組みから理解する～その必要性」(大学講師)及び市立幼稚園教諭実践報告。(対象 学校園教員 学校栄養職員、栄養教諭) 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・食に関する指導を組織的・計画的に取り組むための校内組織づくり。 ・学校・家庭・地域の連携。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会等で、国・府・市の食育の現状や課題について周知し、学校園において「食の指導に関する全体計画」に基づく実践をより一層充実させてもらうようにしていく。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	1

所属	学校教育部 学校教育推進室
----	---------------

実施計画事業名		本物の文化芸術にふれる機会の拡大				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		学校・地域行事等、校内・外で演奏の機会が多い市立中学校・高等学校の音楽系部活動に所属する生徒を対象に、本物の文化芸術に触れる機会をつくり、演奏力(意欲・技術)の向上を図る。							
指標①	実施校数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	9校	9校	9校	A	目標②				
実績①	9校	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 文化庁による「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」(文化庁文化芸術文化課)・「子ども夢・アート・アカデミー」を募集、4校で活用した。 劇団四季「こころの劇場」事業を活用した。 文化芸術推進事業を実施。市立中学校9校の音楽系部活動にプロの演奏家による訪問指導を実施した。 中学校連合音楽会においてプロの演奏家による指導講評を受けた。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 文化庁主催の事業(小中)については、実施決定校はわずかであるので、各学校園では、独自の文化芸術鑑賞等を計画・実施している。その経費は保護者負担が多い。学校規模や在籍数によっては、内容や実施学年等が限定されることも多く、機会の拡大が困難である。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> プロの演奏家の指導を受けた音楽系部活動部員により、各学校園内や地域での演奏会を行う。 文化庁などの事業をさらに周知し、各学校園において文化芸術に親しむ機会を増やす。 校外学習での博物館等を利用し、本物の芸術に触れる機会を増やすよう学校園に周知を行う。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	1

所属	学校教育部 学校教育推進室
----	---------------

実施計画事業名		連携教育推進事業				平成27年度 目標達成度		C	
事業概要		保護者や地域住民の協力を得ながら、小1ギャップ、中1ギャップによる不登校や学力不振等に陥らない、子どもが安心して学び続けられる学校園連携を中学校区として推進する				平成27年度 目標達成度		C	
指標①	学校1年生の不登校率(年度末時点)の減少				指標②	チャレンジテストの正答率分布グラフによる低学力層の減少(中1)			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	前年度より減少 (H26:2.3%)	前年度より減少	前年度より減少	C	目標②	前年度より減少 (H26:12.6%)	前年度より減少	前年度より減少	C
実績①	3.3%	-	-		実績②	18.3% (平均)	-	-	
事業実績 (平成27年度)	<p>平成27年度から、全小中学校に連携教育担当者を配置し、生徒指導、学力向上、人権教育の担当者などとの横つながり、また、校種間のたてのつながりを意識した取り組みを進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校区としての学びのスタンダードの確立 ・中学校区のホームページを立ち上げ、全学校園の行事予定や連携教育の取り組みについて情報発信 ・教育フォーラムでの連携教育をテーマとした実践報告 及び 講演会 (参加者 約1,000名) ・連携教育担当者研修会での先進的な学校の取り組み報告 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・連携教育から一貫教育へとさらに進んだ取り組みを実践する。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・一貫教育推進事業において、一貫教育モデル中学校区の実践報告 ・一貫教育に対する教職員や保護者との共通理解を進める。(フォーラムでの発信・リーフレットの配布等) ・学びのスタンダードの実践・改善 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	1

所属	学校教育部 学校教育推進室
----	---------------

実施計画事業名	英語教育推進事業	平成27年度 目標達成度	C
事業概要	グローバル化する社会に対応し、国際共通語としての英語を使って自分の考えや意見を伝え、相手の意見や考えを受け止めることのできる子どもを育成する。		

指標①	市学習状況調査における項目で「積極的に英語でコミュニケーションをとる」と回答した児童生徒の割合(中3)	指標②	実用英語技能検定4級程度以上の力と判定される中学校2年生の割合(研究校)						
指標の説明・計算式		指標の説明・計算式							
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	72%	前年度より増加	前年度より増加	C	目標②	-	-	前年度より増加	-
実績①	64.50%	-	-		実績②	-	-	-	-

事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導講師(以下ALT)は、小学校5年生から中学校3年生までの全学年において週1時間、ALTとのチームティーチングが可能な日数で派遣している。また、幼稚園についても、週に半日派遣している。 ・移動英語村、夏休み英語村を開催した小グループでALTとコミュニケーション活動を行うことで、学んだり、慣れ親しんだりした英語表現を活用することができ、児童生徒の自己効力感や学習意欲の向上につながった。 ・「東大阪市中学生英語暗唱大会」や「英語まつり」などの英語行事を中学生を対象に実施している。各ALTが事前に生徒の発音指導等を行い、指導を受けた生徒が舞台上で日ごろの学習の成果を発表した。また、習熟度別指導による指導方法の工夫改善も行っている。
------------------	---

改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・移動英語村は、アンケート結果においても好評であり、今後、回数を増やすことが希望されているため、次年度においては、実施回数を増やせるよう工夫が必要である。 ・英語の早期導入が予定されており、ALTを始めとした、小学校での指導者不足が懸念される。
--------	---

平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTをより有効に活用した授業づくりがなされるよう、教職員対象の研修を引き続き充実させる。 ・英語村の実施回数を増やし、授業等において、英語を話す場面を意識した言語活動が行えるような環境を整える。 ・Can-doリストを作成することで、目標を明確化し、指導と評価の一層の充実を図る。
---------------	--

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	学校教育部 学校教育推進室
----	---------------

実施計画事業名		特別支援教育推進事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		障害のある子どもたちが学校園生活を円滑に送れるよう多方面から支援する。							
指標①	対象者への巡回指導及び巡回相談実施率				指標②	/			
指標の説明・計算式	実施人数 ÷ 希望する対象者 × 100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	100%	100%	100%	A	目標②	/			
実績①	100%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・【特別支援教育支援員】スクールヘルパー82名の配置。 ・【巡回指導】…肢体不自由児訓練事業として、作業療法士、理学療法士、必要に応じ言語聴覚士と指導主事が学校園の訪問指導を行った。対象者91名に対し、延べ123回実施。 ・【巡回相談】…発達障害の診断がある園児・児童・生徒を対象とし、療育センター児童指導員と指導主事が授業・保育等の様子を参観。個別連絡票を参考に、学校園における指導や支援内容について指導・助言を行った。対象23名に対し45回実施。巡回相談の回数は、要項で2年で3回(1年目2回、2年目1回)と定まっている。 ・【ケアアシスタント】…9校10名配置。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールヘルパーを小学校51校、中学校24校に配置したが、支援を必要とする子どもが増加し、複数配置を希望する学校が増加している。 ・看護師の不足。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールヘルパーのさらなる増員に向けて予算要求をしていく。 ・幼稚園においても支援を必要とする園児が増加しており、支援の体制を充実していく。 ・医療的ケアの必要な子どもに対して、確実に看護師を配置をしていくことに努める。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	学校教育部 学校教育推進室
----	---------------

実施計画事業名	いじめ防止対策事業								平成27年度 目標達成度	B
事業概要	いじめ防止対策推進法に基づき、いじめの防止や重大事態等に対応する機関を設置し、専門家の派遣等、適切な対応を行う。また、スクールソーシャルワーカーを活用し、子どもや家庭、学校園を支援する。									
指標①	いじめ、不登校、虐待、問題行動等の支援ケース数				指標②	認知したいじめ事象のうち対応した割合				
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度	
目標①	500件	600件	700件	C	目標②	100%	100%	100%	A	
実績①	344件	-	-		実績②	100%	-	-		
事業実績 (平成27年度)	<p>・平成27年度は6小学校にスクールソーシャルワーカーを拠点校配置し、年間500回(拠点校活用420回、派遣活用80回)の活用を行った。中学校区でのいじめ・長期欠席・不登校対策ブロック会議やケース会議にスクールソーシャルワーカーが参加し、福祉的視点を持って学校支援を行った。</p>									
改善すべき点	<p>・平成27年度は6名で対応したが、虐待・不登校、福祉的な支援が必要な子ども・家庭の対応が増加する中で、全中学校ブロックにスクールソーシャルワーカーを拠点校配置することで、全ての学校園が児童生徒・保護者へ対しての支援をより一層充実させることができると考えている。</p>									
平成28年度に向けた改善策	<p>・平成28年度は9名のスクールソーシャルワーカーを採用し、7小学校への拠点校配置と、ケース会議等への派遣を行う。その際、福祉の専門的な知識と技術を持って、子どもが抱えている課題や背景を整理し、学校園を支援していく。また、大阪府の「小学校指導体制支援推進事業」により、市内7小学校に新たに年間17回配置されるスクールソーシャルワーカーを有効に活用し、不登校や問題行動の減少を図る。</p>									

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	学校教育部 学校教育推進室
----	---------------

実施計画事業名		子ども安全安心推進事業								平成27年度 目標達成度	B
事業概要		子どもたちの登下校時の安全の確保のため、各小学校区に愛ガード運動推進委員会を組織し、地域での見守り・見回り活動を実施する。また、校内に警備員を配置し安全確保を図る。子どもたちの安全にかかわる情報等については、保護者にメールでの情報発信を行う。									
指標①	登下校時の交通事故発生件数				指標②	校内への不審者侵入発生件数					
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/					
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	0件	0件	0件	C	目標②	0件	0件	0件	A		
実績①	12件	-	-		実績②	0件	-	-			
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路強調シート(平成27年度施工分)27校の施工が完了。 ・通学路強調シート施工地点周辺及び校区内の通学路の電柱やフェンスに巻看板を設置し、シートとの相乗効果で通学路の安心・安全啓発をさらに推進する。 ・愛ガード運動推進事業により地域、家庭、学校が協力し、子どもたちの登下校時の安全を確保している。平成27年度の登録者数は14,098名。 ・子ども安全パトロール事業における全小学校での警備員配置により、来校者の確認等が実施され、不審者侵入に対する抑止効果が表れている。 ・市内在住の児童に防犯ブザーを配付し通学時等において安全の確保を行なう。 										
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の件数減少に向け、ハード的な面からだけでなく、子どもたちの交通安全の意識をさらに高める。 ・愛ガード運動協力員の確保が課題である。 										
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の安全点検の継続。 ・交通安全意識の向上のための啓発活動。 ・愛ガード運動の取組内容を市政だよりでの周知や自治協議会へ協力依頼の実施により、愛ガード協力員の確保に努める。 										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	2

所属	学校教育部 学校教育推進室
----	---------------

実施計画事業名		キャリア教育の推進事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		小学校でのモノづくり体験教室や中学校での職場体験学習を実施することで、次代を担う子どもたちのモノづくりへの興味や関心を高めるとともに、「生きる力」の育成を支援する。							
指標①	モノづくり教室の実施率(小学校)				指標②	職場体験学習において、モノづくりに関する体験をした生徒の割合(中学校)			
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	70%	72%	74%	A	目標②	7%	10%	15%	B
実績①	100%	-	-		実績②	6%	-	-	
事業実績 (平成27年度)	<p>[全般]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼小中が連携したキャリア教育計画を作成 <p>[小学校]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全小学校において、農業体験、「モノづくり体験教室(ものづくり支援室事業)」、キッズマートなど、「もの」を製造したり、販売したりする体験を通じて、職業に関する学習を実施した。「モノづくり体験教室」はNPO法人と連携し、53校中30校で実施 <p>[中学校]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全26中学校において、職場体験を実施 								
改善すべき点	<p>[小学校]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モノづくり教室を進める上で、「モノづくり体験教室」は非常に定着をしている。今後も実施校が広がるように連携に努める。 <p>[中学校]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験において、製造業(工場)への体験を推進するにあたり、受け入れ先事業所において安全の心配をされる事業所がある。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・モノづくり教室が、そのみの授業とならずに、ほかの教科内容との連なりを考慮し行うよう努める。 ・体験だけではなく、東大阪市のものづくり企業についての講話を事前学習として行うなど、モノづくりについて興味・関心が喚起されるような取り組みを行う。 ・体験学習における安全面について、事前打ち合せや事前学習についての工夫が必要である。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	2

所属	学校教育部 教育センター
----	--------------

実施計画事業名		公共施設再編整備事業(教育センターその他整備)				平成27年度 目標達成度		B	
事業概要		「東大阪市公共施設再編整備計画」に基づき、学校規模適正化基本方針で統合となる学校の跡地に、教育センター、適応指導教室「ふれあいルーム」等が入居する複合施設を整備する。							
指標①	整備の進捗状況				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	設計	工事	—	B	目標②				
実績①	設計	—	—		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・複合施設であることから、関係部局との調整を何度も重ね、教職員研修や教育相談に適した施設にするための設計に力を注いだ。								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・設計の終了と工事着手に向けて、各部屋の仕様など、さらに細かい部分について、調整を図る。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	2

所属	学校教育部 教育センター
----	--------------

実施計画事業名					教職員研修・教育研究の充実					平成27年度 目標達成度	A
事業概要					子どもたちの確かな学力と豊かな人間性の育成をめざし、教職員の資質・能力や実践的指導力の向上を図るため教職員研修を実施する。また、教育課題の解決に向けた研究や教育資料の活用を推進し、学校園の「学ぶ力」の活性化を図る。						
指標①	受講成果の教育実践での活用率				指標②						
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	100%	100%	100%	A	目標②						
実績①	100%	-	-		実績②						
事業実績 (平成27年度)	・専門研修、課題別研修等、全部で164講座を実施。のべ10,159人が受講した。										
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・学校園における教育資料の活用が十分ではないため、活用を推進する。 ・今日的な課題に対する研修を実施するために、常に課題の把握に努力する。 										
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・指導主事の力量形成に向けた研修を更に充実する。 ・経験の少ない教員の育成を含めた校内研究の体制の充実を支援するための「校内支援ワーキング」を実施する。 ・教育課題の解決に向けた研究のために、KWM(キーワードを用いたICT学習支援ツール)の研究を行う。 										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	学校教育部 教育センター
----	--------------

実施計画事業名		教育相談・発達相談の充実								平成27年度 目標達成度	B
事業概要		教育や子どもの養育などに関する悩みを抱える、園児・児童・生徒および保護者や教職員に対し、来所相談、学校園派遣相談、電話相談を実施する。特に特別支援教育、いじめ防止および子どもの虐待防止に向けた取り組みを充実する。									
指標①	年間相談実施回数				指標②	学校園への相談員派遣に対する評価(事後アンケートで「おおむね効果があった」以上の回答の割合)					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	11,000回	11,000回	11,000回	B	目標②	100%	100%	100%	B		
実績①	10,542回	-	-		実績②	99%	-	-			
事業実績 (平成27年度)	・来所相談5,182回(教育相談1,946回・発達相談3,236回)学校園派遣相談5,039回、電話相談321回										
改善すべき点	・毎年相談員の増員を図り、来所相談の待ち時間を少しでも短縮するよう努めてはいるが、面接室、プレイルームの数の絶対的な不足により、短縮できていないのが現状である。東大阪市公共施設再編整備計画に基づく移転の際の、部屋数の確保を始め、より効率的、効果的な相談業務の計画が必要である。										
平成28年度に向けた改善策	・子どもと保護者の幅広いニーズに応えることができるように、相談員の資質の向上のための研修を充実させる。 相談員派遣事業においては、児童数の多い学校園から派遣回数を増やし、学校園での相談活動を更に充実させる。										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	学校教育部 教育センター
----	--------------

実施計画事業名		教育支援センター(適応指導教室)事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		適応指導教室の取り組みを中心に、不登校または不登校傾向にある児童・生徒およびその学校への支援を充実し、学校復帰および社会的自立を図る。							
指標①	適応指導教室に通う児童・生徒の状況が改善した割合				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	80%	80%	80%	A	目標②	/			
実績①	83%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・入室者23人のうち、完全に学校へ復帰した者2名、部分的に復帰した者17名。中学3年生については、全員が進路決定。								
改善すべき点	・不登校をめぐる背景は多様化し複雑化している。学校との連携は言うまでもないが、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどもさらに連携を図る必要がある。 また、不登校の背景には発達に関する課題があることも多い。適応指導教室加配教員をふくめ、支援員全員が特別支援教育に関する専門性をより一層高める必要がある。								
平成28年度に向けた改善策	・「外部の専門家との連携についての知識」や「特別支援教育に関する専門的な知識」を更に身につけるため、支援会議などに専門家を招へいし、多様化する不登校児童生徒に柔軟に対応できるように資質を向上させる。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	6	4

所属	社会教育部
----	-------

実施計画事業名		公共施設再編整備事業(文化関係複合施設再整備)				平成27年度 目標達成度		-	
事業概要		「東大阪市公共施設再編整備計画」に基づき、四条の家、東診療所跡を、新東部地域図書館(旧旭町図書館)、郷土博物館、埋蔵文化財センター等が入る文化関係複合施設に再整備する。							
指標①	整備の進捗状況				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	-	基本計画策定	事業手法検討	-	目標②	/	/	/	/
実績①	-	-	-	-	実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成27年度)	・文化複合施設基本計画の策定に向けた仕様書の検討や支援事業者の状況を把握した。								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・各担当部局と協議の上、文化複合施設基本計画策定の支援事業者を選定し、基本計画を策定する。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	9	1

所属	社会教育部 社会教育課
----	-------------

実施計画事業名		生涯学習推進事業				平成27年度 目標達成度		未	
事業概要		「第三次東大阪市生涯学習推進計画」の3つの基本視点「まなびづくり・ひとづくり・まちづくり」に基づいて、市民の誰もがいつでもどこでも楽しく学べる環境を提供し、一人ひとりが充実した人生を送りながら学びを支える人を育て、自分のまちに誇りと愛着をもてるまちづくりをめざしていく。				平成27年度 目標達成度		未	
指標①	生涯学習事業への参加人数				指標②	/			
指標の 説明・計算式	/				指標の 説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	83.0万人	83.5万人	84.0万人	未	目標②	/	/	/	/
実績①	集計中	-	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進組織の運営(市民推進会議 2回開催、庁内推進本部幹事会 1回開催) ・市町村広域連携生涯学習事業(おおさかふみんネット)の実施 ・生涯学習情報誌「まなびにトライ!」の発行(4月・10月) ・市ウェブサイト内「まなび・スポーツ」で生涯学習情報を集約 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・各課において実施している講座やイベント等の事業が、生涯学習事業として認識されるように働きかける。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年3月に策定した「第三次東大阪市生涯学習推進計画」に基づき、庁内各課に生涯学習への認識を深めてもらい、引き続き生涯学習推進に向けて積極的な取り組みを依頼していく。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	9	3

所属	社会教育部 社会教育課
----	-------------

実施計画事業名		国際識字年推進事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		「よみかき教室」の開催や中国帰国者等による日本語学習グループに対し日本語指導者を派遣するなど、よみかきに不自由している方々に学習する機会を提供し、また「国際識字デー・市民のつどい」「識字展」を通して識字に対する市民の理解を深める。							
指標①	「国際識字デー・市民のつどい」、識字展等の来場者数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	700人	700人	700人	A	目標②	/			
実績①	947人	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・東大阪市国際識字デー・市民のつどいの開催(来場者数216人) ・識字展の開催(来場者数461人) ・平和と人権展&識字展(人権文化部と共催)(来場者数270人) 啓発事業来場者数 947人 ・よみかき教室の開催(平成28年3月31日現在 生徒数46人) 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発事業の来場者数が目標数を達成。引き続き目標を達成できるよう、開催イベントに創意工夫し、より多くの方に識字への理解を得られるように取り組む。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの方が識字に対する理解を得ることができるよう、また非識字者の掘り起こしのため、引き続き啓発を行う。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	4

所属	社会教育部 社会教育課
----	-------------

実施計画事業名		市民会館除却整備事業				事業概要		平成27年度 目標達成度		A
		平成27年6月をもって閉館する市民会館建物を解体する。								
指標①	市民会館建物の解体				指標②	/				
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度	
目標①	実施	実施	—	A	目標②	/				
実績①	実施	—	—		実績②	/				
事業実績 (平成27年度)	<p>・平成27年7月1日付で廃館した市民会館の解体については、8月に解体工事に係る電子入札を行い、落札候補者を決定し、9月議会の承認を得て契約に至る。</p> <p>平成27年10月19日には、解体工事の説明会(参加者31名)を開催。その後、書類関係の手続きを終え、11月に電気設備(照明等)を撤去し、12月から1月中旬にかけてアスベストを除去するとともに各階の内装(天井ボード等)や植栽等を撤去。2月から3月中旬にかけて外部足場を組んだのち、外壁の解体に着手した。</p>									
改善すべき点	<p>・工事に伴う住民からの苦情や不満が少なからず出ているため、適切に対応していく必要がある。</p>									
平成28年度に向けた改善策	<p>・事故のないよう安全対策を図りながら遅滞なく進めるとともに、騒音・振動・粉じん等の低減に努め、住民の苦情や不満に対しては、理解を求めつつ適切に対応していくもの。</p>									

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	11	2

所属	社会教育部 青少年スポーツ室
----	----------------

実施計画事業名		留守家庭児童育成事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		留守家庭児童育成クラブの運営を行っている運営委員会等に対し、助成金を交付し、児童育成クラブ児童の健全育成を図る。また保護者ニーズの高い開設時間の拡充・全土曜日の開設を行っていく。							
指標①	全クラブ 全土曜日開設・開設時間延長の実施率				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	100%	100%	100%	A	目標②				
実績①	100%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年8月に子ども・子育て3法及び関連法が制定され、平成27年4月に「子ども・子育て支援新制度」が施行され、質の確保・量的拡充を図ることとされた。これに伴い、「東大阪市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」を制定するとともに、全52クラブにおいて開設時間の延長（平日及び土曜日を除く長期休業日は18時30分まで、土曜日は午後5時まで）、全土曜日の開設を実施した。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 全52クラブにおいて、全土曜日の開設、開設時間の延長を実施したが、保護者ニーズに差異がないかを把握していく。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 全クラブにおいて、開設時間の延長、全土曜日の開設を実施したが、利用希望人数等のを把握を行う。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	12	1

所属	社会教育部 青少年スポーツ室
----	----------------

実施計画事業名		東体育館耐震化リニューアル事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		東体育館の耐震リニューアル工事を実施する。							
指標①	利用率				指標②	/			
指標の説明・計算式	使用時間／利用可能時間				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	85%	86%	87%	A	目標②	/			
実績①	98%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・耐震補強、リニューアル整備工事中								
改善すべき点	・耐震補強、リニューアル整備工事中								
平成28年度に向けた改善策	・耐震補強、リニューアル整備工事中								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	6	3

所属	社会教育部 文化財課
----	------------

実施計画事業名	郷土博物館・埋蔵文化財センター統合整備事業	事業概要	郷土博物館、埋蔵文化財センター及び文化財資料収蔵施設の基本構想に基づき複合施設として整備するため、基本計画、展示設計等の策定を行う。	平成27年度 目標達成度	-
---------	-----------------------	------	--	-----------------	---

指標①	基本計画、展示設計等の策定				指標②	/			
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式				
					H27	H28	H29	H27達成度	
目標①	-	基本計画等策定	展示計画等策定	-	目標②	/			
実績①	-	-	-	-	実績②				

事業実績 (平成27年度)	・文化複合施設基本計画の策定に向けて、進行している。
------------------	----------------------------

改善すべき点	・特になし
--------	-------

平成28年度に向けた改善策	・特になし
---------------	-------

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	7	1

所属	社会教育部 文化財課
----	------------

実施計画事業名		文化財ボランティア育成事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		文化財ボランティアの育成研修及び文化財啓発保存活動など活動の場の提供により、ボランティア活動を活性化させる。							
指標①	登録ボランティアの一人あたりの平均年間活動回数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	9.0回	9.5回	10.0回	A	目標②	/			
実績①	24.4回	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・二本松古墳清掃活動 延べ6日49人・埋蔵文化財センター事業活動 延べ289日1,037人 ボランティア研修・ハイキング 延べ3日35人(総計延べ298日1,121人 1,121÷登録者46(28.3.31現在)=24.37)								
改善すべき点	・平成28年はボランティア登録更新年にあたり、登録人数が減少した。目標数値の変更をする必要がある。								
平成28年度に向けた改善策	・ボランティアの質の向上。文化財を管理運営していくうえで、ボランティアの協力は不可欠である。歴史・文化財・地域などの専門的な知識の取得などに向けての研修会の企画。新規活動のメニューの考案についてさらに取り組む。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	7	2

所属	社会教育部 文化財課
----	------------

実施計画事業名		文化財施設保存計画策定事業								平成27年度 目標達成度	-
事業概要		改修の必要がある国史跡・重要文化財鴻池新田会所について、専門家による現状の調査を行い、その結果に基づいて中長期の展望に立った史跡等保存管理計画及び重要文化財建造物保存活用計画を策定する。									
指標①	史跡等保存管理計画策定				指標②	重要文化財建造物保存活用計画策定					
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/					
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度		
目標①	-	-	策定	-	目標②	-	-	策定	-		
実績①	-	-	-	-	実績②	-	-	-	-		
事業実績 (平成27年度)	・特になし										
改善すべき点	・保存計画策定に向けた現状調査が必要。										
平成28年度に向けた改善策	・来るべき現状調査に向けて、施設の細部点検を行う。										

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	7	2

所属	社会教育部 文化財課
----	------------

実施計画事業名		河内寺廃寺跡史跡公園整備事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		河内町に位置する飛鳥時代創建の古代寺院跡で、国史跡の指定を受けた「河内寺廃寺跡」を史跡公園として整備する。							
指標①	整備の進捗状況				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
					H27	H28	H29	H27達成度	
目標①	40%工事着工	90%工事完了	100%工事完了	A	目標②	/			
実績①	100%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・実施設計に基づき史跡公園の発掘調査及び造成・雨水排水工事を行った。								
改善すべき点	・造成工事中に、公園整備課の発注した請負業者が設計深度よりも深く掘削を行った。幸いなことに遺構の損傷はなかったものの、許可を受けた工事範囲を逸脱することは文化財保護法違反に該当すること、史跡整備は遺構保護を前提に行うもので今後このようなことが起こらないようにする旨の指導を文化庁及び大阪府文化財保護課より受けた。再発防止に向け、工事発注課である公園整備課に対し、遺構保護を前提とした史跡整備に改めて理解を求める必要がある。								
平成28年度に向けた改善策	・本工事においては、現状変更許可を受けた範囲を逸脱したり、遺構の損傷を伴ったりする工事は固く禁じられていること及びこれらの行為により損傷を受けた遺構は二度と元には戻らないことを工事発注課に改めて理解してもらうとともに、工事施工にあたっては工事施工業者及び文化財課との間での円滑な意思疎通等を行うよう求める。								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	7	2

所属	社会教育部 文化財課
----	------------

実施計画事業名		指定文化財保存事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		指定文化財所有者・管理者が行う修理に対し、補助金を交付することで文化財保存の取り組みを奨励し、文化財保護意識を高める。また、有形文化財等の調査を進める。							
指標①	充足率				指標②				
指標の説明・計算式	補助件数/申請件数 × 100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	100%	100%	100%	A	目標②				
実績①	100%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 春日神社本殿の火災報知器・防犯カメラの設置及び危険樹の高木剪定。 長栄寺金泉閣・表門・文物の調査。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 文化財所有者及び管理者の指定文化財の要望を聞き、計画的に指定文化財の修理等を行いたい。 長栄寺所蔵の文物について調査をする必要がある。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 長栄寺の文物について調査を行う。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	7	3

所属	社会教育部 文化財課
----	------------

実施計画事業名		文化財啓発事業				平成27年度 目標達成度		D	
事業概要		本市の歴史と文化財について理解と関心を高めるため、文化財啓発冊子を刊行するとともに、発掘調査現地説明会及び資料展示会を開催する。							
指標①	資料展示会の入場者数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	1,000人	1,100人	1,200人	D	目標②				
実績①	290人	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・わが街再発見 東大阪の石造物2を刊行 ・平成27年度資料展示会パネル展「今年はこんな年 若江合戦400年」を実施。 ・河内寺廃寺跡現場説明会の実施。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・資料展示会を9月上旬に実施したが、あまり入場者は増加しなかった。 								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・開催時期に関しては市民が来庁しやすい時期を検討する。 								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	9	3

所属	社会教育部 社会教育センター
----	----------------

実施計画事業名		連携7大学公開講座							
事業概要		大学の英知を結集して、時機を得たテーマで講座を開催し、市民が生涯を通じて自主的に学習に取り組む機会を提供する。				平成27年度 目標達成度		C	
指標①	公開講座延べ受講者数				指標②	/			
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	1,100人	1,100人	1,100人	C	目標②	/	/	/	/
実績①	841人	-	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・開催期間:平成27年2月7日～10日、12日及び113日(計6日間・6講座) ①大阪樟蔭女子大学【音楽で健康に長生き】 ②東大阪大学短期大学部【食の機能でいきいき生活】 ③近畿大学【スポーツで体もきれいに】 ④大阪経済法科大学【ワーク・ライフ・バランスと家事分担】 ⑤大阪産業大学【わたしたちの「暮らしの基盤」～働くことと暮らすこと～】 ⑥大阪商業大学【所得、健康、幸福度～データから読みとく豊かな暮らし～】 ※樟蔭東短期大学は、平成27年度に廃校となったため、現在は6大学との連携。 								
改善すべき点	<p>・従前は平日を中心に開催していたが、参加者の年齢層を広めるために、昨年度は土日を含めた6日間で開催をしたところである。しかし、まだまだ高齢者の受講生が大半を占めている状況であり、若い参加者のアンケートを確認すると、土日開催希望の声が聞かれる状況である。したがって、20歳～50歳の方々の受講者を増やすための検討が必要と考える。</p>								
平成28年度に向けた改善策	<p>・大学担当者と日程調整をしつつ、特に20歳～50歳の方々も興味を引くようなテーマ・内容を議論しつつ改善する必要がある。</p>								

平成27年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	5	2

所属	議会事務局 議事調査課
----	-------------

実施計画事業名		議会設備改修事業				平成27年度 目標達成度		A	
事業概要		本会議・委員会をより安定した環境でインターネット中継や録画配信することにより、市民に議会への関心をもってもらい、開かれた議会運営をめざす。							
指標①	設備改修の進捗状況				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	実施	-	-	A	目標②				
実績①	実施	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	・議場及び委員会室の設備改修工事を行い、平成27年10月より、スマートフォンやタブレットでも本会議・委員会のインターネット中継や録画配信を見られるようになった。								
改善すべき点	・特になし								
平成28年度に向けた改善策	・特になし								